
愛媛県 こどもの生活に関する調査（保護者）
報告書

令和7（2025）年2月
愛媛県

～ 目 次 ～

I 調査の概要	1
II 調査結果	4
1 子供の年齢又は学年	4
2 回答者の続柄	4
3 家族構成	5
4 親の年齢	6
5 単身赴任の有無	7
6 親の婚姻状況	8
7 養育費の取り決めについて	9
8 日本語以外の言語の使用について	10
9 親が卒業・修了した学校	11
10 親の就労状況	12
11 働いていない理由	13
12 0～5歳の間に通っていた教育・保育施設等	14
13 子供との関わり方	15
14 学校行事やボランティアなどへの参加状況	20
15 子供の進路について	22
16 進路を選んだ理由	24
17 頼れる人について	25
18 暮らしの状況	36
19 世帯の年間収入	38
20 食料が買えなかった経験	40
21 衣服が買えなかった経験	42
22 経済的な理由で未払いになった経験	44
23 気持ちの状態について	45
24 生活の満足度	52
25 支援制度の利用状況	55
資料 調査票	66

I 調査の概要

【調査の目的】

本調査は、「愛媛県子ども計画（仮称）」の策定にあたり、「子ども」や「子育て当事者等」の意識や実態を把握し、施策を検討する上での基礎資料とすることを目的として実施した。

【調査設計】

調査地域：愛媛県全域（20市町）

調査対象：3歳児、小学2年生、小学5年生、中学2年生、高校2年生の保護者

調査方法：3歳児は、3歳児健診受診時又は個別に調査票を配布、インターネットによる回答
小学生以上は、学校を通じた配布、インターネットによる回答

調査期間：令和6（2024）年10～12月

【回答結果】

有効回答数 ----- 8,400件

	構成比(%)	件数(件)
3歳又は4歳	8.7	730
小学2年生	28.1	2,357
小学5年生	26.2	2,201
中学2年生	22.0	1,845
高校2年生	14.9	1,251
無回答	0.2	16
合計	100.0	8,400

(問1回答結果より)

【居住地別回答状況】 (問3回答結果より)

	構成比(%)	件数(件)
松山市	32.0	2,684
今治市	10.4	874
宇和島市	5.8	484
八幡浜市	2.3	194
新居浜市	9.2	771
西条市	6.4	535
大洲市	5.2	435
伊予市	3.1	258
四国中央市	8.7	731
西予市	3.5	292
東温市	2.3	190
上島町	0.3	28
久万高原町	0.5	39
松前町	3.4	288
砥部町	2.0	167
内子町	1.4	120
伊方町	0.7	60
松野町	0.5	43
鬼北町	0.8	64
愛南町	1.6	132
無回答	0.1	11
合計	100.0	8,400

【報告書の見方について】

- (1) 集計は小数点以下第2位を四捨五入している。そのため、回答比率の合計は必ずしも100%にならない場合がある。
- (2) 2つ以上の回答を可能とした(複数回答)質問の場合、その回答比率の合計は100%を超える場合がある。
- (3) 数表、図表、文中に示すNは、比率算出上の基数(標本数)である。全標本数を示す「全体」を「N」、「該当数」を「n」で表記している。
- (4) 図表中における子供の学年別などのクロス集計結果については、該当する属性等の設問に対する無回答者(例えば、子供の学年別でクロス集計する場合における子供の学年の無回答者)を除いて表記しているため、属性ごとの基数(n)の合計と全体の基数(N)は同じにならない場合がある。
- (5) 図表中においては見やすさを考慮し、回答割合が極端に少ない数値(例:0.0%、0.1%など)は、図と干渉して見えにくい場合などに省略している場合がある。また、複数回答の図表中においては、見やすさを考慮し、回答割合の高い順に並べ替えて表記している場合がある。
- (6) 上記のほか、個別に参照事項がある場合は、本報告書の該当箇所に適宜記載した。

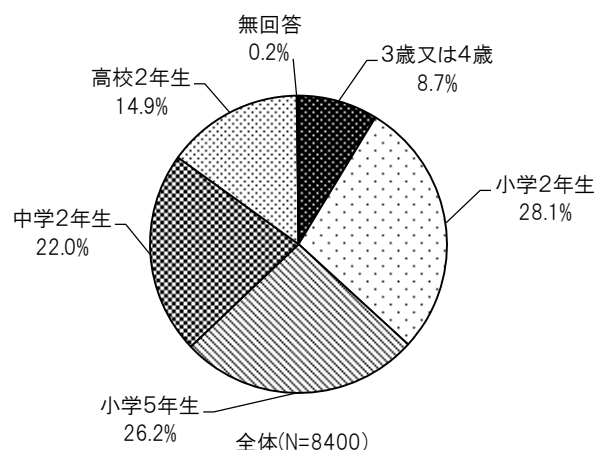
II 調査結果

1 子供の年齢又は学年

問1 お子さんの年齢又は学年を教えてください。（回答は1つ）

※ 調査対象のお子さんが複数いる場合は、一番年下のお子さんについてお答えください。

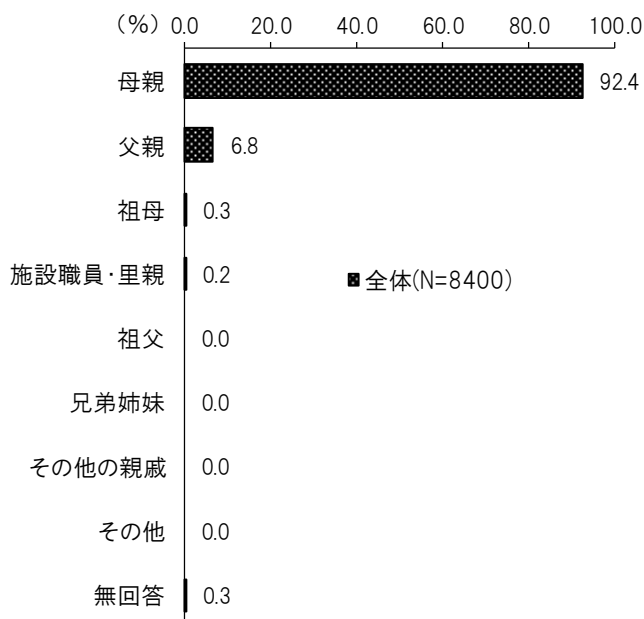
子供の年齢又は学年については、「小学2年生」の割合が28.1%と最も高く、次いで「小学5年生」（26.2%）、「中学2年生」（22.0%）、「高校2年生」（14.9%）、「3歳又は4歳」（8.7%）の順となっている。



2 回答者の続柄

問2 お子さんとあなたとの関係は、次のどれにあたりますか。お子さんからみた続柄でお答えください。（回答は1つ）

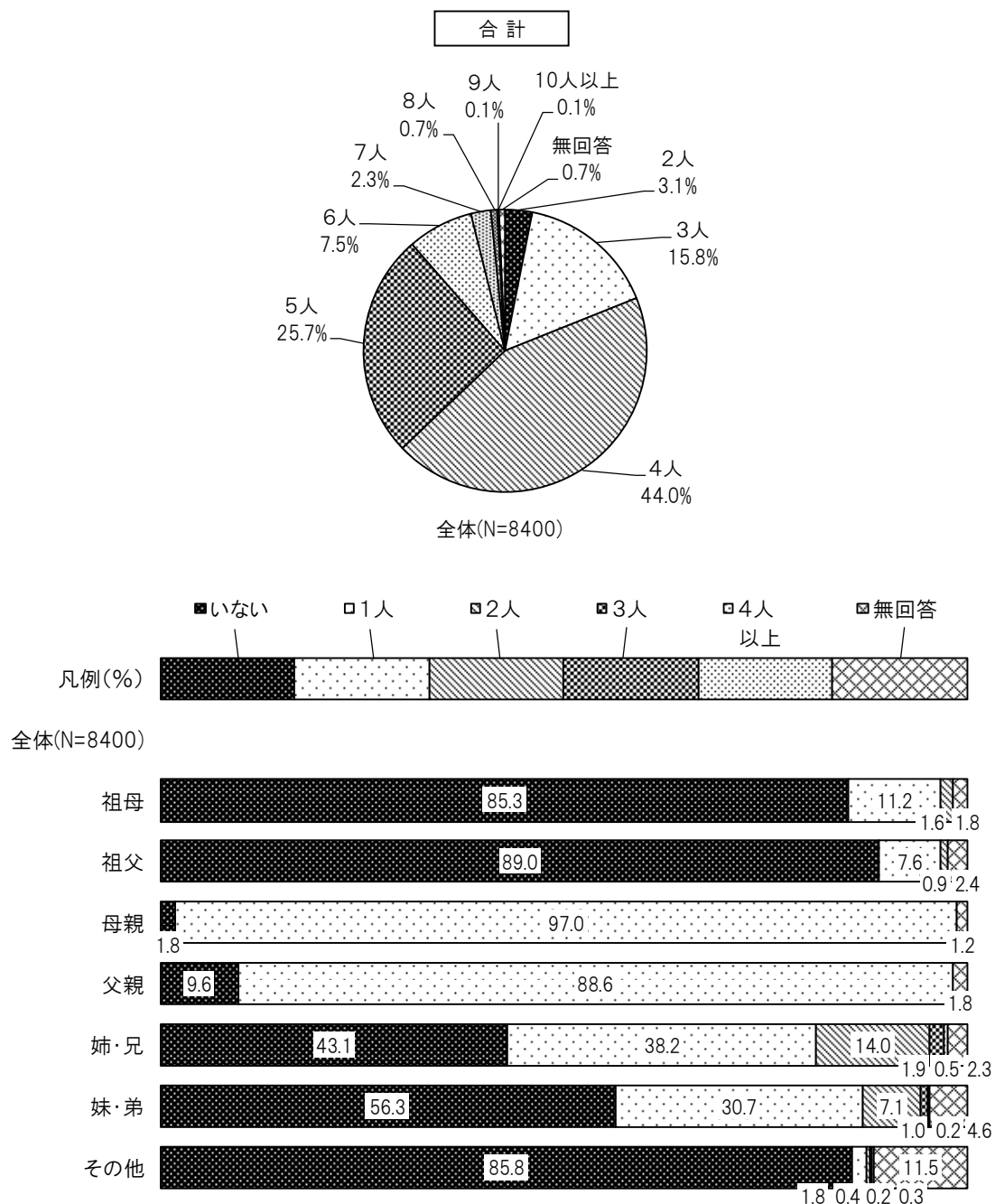
回答者の続柄については、「母親」の割合が92.4%と最も高く、次いで「父親」が6.8%で続いている。



3 家族構成

問4～11 お子さんと同居し、生計を同一にしているご家族の構成と人数をお答えください。単身赴任中の方や学業のために世帯を離れているお子さんがいる場合には、ご家族の人数に含めて教えてください。（回答は1つずつ）

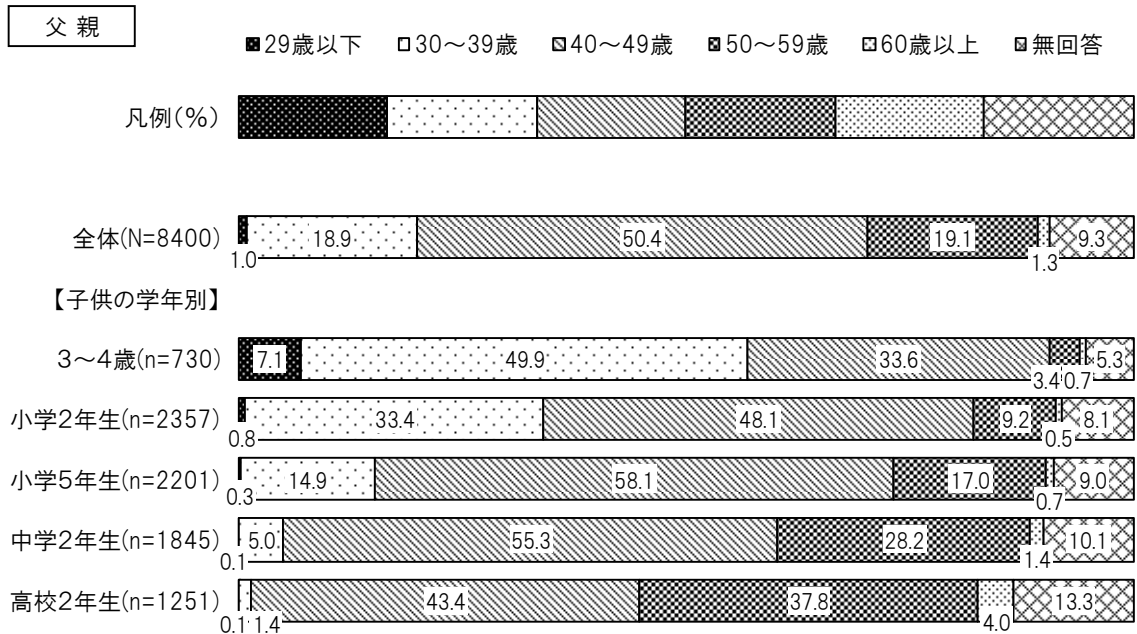
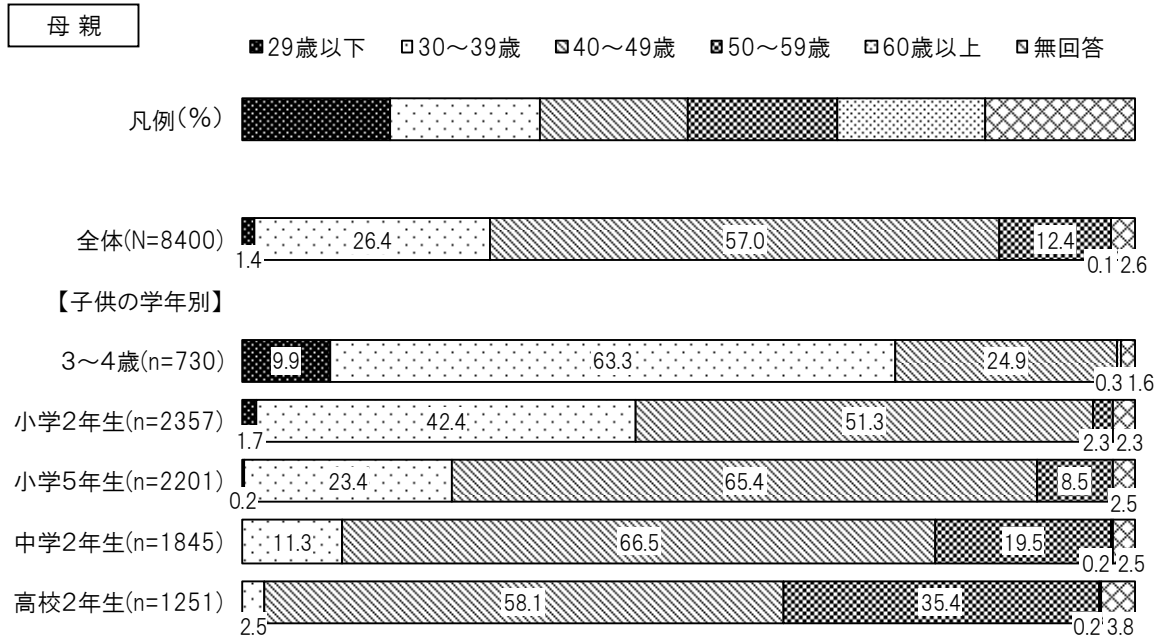
家族の合計人数をみると、「4人」の割合が44.0%と最も高く、次いで「5人」(25.7%)、「3人」(15.8%)、「6人」(7.5%)の順となっている。また、祖父母と同居している割合は1割程度となっており、約1割(9.6%)が父親が「いない」と回答している。



4 親の年齢

問 12～13 お子さんの親の現在の年齢についてお答えください。

親の年齢をみると、母親、父親共に「40～49歳」の割合が最も高く、次いで母親は「30～39歳」、父親は「50～59歳」の割合が高くなっている。また、母親、父親共に、子供が3～4歳で「30～39歳」の割合が最も高くなっている。



5 単身赴任の有無

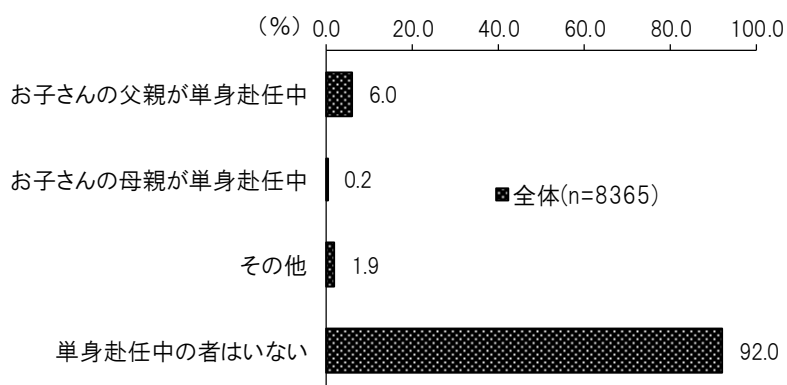
【問2で「7（施設職員・里親）以外」と答えた方にお尋ねします。】

問14 お子さんのご家族のうち、現在単身赴任中の方はいらっしゃいますか。

（回答はあてはまるもの全て）

単身赴任の有無については、大半（92.0%）が「単身赴任中の者はいない」と回答しており、「お子さんの父親が単身赴任中」は6.0%となっている。

子供の学年別でみると、3～4歳で「お子さんの父親が単身赴任中」の割合が他の層に比べてやや低くなっている。



単位 (%)	単 身 赴 任 中 の 父 親 が	単 身 赴 任 中 の 母 親 が	そ の 他	い ん が い る 単 身 赴 任 中 の 者 は
全体(n=8365)	6.0	0.2	1.9	92.0
【子供の学年別】				
3～4歳(n=726)	2.9	0.0	1.2	96.0
小学2年生(n=2345)	5.1	0.2	1.1	93.8
小学5年生(n=2194)	7.1	0.3	1.5	91.2
中学2年生(n=1843)	6.7	0.3	1.5	91.5
高校2年生(n=1243)	6.8	0.3	4.7	88.3

注：表中の「網掛け」は、各クロス集計（子供の学年別など）において最も高い割合を示している。但し、回答割合が10%未満の項目及び「その他」については網掛けしていない。また「無回答」は表記から省略している。（本報告書においては、以下同様）

6 親の婚姻状況

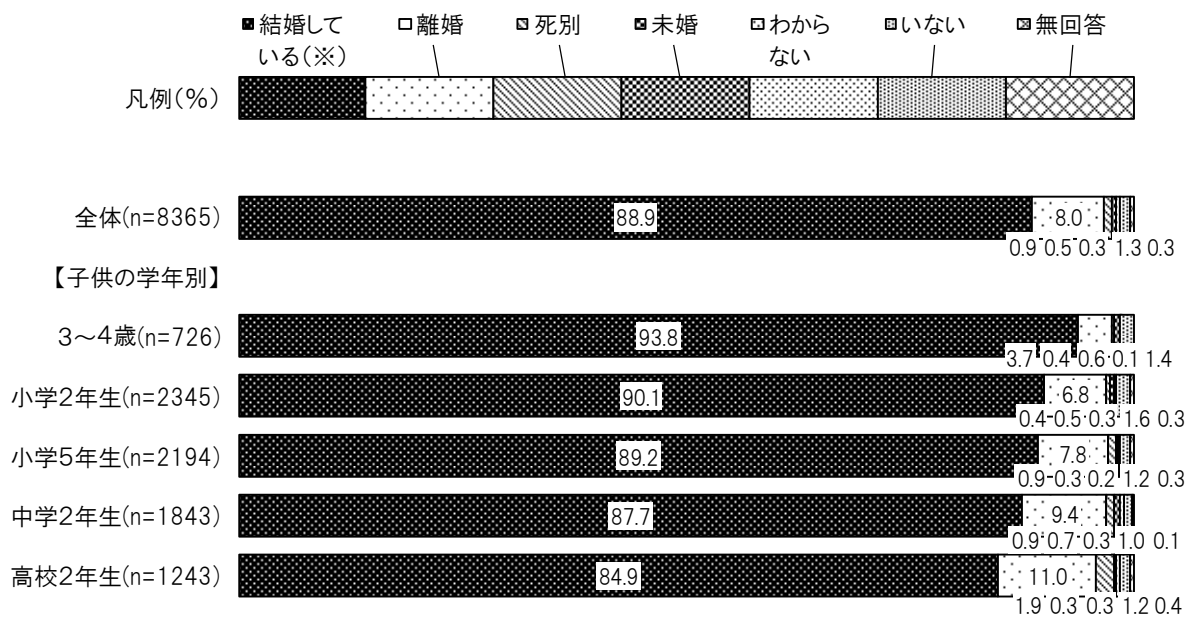
【問2で「7（施設職員・里親）以外」と答えた方にお尋ねします。】

問15 お子さんと同居し、生計を同一にしている親の婚姻状況を教えてください。

（回答は1つ）

親の婚姻状況については、「結婚している（再婚や事実婚を含む）」が88.9%、「離婚」が8.0%となっている。

子供の学年別でみると、学年が上がるほど「離婚」の割合が高くなっている。



※ 結婚している（再婚や事実婚を含む）

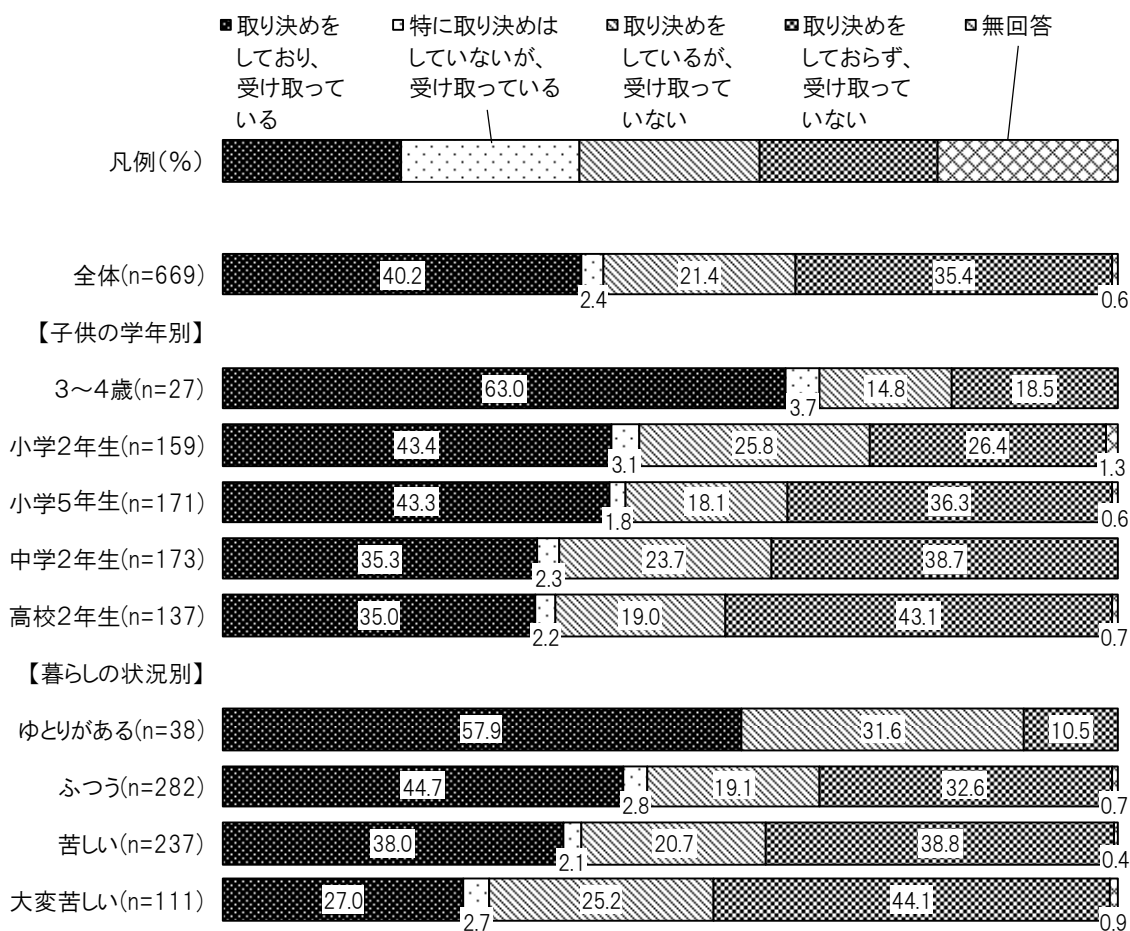
7 養育費の取り決めについて

【問2で「7（施設職員・里親）以外」及び問15で「2（離婚）」と答えた方にお尋ねします。】
 問16 前問で「離婚」を選んだ場合、離婚相手と子供の養育費の取り決めをしていますか。また養育費を現在受け取っていますか。（回答は1つ）

養育費の取り決めについては、「取り決めをしており、受け取っている」の割合が40.2%と最も高く、次いで「取り決めをしておらず、受け取っていない」（35.4%）、「取り決めをしているが、受け取っていない」（21.4%）の順となっている。『受け取っている』の合計は42.6%、『受け取っていない』の合計は56.8%となっている。

子供の学年別でみると、3～4歳で「取り決めをしており、受け取っている」の割合が他の層を大きく上回っており、学年が上がるほど「取り決めをしておらず、受け取っていない」の割合が高くなっている。

暮らしの状況別（問44）では、ゆとりがあると回答した層ほど「取り決めをしており、受け取っている」の割合が高く、苦しいと回答した層ほど『受け取っていない（合計）』の割合が高くなっている。



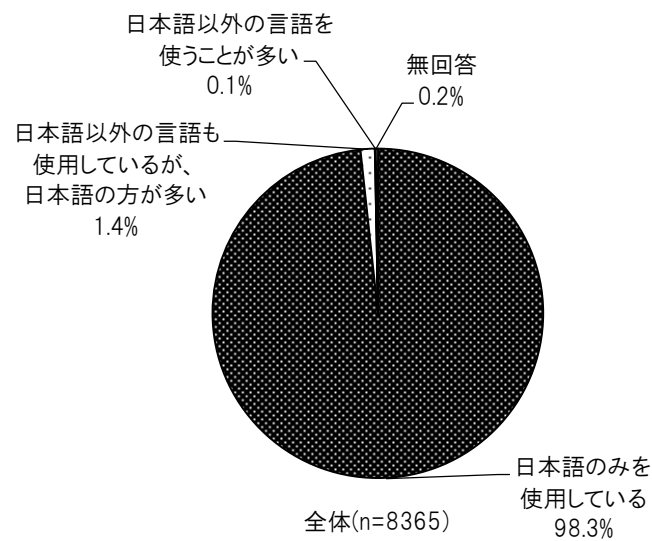
注：暮らしの状況別の「ゆとりがある」は、「大変ゆとりがある」「ゆとりがある」を合算

8 日本語以外の言語の使用について

【問2で「7（施設職員・里親）以外」と答えた方にお尋ねします。】

問 17 家庭環境における言語について、ご家庭ではどれくらい、日本語以外の言語を使用していますか。（回答は1つ）

日本語以外の言語の使用については、大半（98.3%）が「日本語のみを使用している」と回答しており、「日本語以外の言語も使用しているが、日本語の方が多い」が1.4%、「日本語以外の言語を使うことが多い」が0.1%となっている。

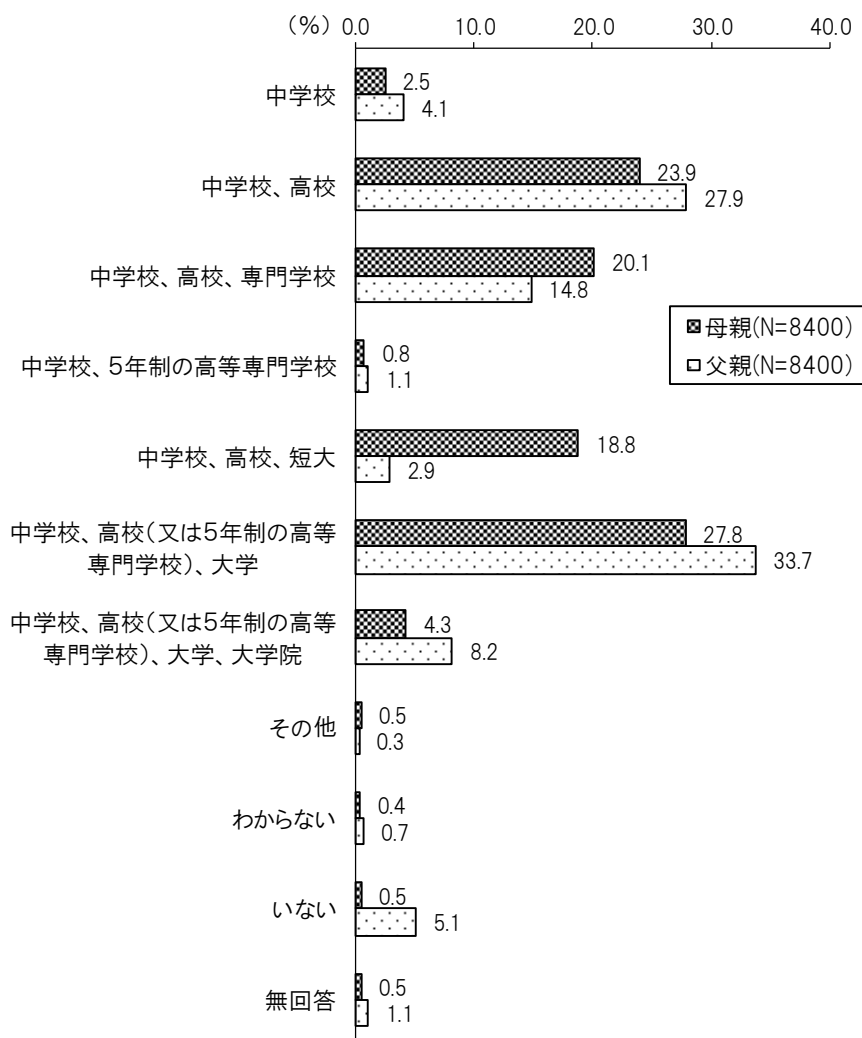


9 親が卒業・修了した学校

問 18～19 お子さんの親が卒業・修了した学校をお答えください。問 2 で「施設職員・里親」と回答した人は、御自身ではなく、お子さんの母親・父親について回答してください。（回答は1つずつ）

親が卒業・修了した学校については、母親、父親共に「中学校、高校（又は5年制の高等専門学校）、大学」の割合が最も高く、次いで「中学校、高校」「中学校、高校、専門学校」の順となっている。

母親は父親に比べて「中学校、高校、専門学校」「中学校、高校、短大」の割合が高く、父親は「中学校、高校」「中学校、高校（又は5年制の高等専門学校）、大学」「中学校、高校（又は5年制の高等専門学校）、大学、大学院」の割合が母親を上回っている。

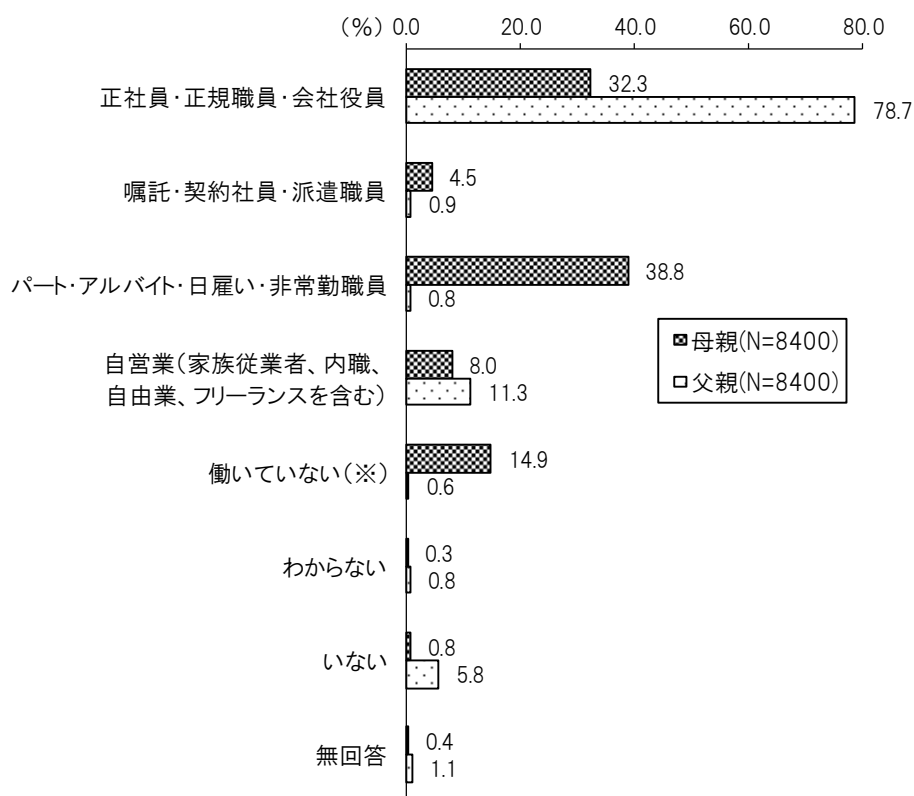


10 親の就労状況

問 20～21 お子さんの親の就労状況について、あてはまるものを回答してください。問2で「施設職員・里親」と回答した人は、御自身ではなく、お子さんの母親・父親について回答してください。（回答は1つずつ）

親の就労状況について、母親は「パート・アルバイト・日雇い・非常勤職員」の割合が38.8%と最も高く、次いで「正社員・正規職員・会社役員」（32.3%）、「働いていない（専業主婦を含む）」（14.9%）の順となっている。一方、父親は「正社員・正規職員・会社役員」の割合が78.7%と最も高く、次いで「自営業（家族従業者、内職、自由業、フリーランスを含む）」（11.3%）が続いている。

父親は「正社員・正規職員・会社役員」の割合が母親を大きく上回っており、母親は父親に比べて「パート・アルバイト・日雇い・非常勤職員」「働いていない（専業主婦を含む）」の割合が高くなっている。



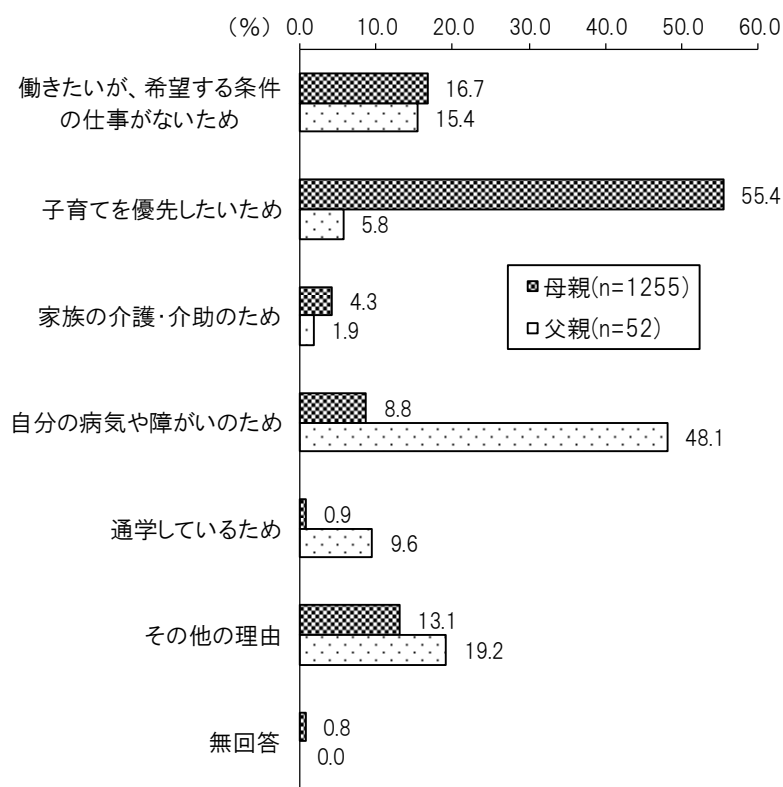
※ 働いていない（専業主婦（夫）を含む）

11 働いていない理由

【問 20 又は問 21 で「5（働いていない）」と答えた方にお尋ねします。】

問 22～23 前の質問で「働いていない」と答えた場合、働いていない最も主な理由を教えてください。（回答は1つずつ）

働いていない理由について、母親は「子育てを優先したいため」（55.4%）、父親は「自分の病気や障がいのため」（48.1%）の割合が最も高く、次いで「働きたいが、希望する条件の仕事がないため」が続いている。



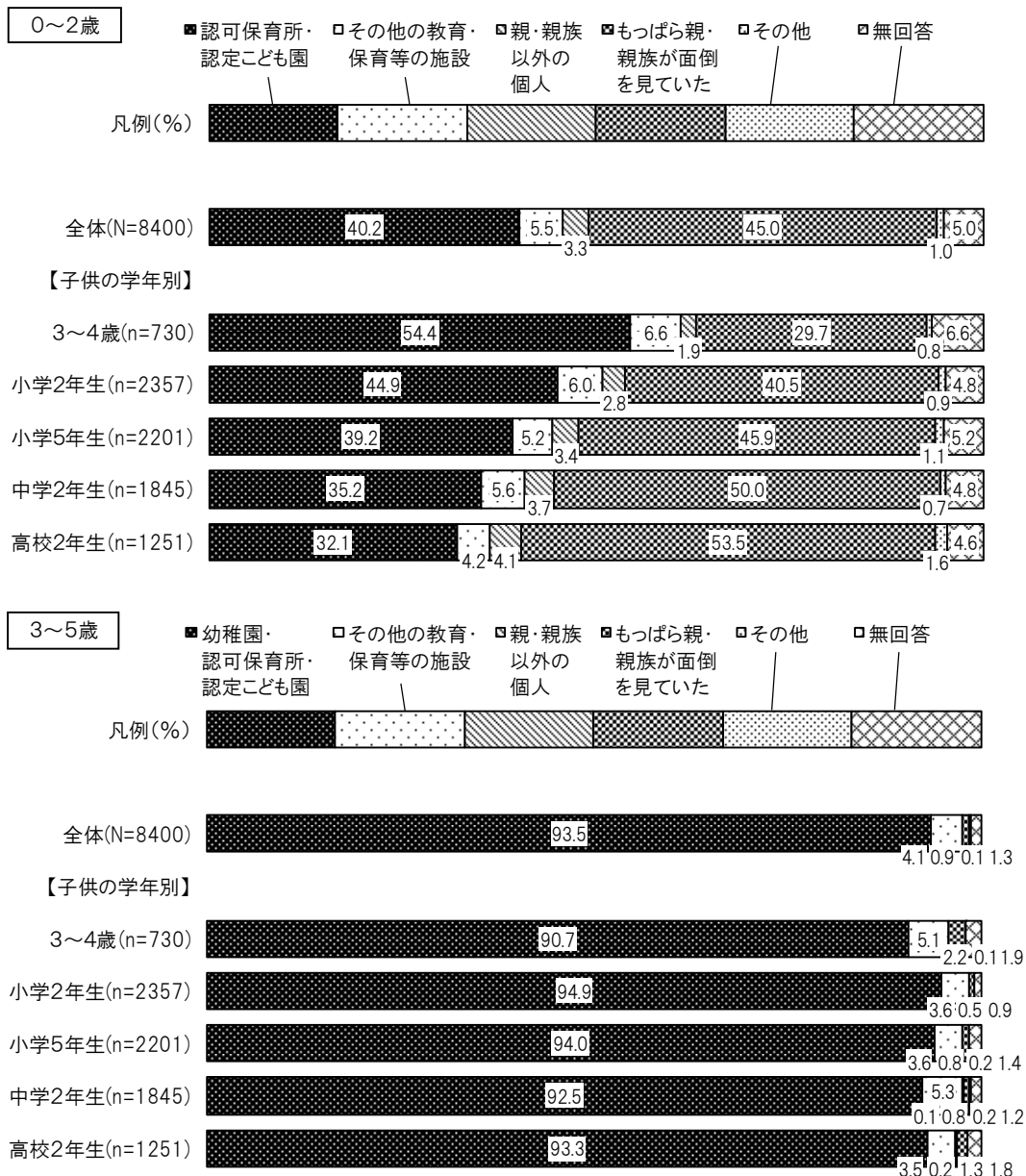
12 0～5歳の間に通っていた教育・保育施設等

問 24 お子さんが0～2歳の間に通っていた教育・保育施設等で最も主なもの（期間が長いもの）をお答えください。（回答は1つ）

問 25 お子さんが3～5歳の間に通っていた教育・保育施設等で最も主なもの（期間が長いもの）をお答えください。（3歳児の保護者の場合は、お子さんが現在通っている教育・保育施設等をお答えください。）（回答は1つ）

0～2歳の間に通っていた教育・保育施設等については、「もっぱら親・親族が面倒を見ていた」の割合が45.0%と最も高く、次いで「認可保育所・認定こども園」（40.2%）、「その他の教育・保育等の施設」（5.5%）の順となっている。子供の学年別では、子供の年齢が低くなるほど「認可保育所・認定こども園」の割合が高く、年齢が上がるほど「もっぱら親・親族が面倒を見ていた」の割合が高くなっている。

3～5歳の間に通っていた教育・保育施設等については、大半（93.5%）が「幼稚園・認可保育所・認定こども園」と回答している。

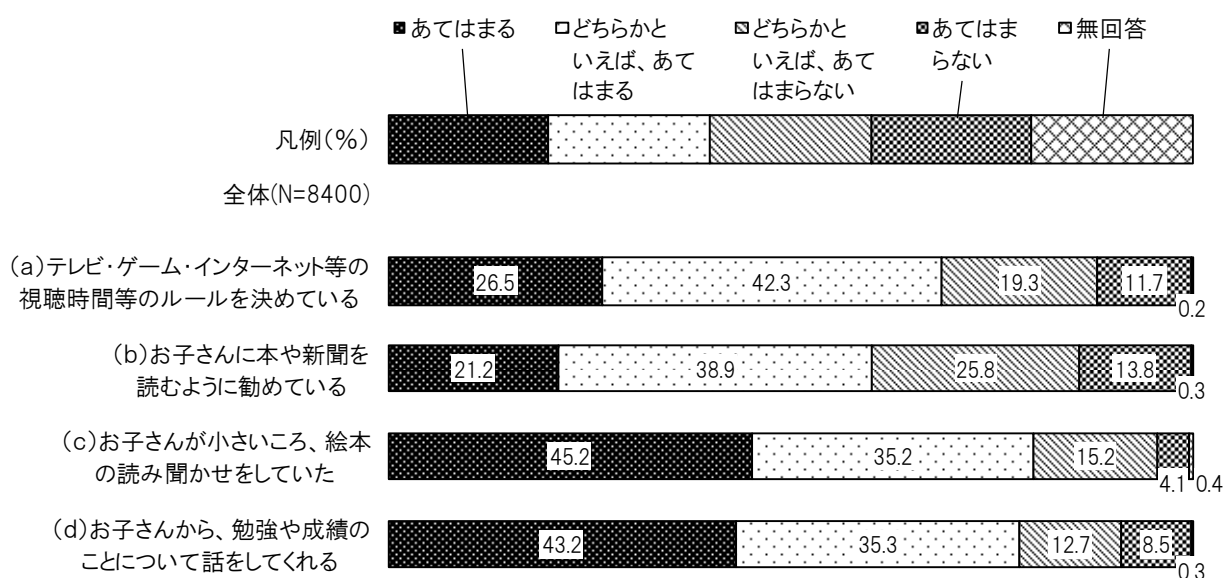


13 子供との関わり方

問 26～29 あなたとお子さんの関わり方について、次のようなことにどれくらい当てはまりますか。（回答は1つずつ）

子供との関わり方については、「あてはまる」の割合が高い順に「(c) お子さんが小さいころ、絵本の読み聞かせをしていた」(45.2%)、「(d) お子さんから、勉強や成績のことについて話をしてくれる」(43.2%)となっている。

一方、「どちらかといえば、あてはまらない」「あてはまらない」の合計割合が高い順に「(b) お子さんに本や新聞を読むように勧めている」(39.6%)、「(a) テレビ・ゲーム・インターネット等の視聴時間等のルールを決めている」(31.0%)となっている。

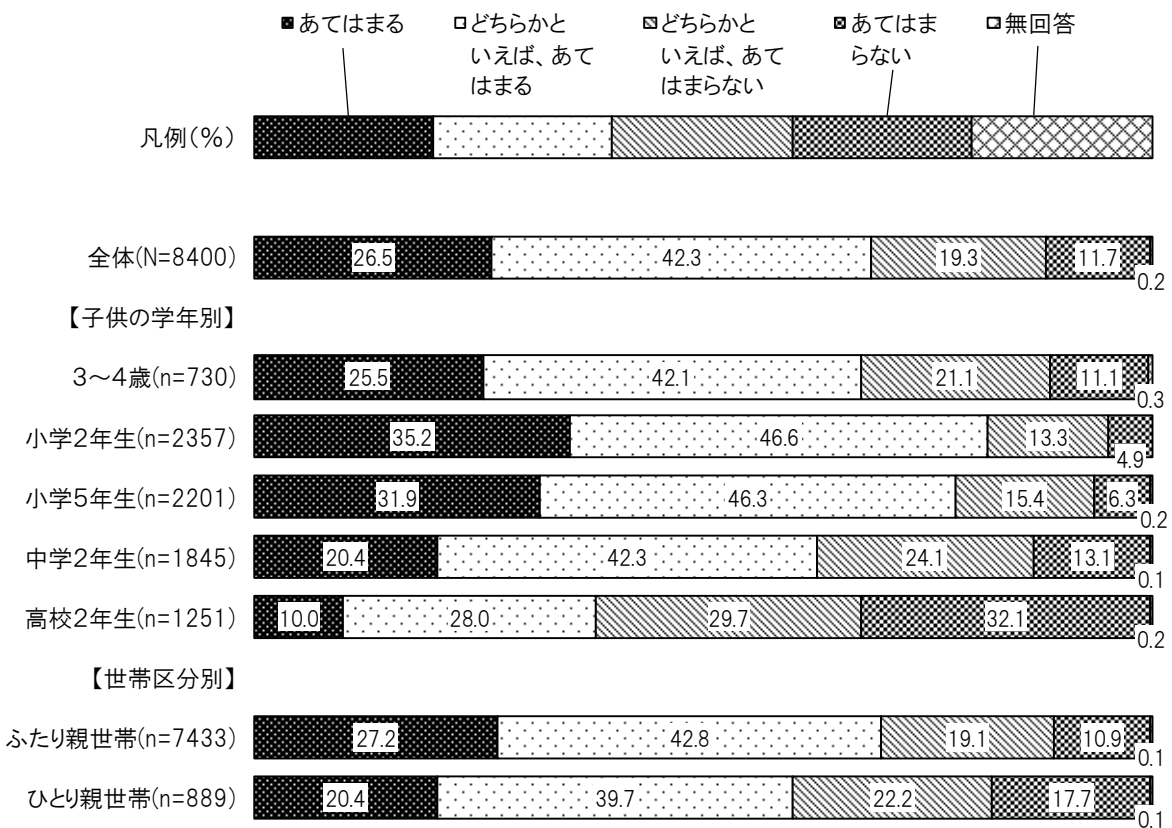


(a) テレビ・ゲーム・インターネット等の視聴時間等のルールを決めている

「テレビ・ゲーム・インターネット等の視聴時間等のルールを決めている」については、「あてはまる」が26.5%、「どちらかといえば、あてはまる」が42.3%、合計で68.8%が『あてはまる』と回答している。一方、「どちらかといえば、あてはまらない」(19.3%)、「あてはまらない」(11.7%)の合計は31.0%となっている。

子供の学年別では、小学2年生や小学5年生で『あてはまる(合計)』、高校2年生で『あてはまらない(合計)』の割合がそれぞれ他の層に比べて高くなっている。

世帯区分別では、ふたり親世帯はひとり親世帯に比べて『あてはまる(合計)』の割合が高くなっている。



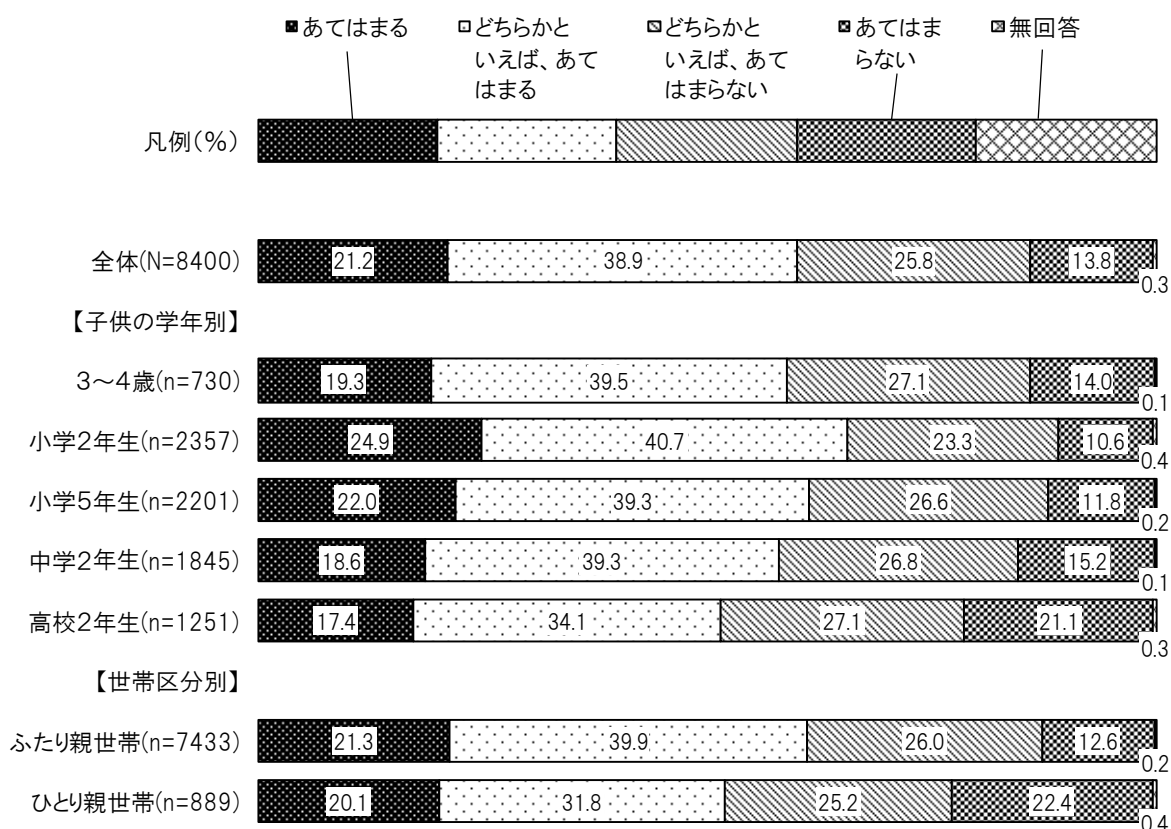
注：世帯区分別については、下記のように集計している。(以下同様)
 ・ふたり親世帯は、問15で「結婚している」
 ・ひとり親世帯は、問15で「離婚」「死別」「未婚」「いない」

(b) お子さんに本や新聞を読むように勧めている

「お子さんに本や新聞を読むように勧めている」については、「あてはまる」が21.2%、「どちらかといえば、あてはまる」が38.9%、合計で60.1%が『あてはまる』と回答している。一方、「どちらかといえば、あてはまらない」(25.8%)、「あてはまらない」(13.8%)の合計は39.6%となっている。

子供の学年別では、小学2年生で『あてはまる(合計)』、高校2年生で『あてはまらない(合計)』の割合がそれぞれ他の層に比べて高くなっている。

世帯区分別では、ふたり親世帯はひとり親世帯に比べて「どちらかといえば、あてはまる」の割合が高くなっている。

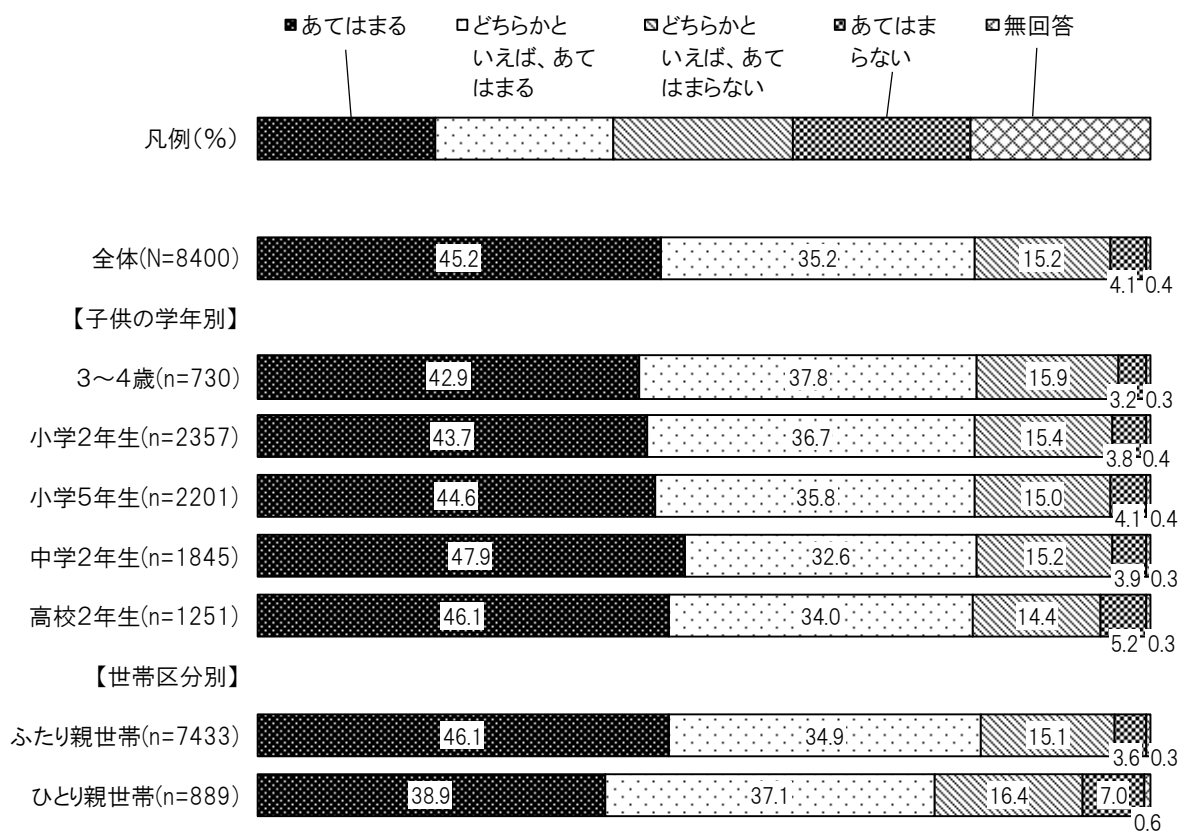


(c) お子さんが小さいころ、絵本の読み聞かせをしていた

「お子さんが小さいころ、絵本の読み聞かせをしていた」については、「あてはまる」が45.2%、「どちらかといえば、あてはまる」が35.2%、合計で80.4%が『あてはまる』と回答している。一方、「どちらかといえば、あてはまらない」(15.2%)、「あてはまらない」(4.1%)の合計は19.3%となっている。

子供の学年別では、大きな差はみられない。

世帯区分別では、ふたり親世帯はひとり親世帯に比べて「あてはまる」の割合が高くなっている。

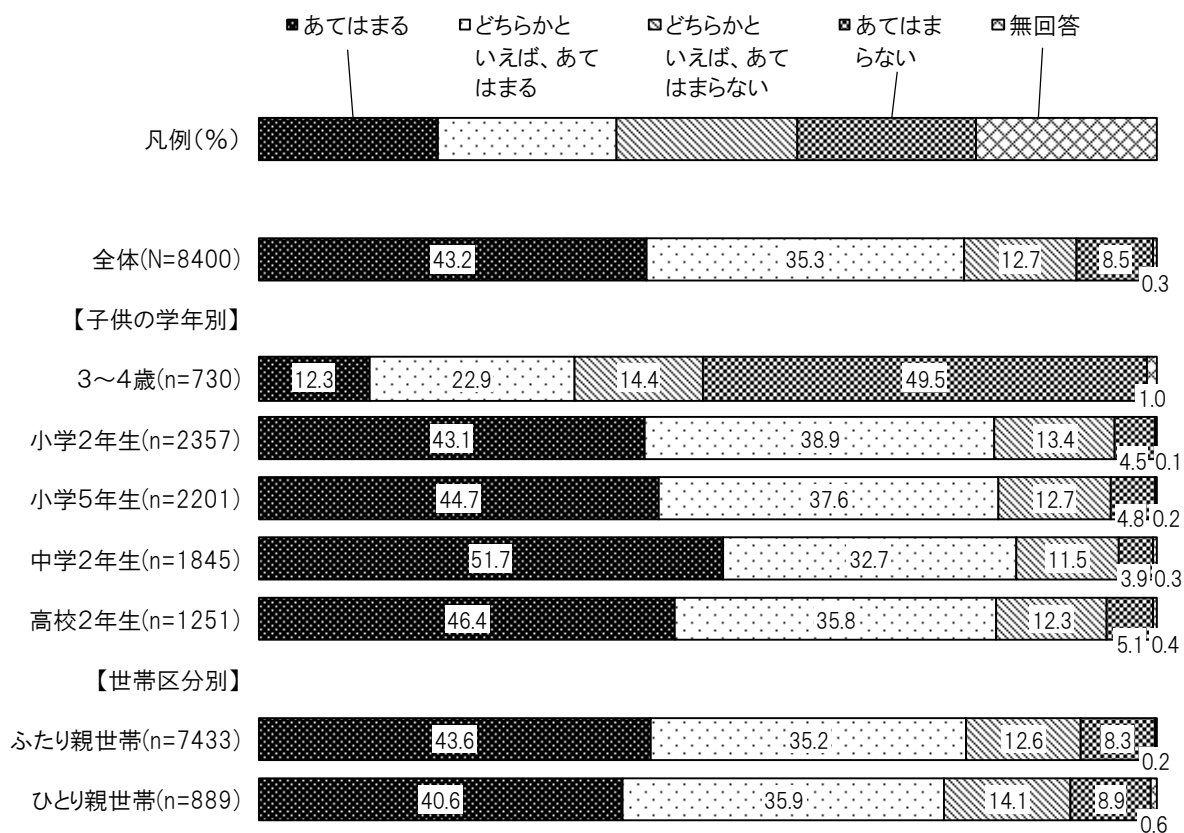


(d) お子さんから、勉強や成績のことについて話をしてくれる

「お子さんから、勉強や成績のことについて話をしてくれる」については、「あてはまる」が43.2%、「どちらかといえば、あてはまる」が35.3%、合計で78.5%が『あてはまる』と回答している。一方、「どちらかといえば、あてはまらない」(12.7%)、「あてはまらない」(8.5%)の合計は21.2%となっている。

子供の学年別では、中学2年生で「あてはまる」の割合が他の学年に比べて高くなっている。

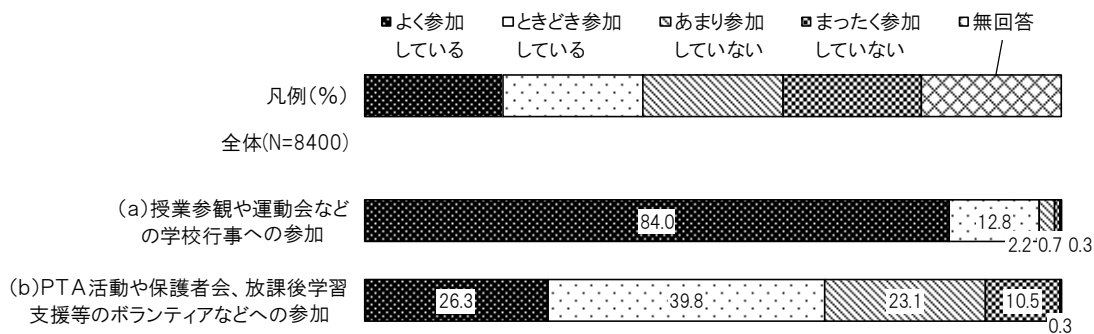
世帯区分別では、ふたり親世帯はひとり親世帯に比べて「あてはまる」の割合がやや高くなっている。



14 学校行事やボランティアなどへの参加状況

問 30～31 あなたは、次のようなことをどの程度していますか。（回答は1つずつ）

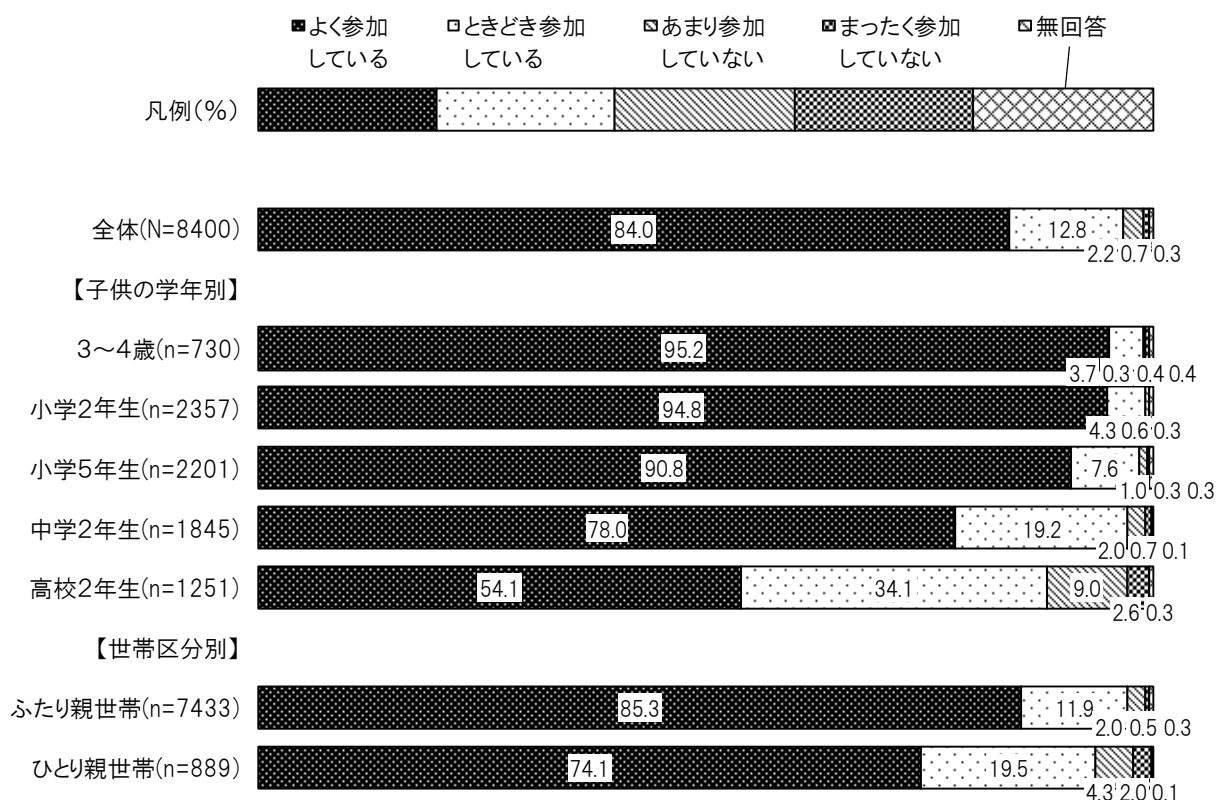
『参加している（合計）』割合をみると、「（a）授業参観や運動会などの学校行事」は96.8%、「（b）PTA活動や保護者会、放課後学習支援等のボランティアなど」は66.1%となっている。



(a) 授業参観や運動会などの学校行事への参加

「授業参観や運動会などの学校行事への参加」については、「よく参加している」が84.0%、「ときどき参加している」が12.8%、合計で96.8%が『参加している』と回答している。一方、『参加していない（合計）』は2.9%となっている。

子供の学年別では、学年が上がるほど「よく参加している」の割合が低くなっている。世帯区分別では、ふたり親世帯はひとり親世帯に比べて「よく参加している」の割合が高くなっている。

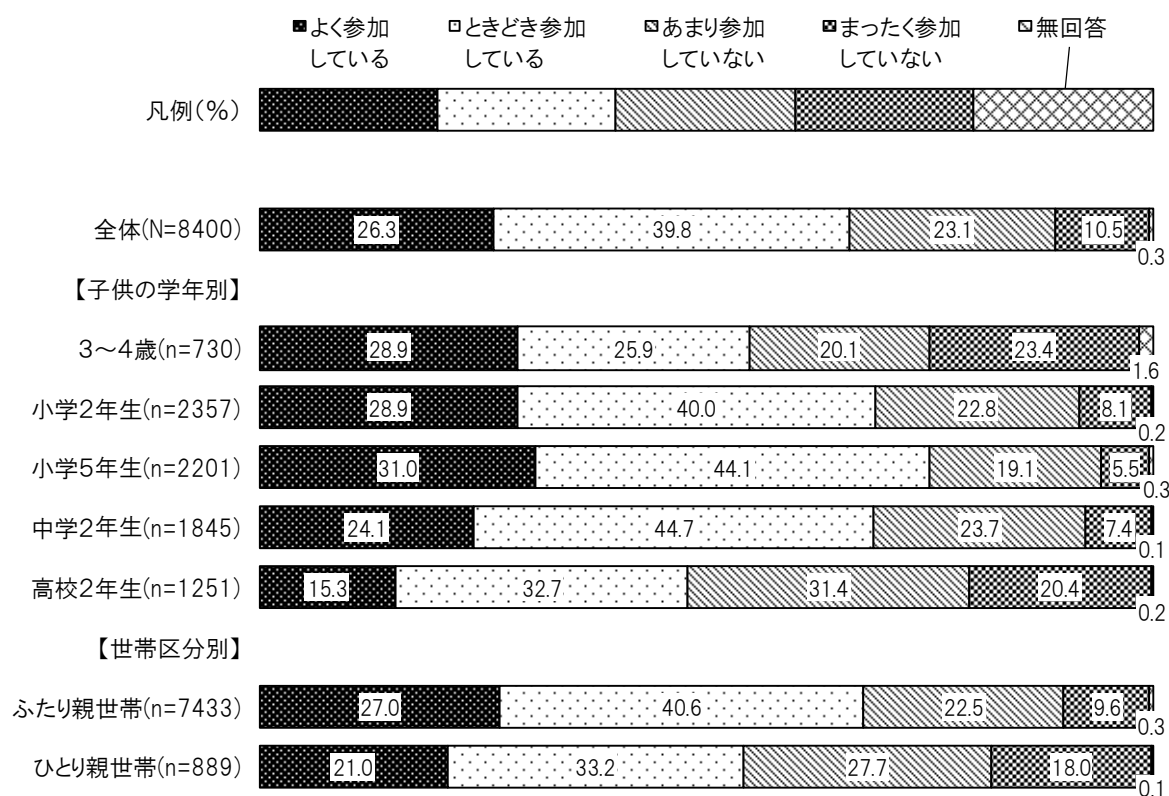


(b) P T A活動や保護者会、放課後学習支援等のボランティアなどへの参加

「P T A活動や保護者会、放課後学習支援等のボランティアなどへの参加」については、「よく参加している」が26.3%、「ときどき参加している」が39.8%、合計で66.1%が『参加している』と回答している。一方、「あまり参加していない」(23.1%)、「まったく参加していない」(10.5%)の合計は33.6%となっている。

子供の学年別では、高校2年生で『参加していない(合計)』の割合が他の層を大きく上回っている。

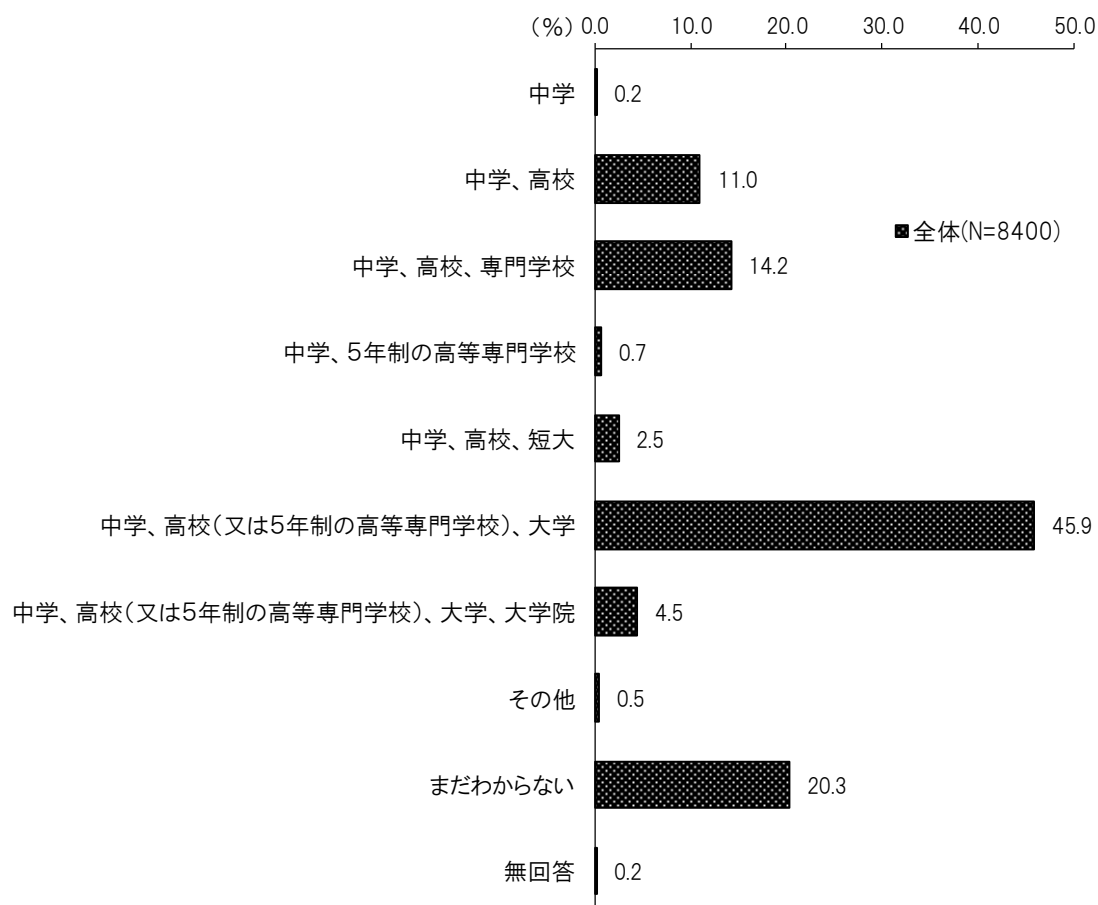
世帯区分別では、ふたり親世帯は『参加している(合計)』の割合がひとり親世帯を大きく上回っている。



15 子供の進路について

問 32 お子さんは将来、現実的に見てどの進路を選ぶと思いますか。（回答は1つ）

子供の進路については、「中学、高校（又は5年制の高等専門学校）、大学」の割合が45.9%と最も高く、次いで「まだわからない」（20.3%）、「中学、高校、専門学校」（14.2%）、「中学、高校」（11.0%）の順となっている。



子供の学年別でみると、3～4歳で「まだわからない」、高校2年生で「中学、高校（又は5年制の高等専門学校）、大学」の割合がそれぞれ他の層に比べて高くなっている。

世帯区分別では、ふたり親世帯はひとり親世帯に比べて「中学、高校（又は5年制の高等専門学校）、大学」の割合が高く、ひとり親世帯はふたり親世帯に比べて「中学、高校」「中学、高校、専門学校」の割合が高くなっている。

世帯年収別（問45）では、おおむね世帯年収が低くなるほど「中学、高校」「まだわからない」の割合が高く、世帯年収が高くなるほど「中学、高校（又は5年制の高等専門学校）、大学」の割合が高くなっている。

保護者の最終学歴別（問18～19）では、共に中高卒で「中学、高校」「中学、高校、専門学校」、共に短大卒で「中学、高校、短大」、いずれかが大卒以上や共に大卒以上で「中学、高校（又は5年制の高等専門学校）、大学」の割合がそれぞれ他の層に比べて高くなっている。

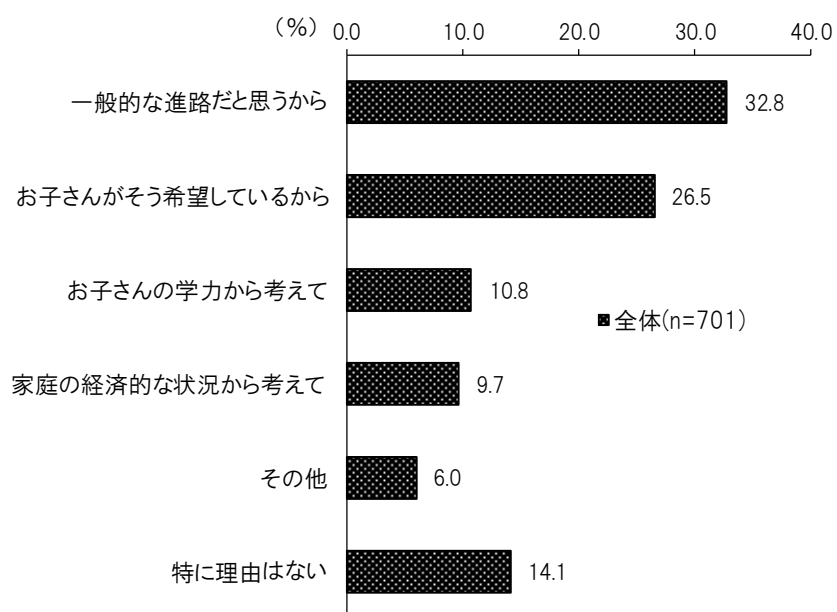
単位 (%)	中学	中学、高校	中学、高校、専門学校	中等専門学校5年制の高校	中学、高校、短大	5年制の高等専門学校（又は5年制の高等専門学校）	5年制の高等専門学校（又は5年制の高等専門学校）	5年制の高等専門学校（又は5年制の高等専門学校）	その他	まだわからない
全体(N=8400)	0.2	11.0	14.2	0.7	2.5	45.9	4.5	0.5	20.3	
【子供の学年別】										
3～4歳(n=730)	0.0	8.1	9.5	0.5	1.8	40.0	2.9	0.1	36.6	
小学2年生(n=2357)	0.3	9.0	13.7	0.6	3.1	45.0	2.5	0.2	25.5	
小学5年生(n=2201)	0.4	11.0	16.4	0.8	2.8	43.3	4.4	0.1	20.7	
中学2年生(n=1845)	0.2	14.6	14.8	1.0	2.3	47.2	4.6	0.4	14.7	
高校2年生(n=1251)	0.0	10.8	13.3	0.1	1.6	54.0	9.0	2.3	8.5	
【世帯区分別】										
ふたり親世帯(n=7433)	0.2	10.2	13.9	0.7	2.5	47.4	4.5	0.4	20.1	
ひとり親世帯(n=889)	0.6	16.8	17.2	0.7	2.5	35.0	4.2	1.6	21.5	
【世帯年収別】										
100万円未満(n=109)	1.8	23.9	15.6	0.9	4.6	19.3	2.8	2.8	28.4	
100～200万円未満(n=316)	0.6	20.9	20.3	0.6	3.5	23.4	2.2	1.9	26.3	
200～300万円未満(n=576)	0.5	21.9	19.4	0.3	3.0	27.3	3.5	0.5	23.4	
300～400万円未満(n=926)	0.5	15.7	18.4	1.1	4.1	33.3	1.9	0.9	24.1	
400～500万円未満(n=1199)	0.1	13.9	15.3	0.6	2.6	40.0	4.2	0.3	22.9	
500～700万円未満(n=2224)	0.2	10.1	16.0	0.8	2.2	45.9	3.7	0.4	20.7	
700～900万円未満(n=1435)	0.1	6.1	11.6	0.4	2.2	56.7	5.6	0.3	16.7	
900万円以上(n=1239)	0.1	3.5	7.0	0.6	1.5	67.1	8.6	0.4	11.2	
【保護者の最終学歴別】										
共に中高卒(n=2586)	0.3	21.6	22.2	0.9	2.2	25.6	1.9	0.6	24.6	
いずれかが短大卒(n=820)	0.1	9.8	19.8	1.1	5.4	35.1	2.8	0.5	25.5	
共に短大卒(n=98)	0.0	4.1	17.3	1.0	11.2	33.7	6.1	0.0	25.5	
いずれかが大卒以上(n=2323)	0.2	5.8	11.8	0.5	2.6	56.5	4.1	0.3	18.0	
共に大卒以上(n=1875)	0.0	1.4	3.4	0.4	0.7	72.2	9.0	0.3	12.3	

16 進路を選んだ理由

【問32で「9（まだわからない）以外」と答えた方にお尋ねします。】

問33 問32で選択肢を選んだ理由を教えてください。（回答はあてはまるもの全て）

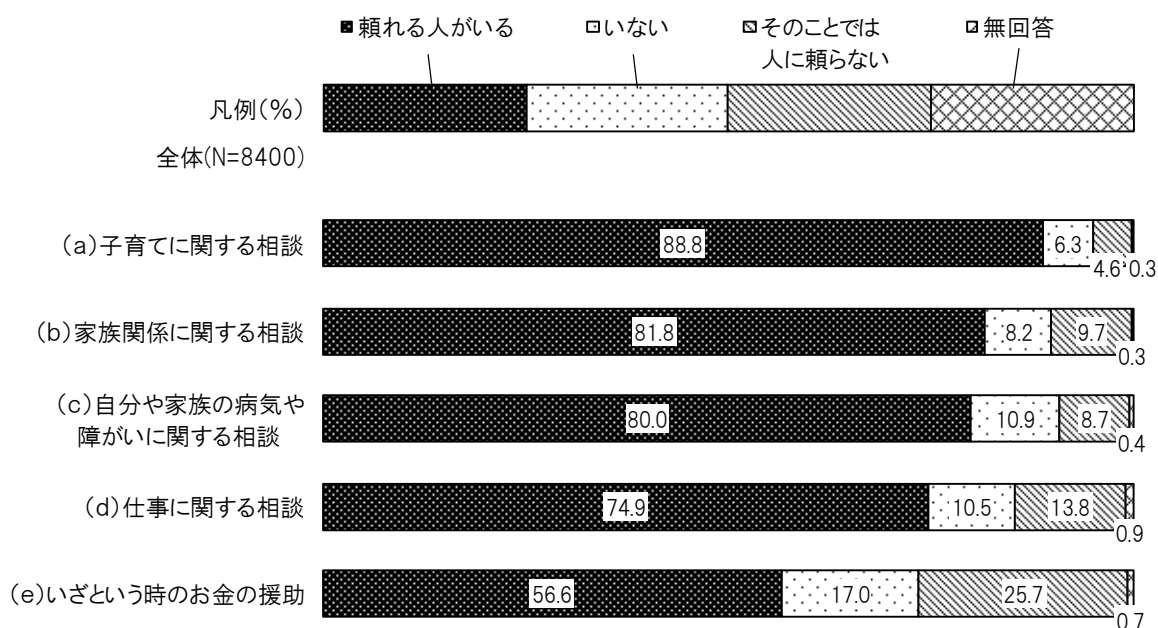
進路を選んだ理由については、「一般的な進路だと思うから」の割合が32.8%と最も高く、次いで「お子さんがそう希望しているから」（26.5%）、「お子さんの学力から考えて」（10.8%）、「家庭の経済的な状況から考えて」（9.7%）の順となっている。



17 頼れる人について

問 34～43 あなたは次に挙げる事柄で頼れる人はいますか。（回答は1つ）
 また、「頼れる人がいる」場合、それはだれですか。（回答はあてはまるもの全て）

「頼れる人がいる」割合が高い順に、「(a) 子育てに関する相談」(88.8%)、「(b) 家族関係に関する相談」(81.8%)、「(c) 自分や家族の病気や障がいに関する相談」(80.0%)、「(d) 仕事に関する相談」(74.9%)、「(e) いざという時のお金の援助」(56.6%)となっている。

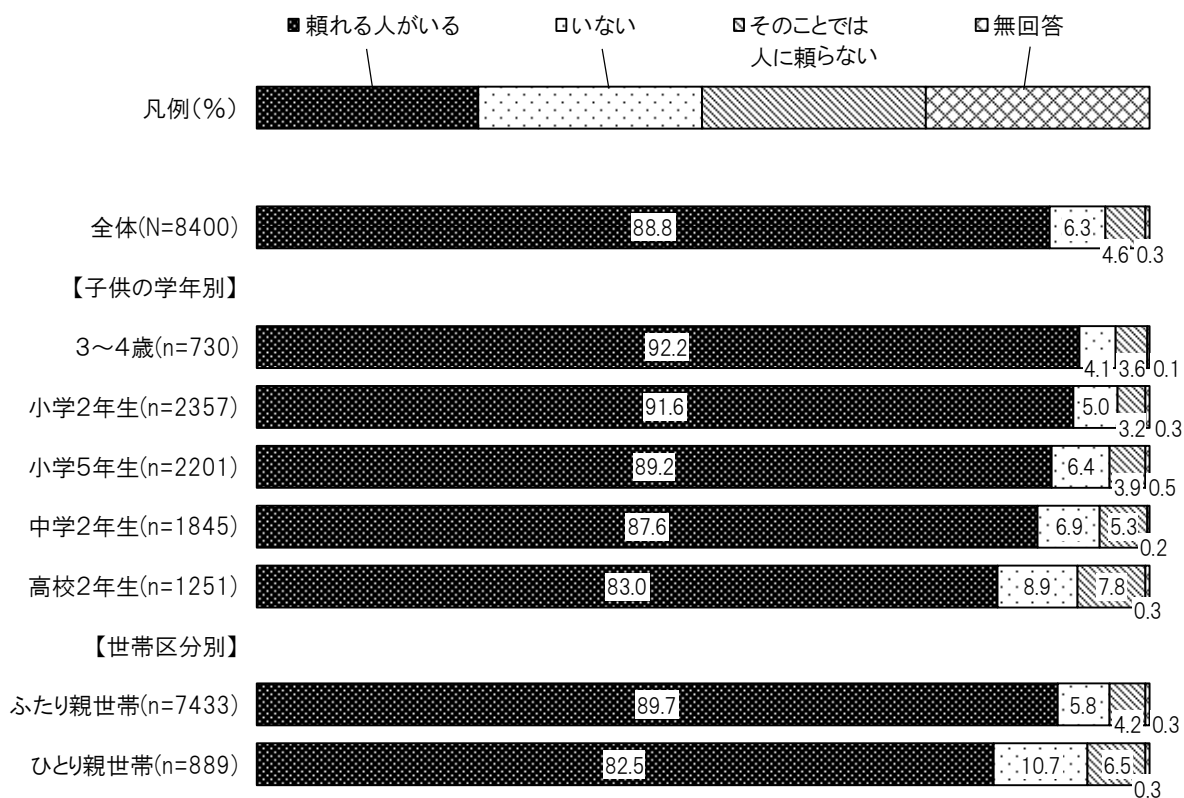


(a) 子育てに関する相談

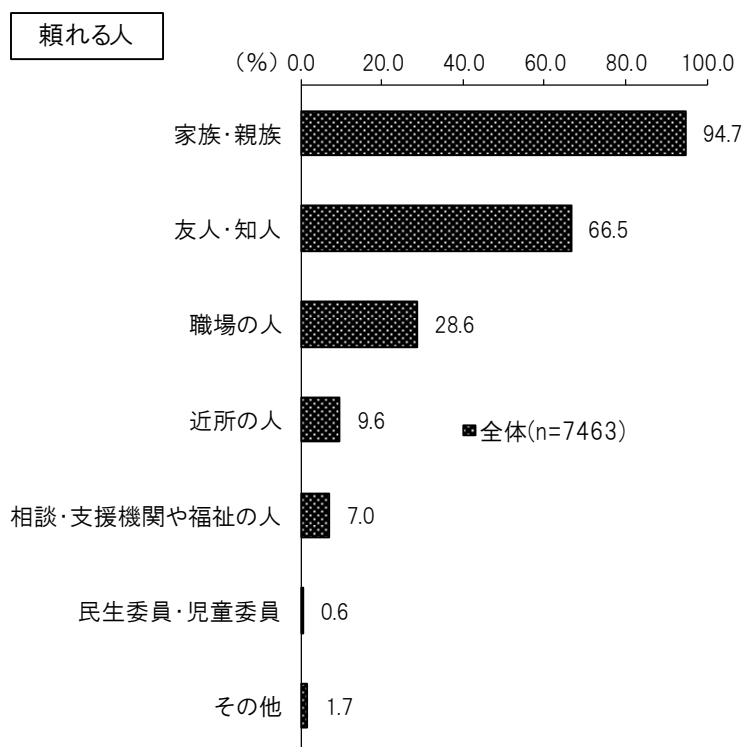
子育てに関する相談については、「頼れる人がいる」が88.8%、「いない」が6.3%、「そのことでは人に頼らない」が4.6%となっている。

子供の学年別では、学年が上がるほど「いない」の割合が高くなっている。

世帯区分別では、ふたり親世帯はひとり親世帯に比べて「頼れる人がいる」の割合が高く、ひとり親世帯はふたり親世帯に比べて「いない」の割合が高くなっている。



頼れる人については、「家族・親族」の割合が94.7%と最も高く、次いで「友人・知人」(66.5%)、「職場の人」(28.6%)、「近所の人」(9.6%)の順となっている。

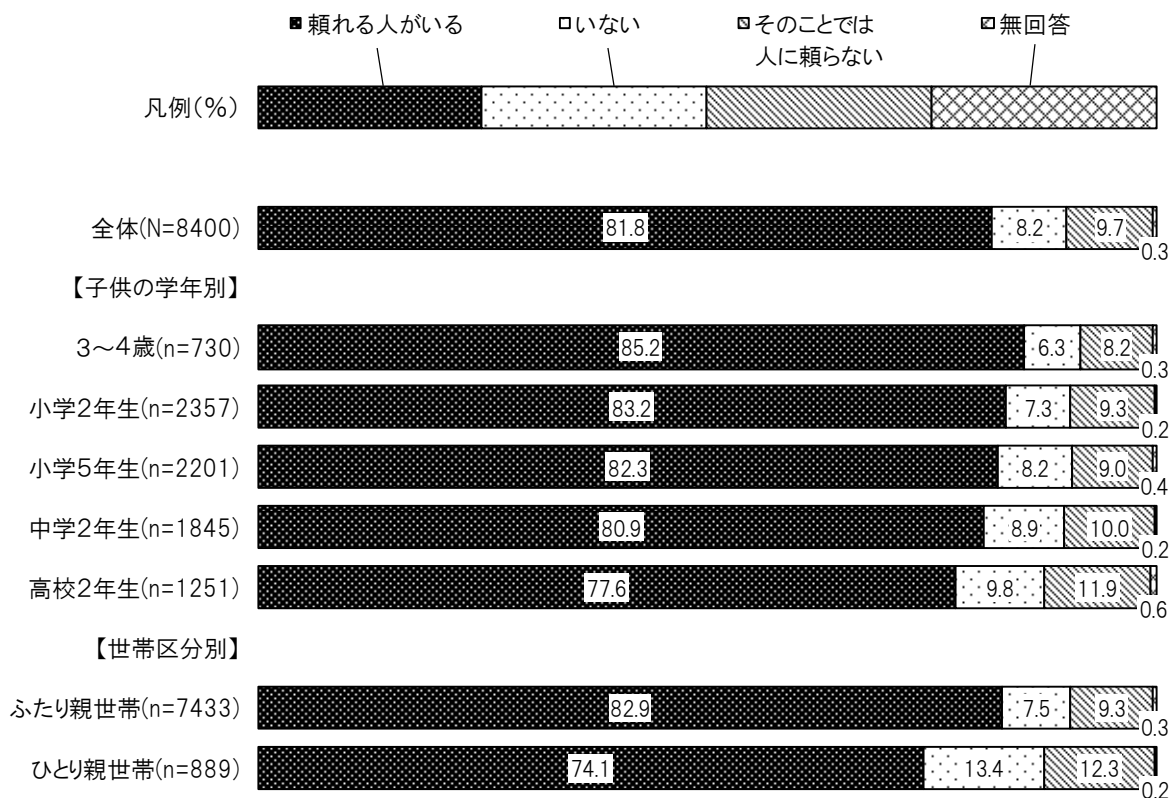


(b) 家族関係に関する相談

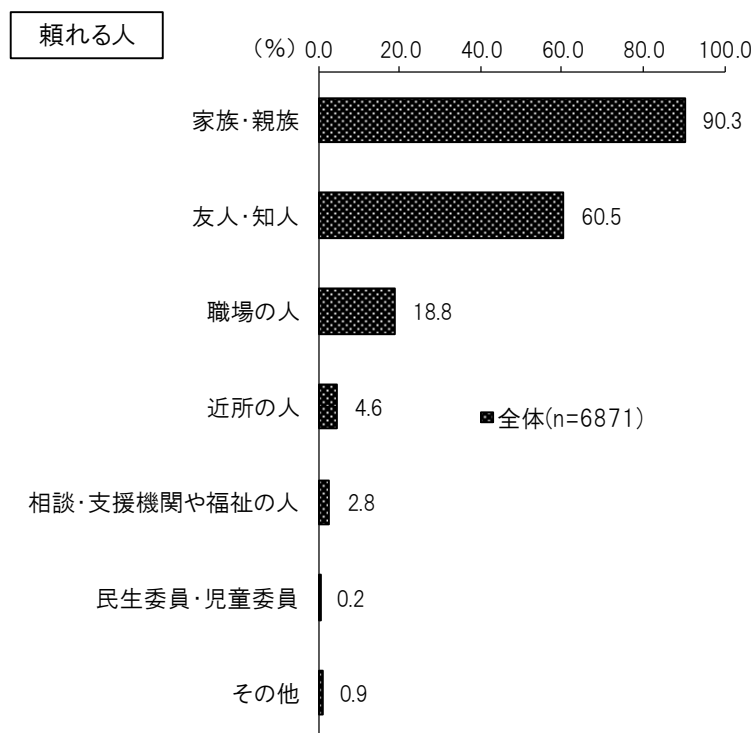
家族関係に関する相談については、「頼れる人がいる」が81.8%、「いない」が8.2%、「そのことでは人に頼らない」が9.7%となっている。

子供の学年別では、学年が上がるほど「いない」の割合が高くなっている。

世帯区分別では、ふたり親世帯はひとり親世帯に比べて「頼れる人がいる」の割合が高く、ひとり親世帯はふたり親世帯に比べて「いない」「そのことでは人に頼らない」の割合が高くなっている。



頼れる人については、「家族・親族」の割合が90.3%と最も高く、次いで「友人・知人」(60.5%)、「職場の人」(18.8%)の順となっている。

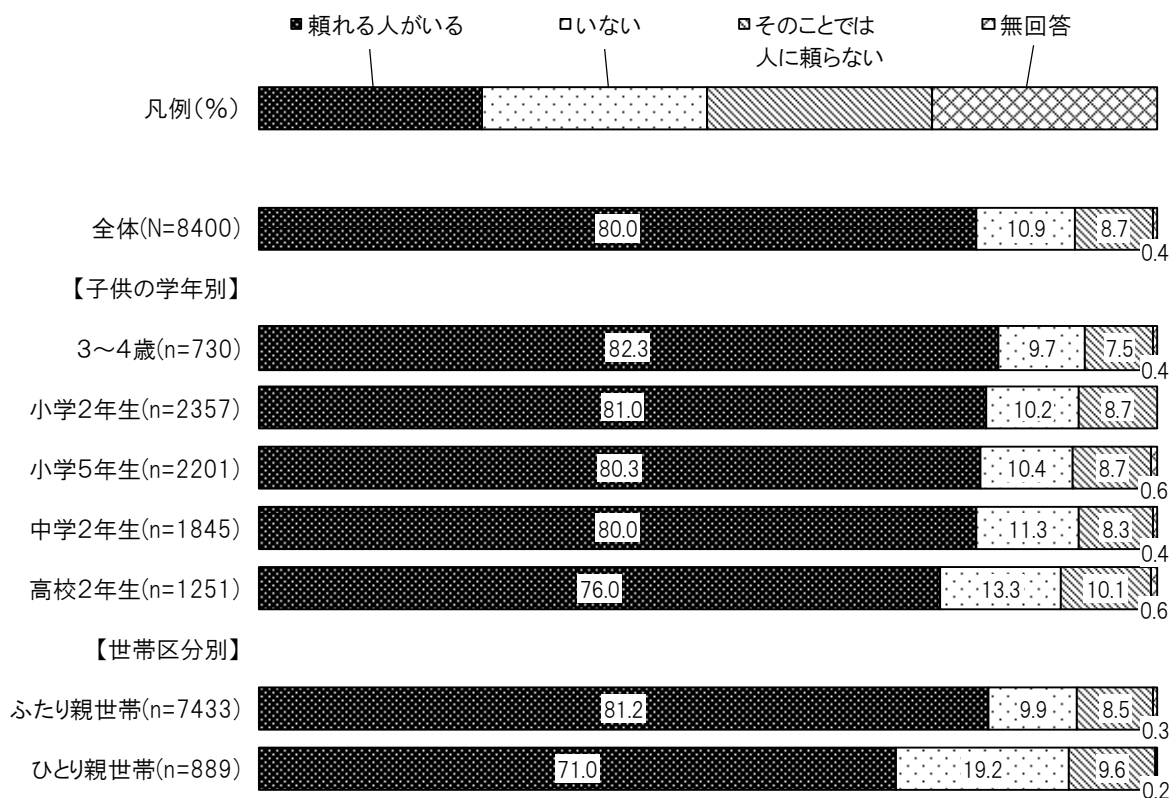


(c) 自分や家族の病気や障がいに関する相談

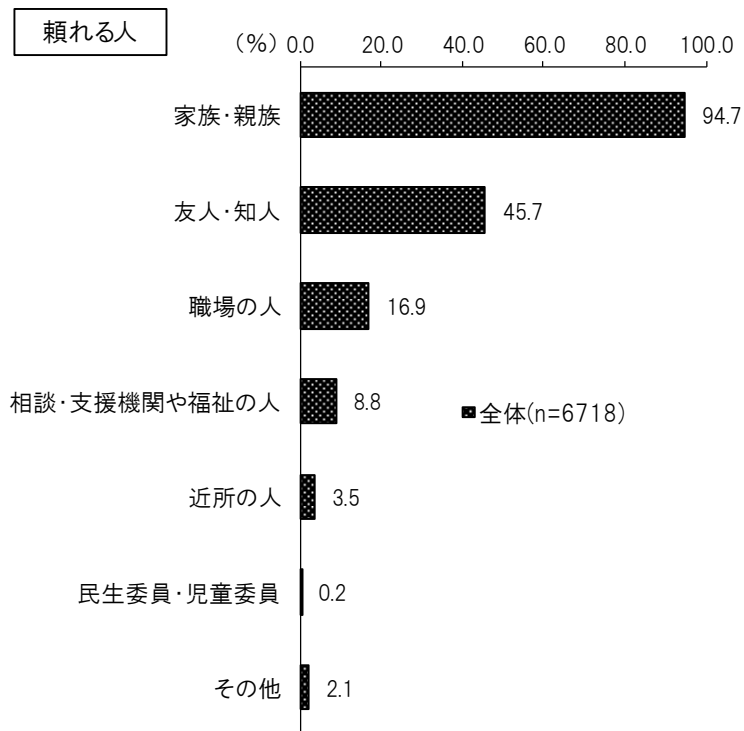
自分や家族の病気や障がいに関する相談については、「頼れる人がいる」が80.0%、「いない」が10.9%、「そのことでは人に頼らない」が8.7%となっている。

子供の学年別では、学年が上がるほど「いない」の割合が高くなっている。

世帯区分別では、ふたり親世帯はひとり親世帯に比べて「頼れる人がいる」の割合が高く、ひとり親世帯はふたり親世帯に比べて「いない」の割合が高くなっている。



頼れる人については、「家族・親族」の割合が94.7%と最も高く、次いで「友人・知人」(45.7%)、「職場の人」(16.9%)、「相談・支援機関や福祉の人」(8.8%)の順となっている。

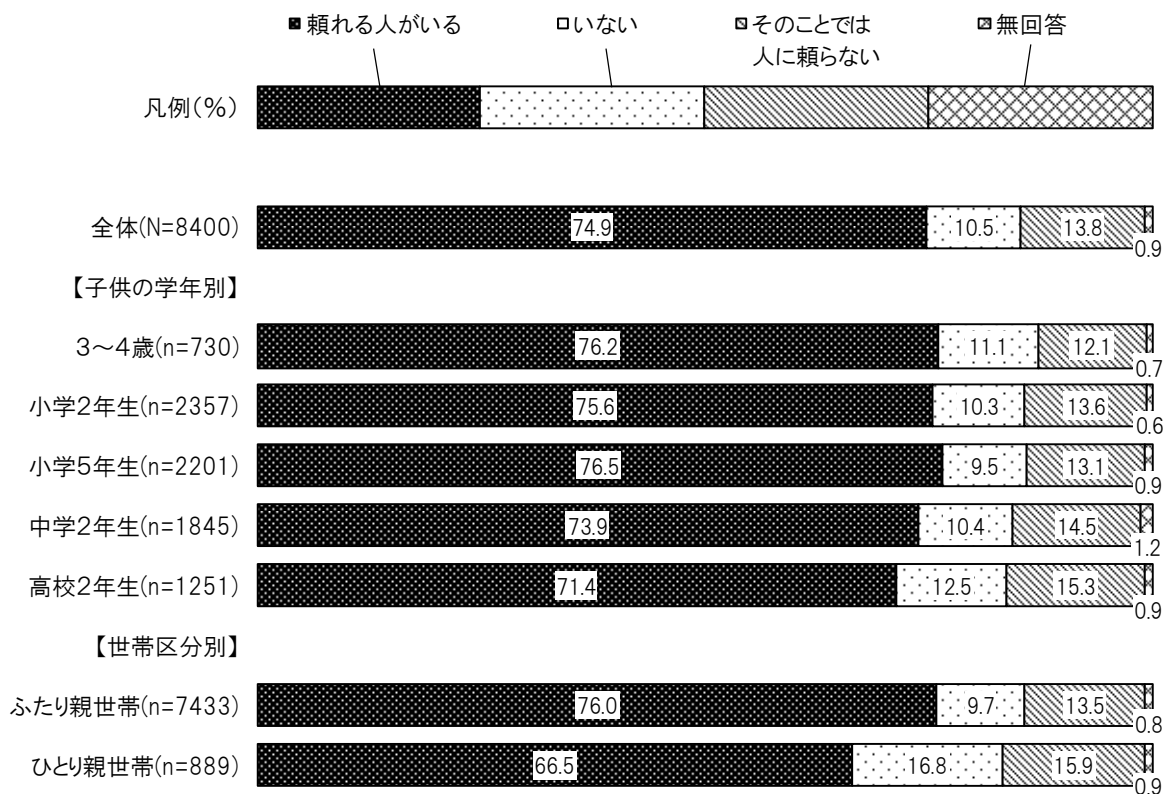


(d) 仕事に関する相談

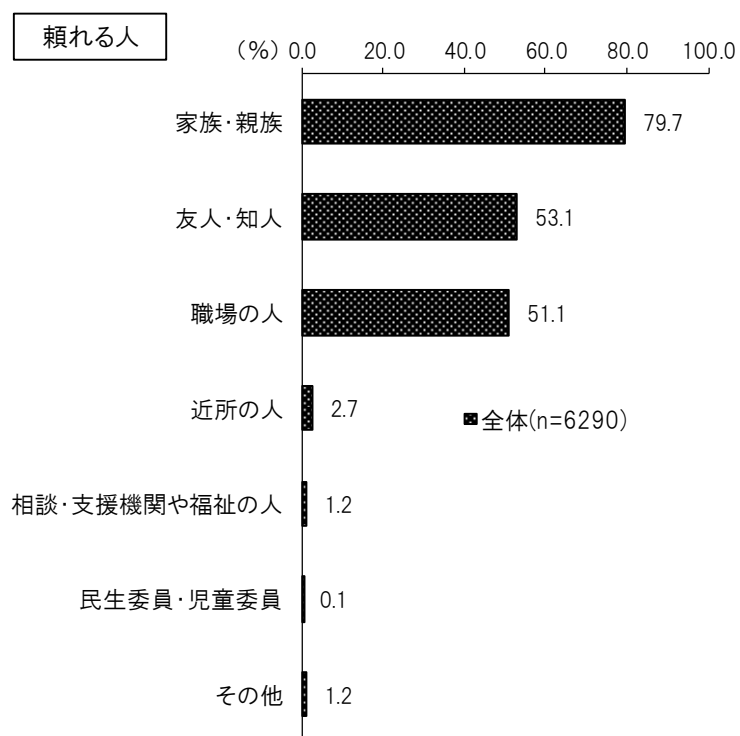
仕事に関する相談については、「頼れる人がいる」が74.9%、「いない」が10.5%、「そのことでは人に頼らない」が13.8%となっている。

子供の学年別では、高校2年生で「頼れる人がいる」の割合が他の層に比べてやや低くなっている。

世帯区分別では、ふたり親世帯はひとり親世帯に比べて「頼れる人がいる」の割合が高く、ひとり親世帯はふたり親世帯に比べて「いない」の割合が高くなっている。



頼れる人については、「家族・親族」の割合が79.7%と最も高く、次いで「友人・知人」(53.1%)、「職場の人」(51.1%)の順となっている。

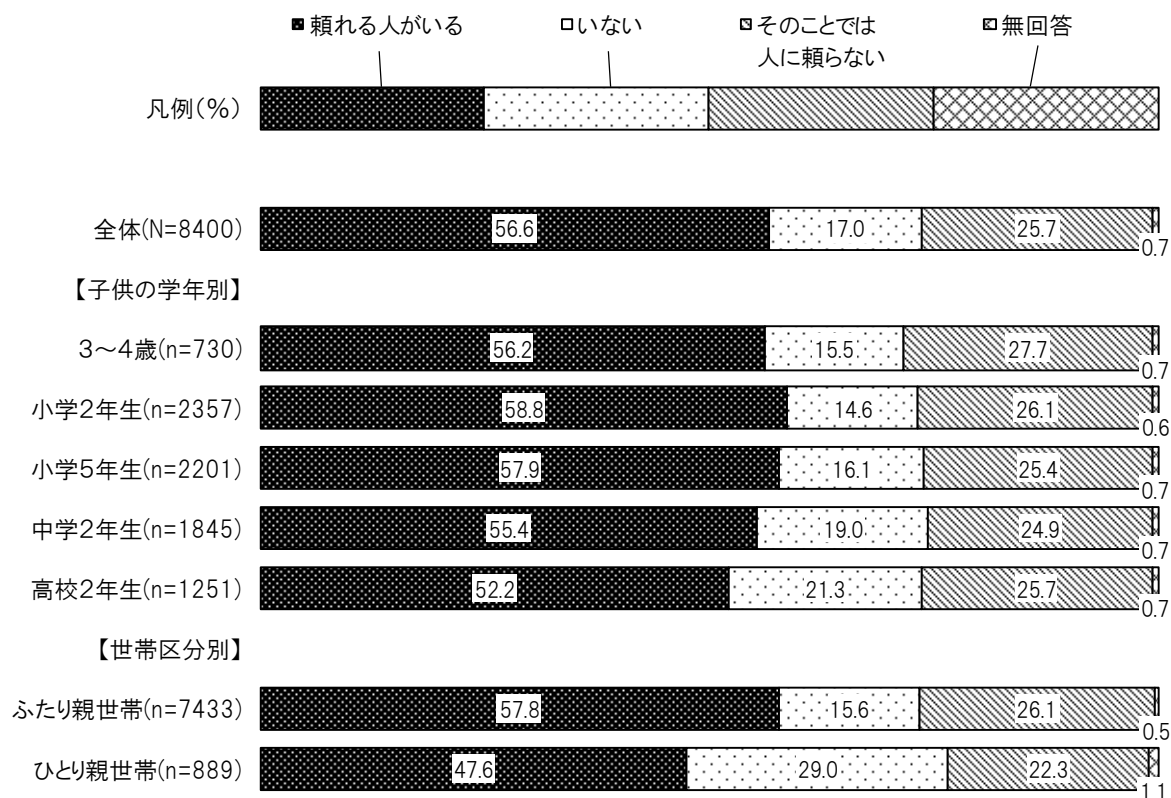


(e) いざという時のお金の援助

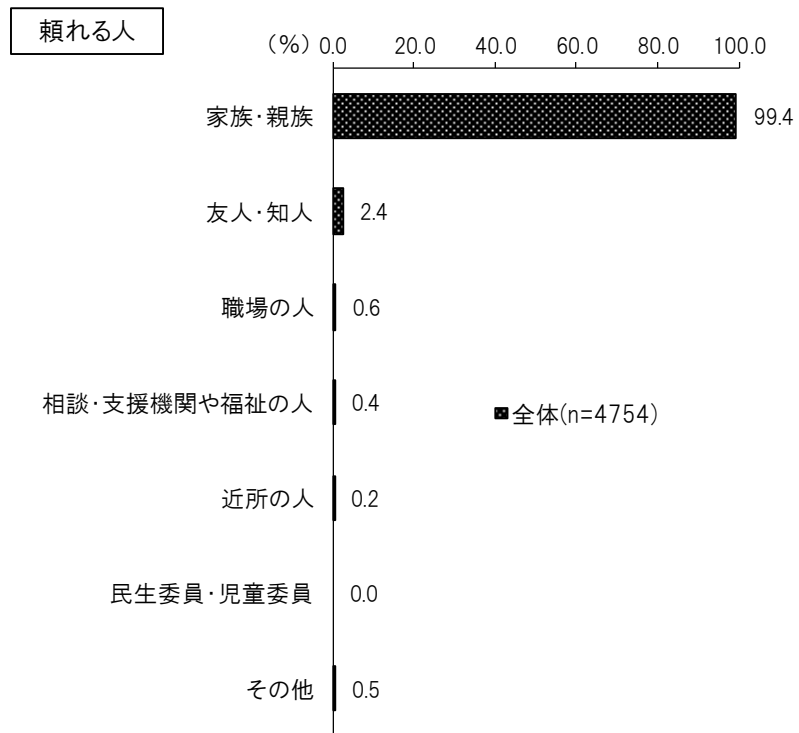
いざという時のお金の援助については、「頼れる人がいる」が56.6%、「いない」が17.0%、「そのことでは人に頼らない」が25.7%となっている。

子供の学年別では、おおむね学年が上がるほど「いない」の割合が高くなっている。

世帯区分別では、ふたり親世帯はひとり親世帯に比べて「頼れる人がいる」「そのことでは人に頼らない」の割合が高く、ひとり親世帯はふたり親世帯に比べて「いない」の割合が高くなっている。



頼れる人については、大半（99.4%）が「家族・親族」と回答している。



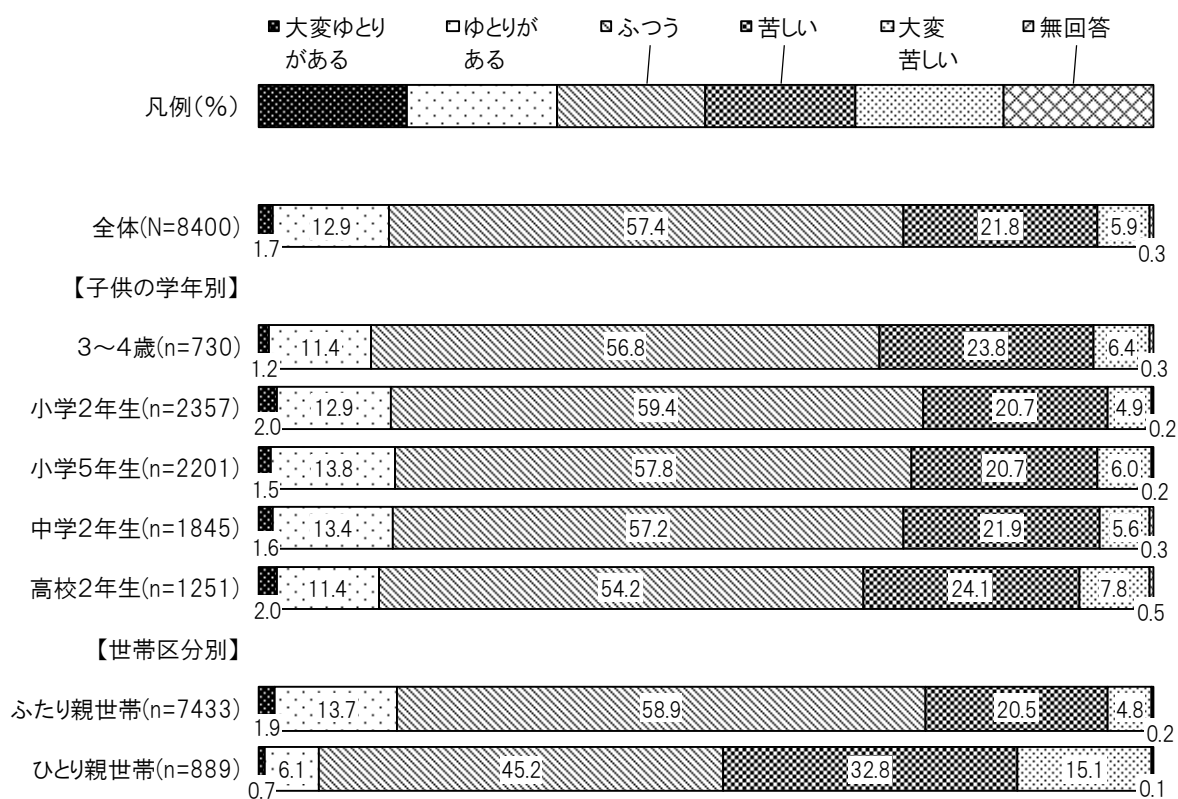
18 暮らしの状況

問 44 あなたは、現在の暮らしの状況をどのように感じていますか。（回答は1つ）

暮らしの状況については、「大変ゆとりがある」が 1.7%、「ゆとりがある」が 12.9%、合計で 14.6%が『ゆとりがある』と回答している。一方、「苦しい」(21.8%)、「大変苦しい」(5.9%) の合計は 27.7%、「ふつう」は 57.4%となっている。

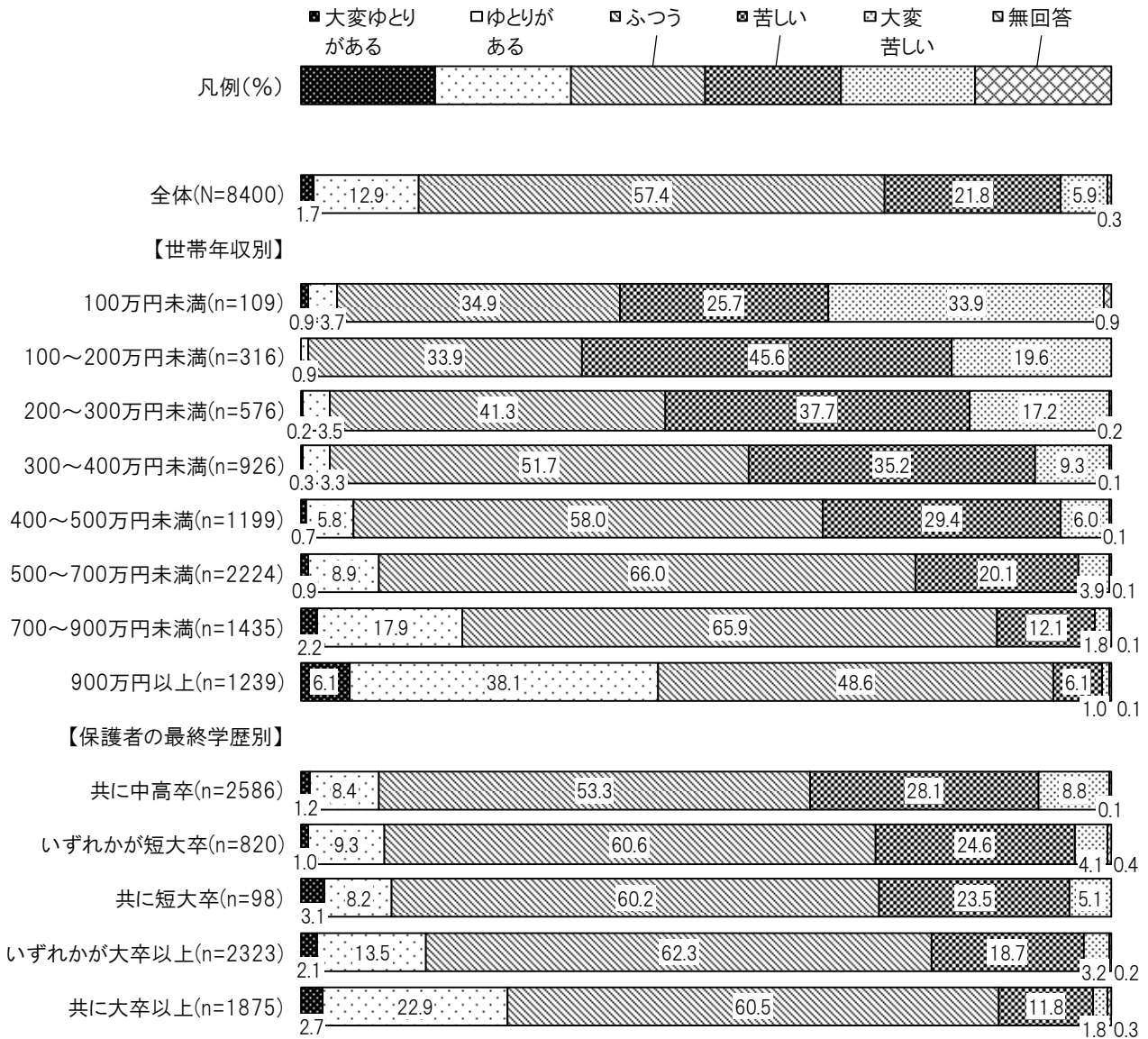
子供の学年別では、3～4歳や高校2年生で『苦しい(合計)』の割合が他の層に比べてやや高くなっている。

世帯区分別では、ひとり親世帯の約半数(47.9%)が『苦しい(合計)』と回答している。



世帯年収別では、100万円未満で「大変苦しい」、900万円以上で『ゆとりがある（合計）』の割合がそれぞれ他の層を大きく上回っている。

保護者の最終学歴別では、共に中高卒で『苦しい（合計）』、共に大卒以上で『ゆとりがある（合計）』の割合がそれぞれ他の層に比べて高くなっている。



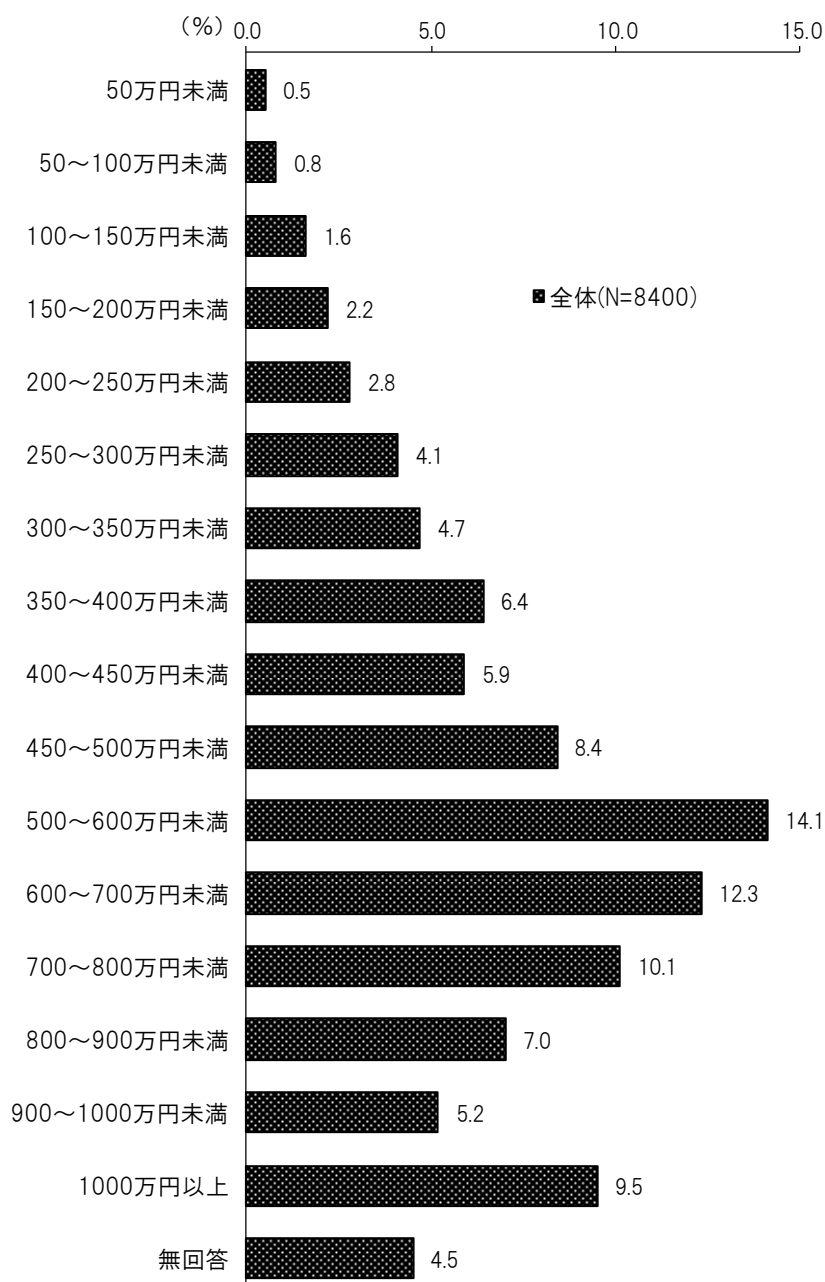
19 世帯の年間収入

問 45 世帯全体のおおよその年間収入(税込み)はいくらですか。(回答は1つ)

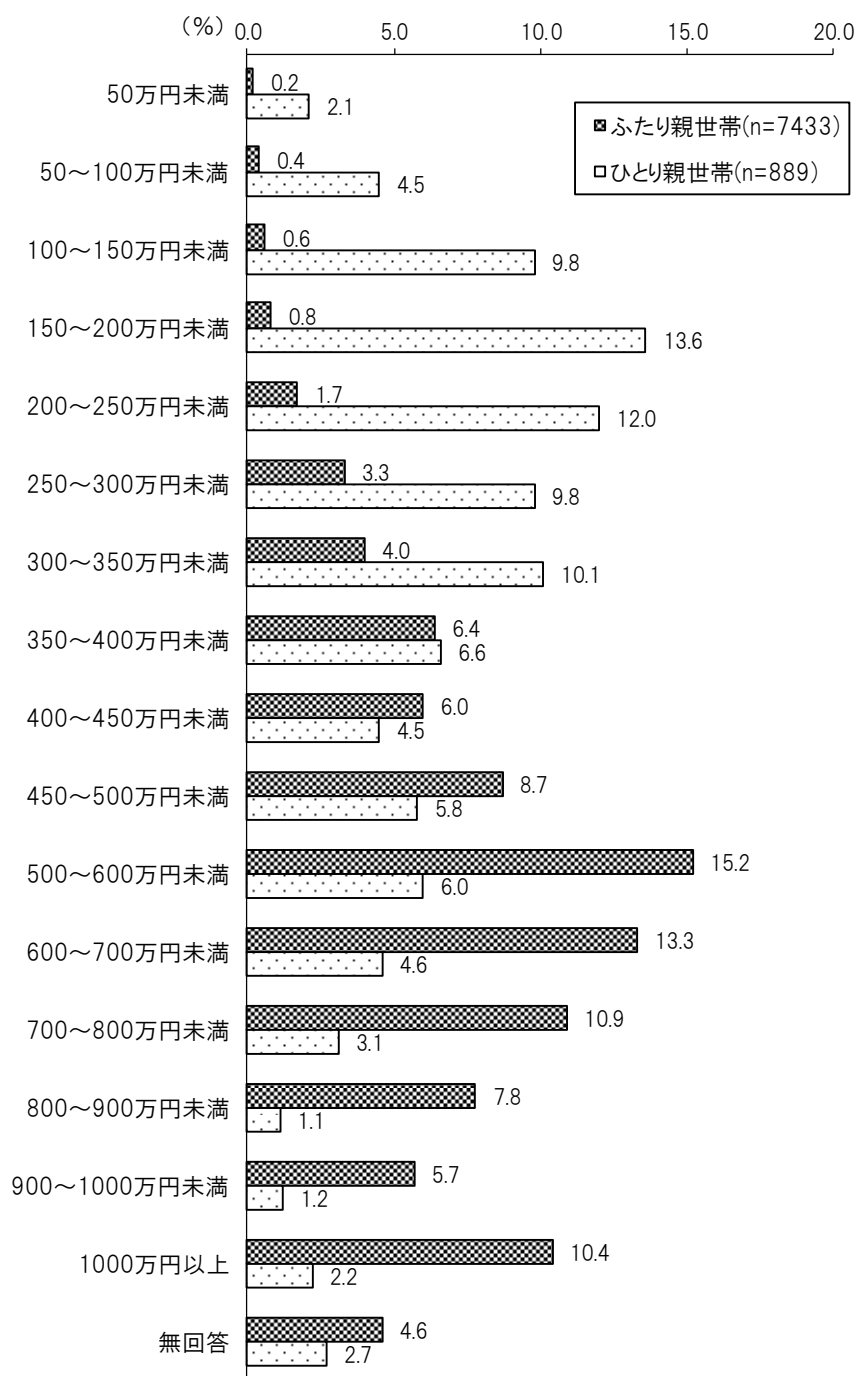
※ 収入には、同居し生計を同一にしている家族全員の以下の収入が含まれます。

- ・勤め先収入(定期収入、賞与等)
- ・事業収入(原材料費、人件費、営業上の諸経費等を除く)、内職収入(材料費等を除く)
- ・公的年金・恩給、その他の社会保障給付金(生活保護、児童手当、児童扶養手当等)
- ・農林漁業収入(農機具等の材料費、営業上の諸経費等を除く)
- ・資産収入(預貯金利子、家賃収入等。家・土地などの資産売却代金や生命保険・損害保険からの受取金等は除く。)
- ・その他の収入

世帯の年間収入については、「500～600万円未満」の割合が14.1%と最も高く、次いで「600～700万円未満」(12.3%)、「700～800万円未満」(10.1%)、「1000万円以上」(9.5%)、「450～500万円未満」(8.4%)の順となっている。



世帯区別では、ひとり親世帯で「350万円未満」、ふたり親世帯で「500万円以上」の割合がそれぞれ高くなっている。



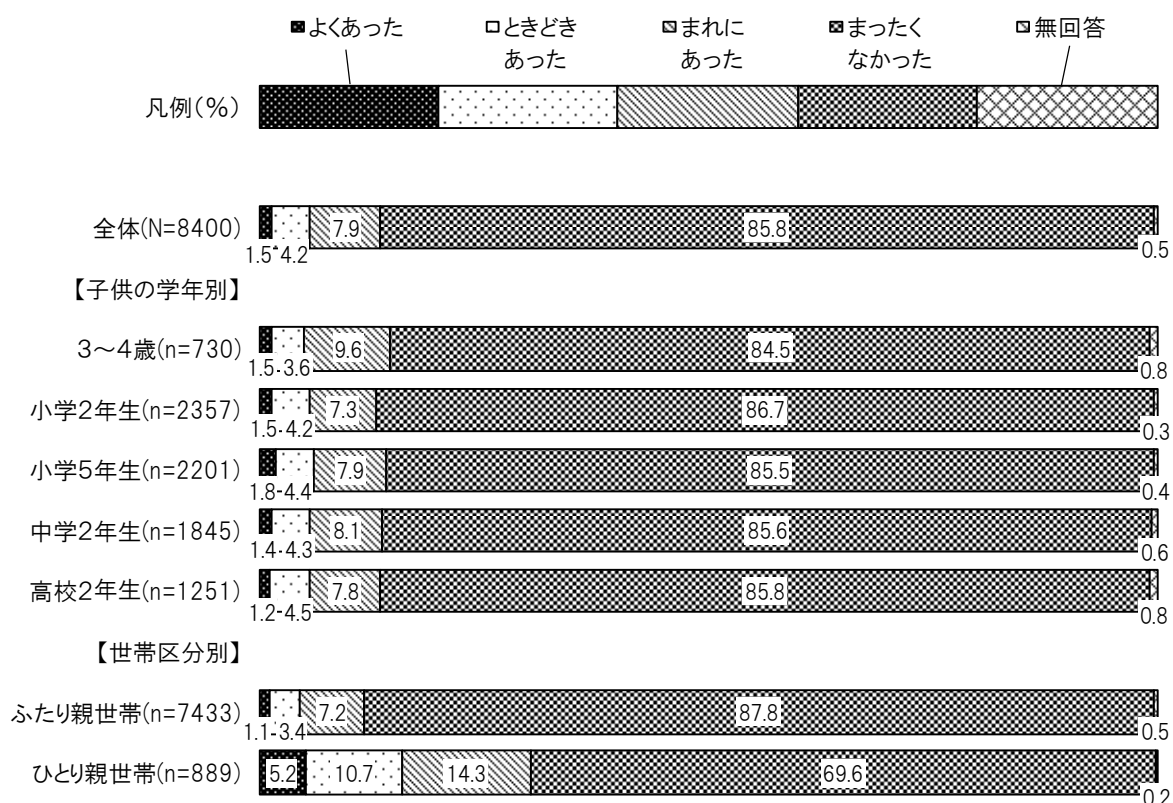
20 食料が買えなかった経験

問 46 あなたの世帯では、過去1年の間に、お金が足りなくて、家族が必要とする食料が買えないことがありましたか。ただし、嗜好品は含みません。（回答は1つ）

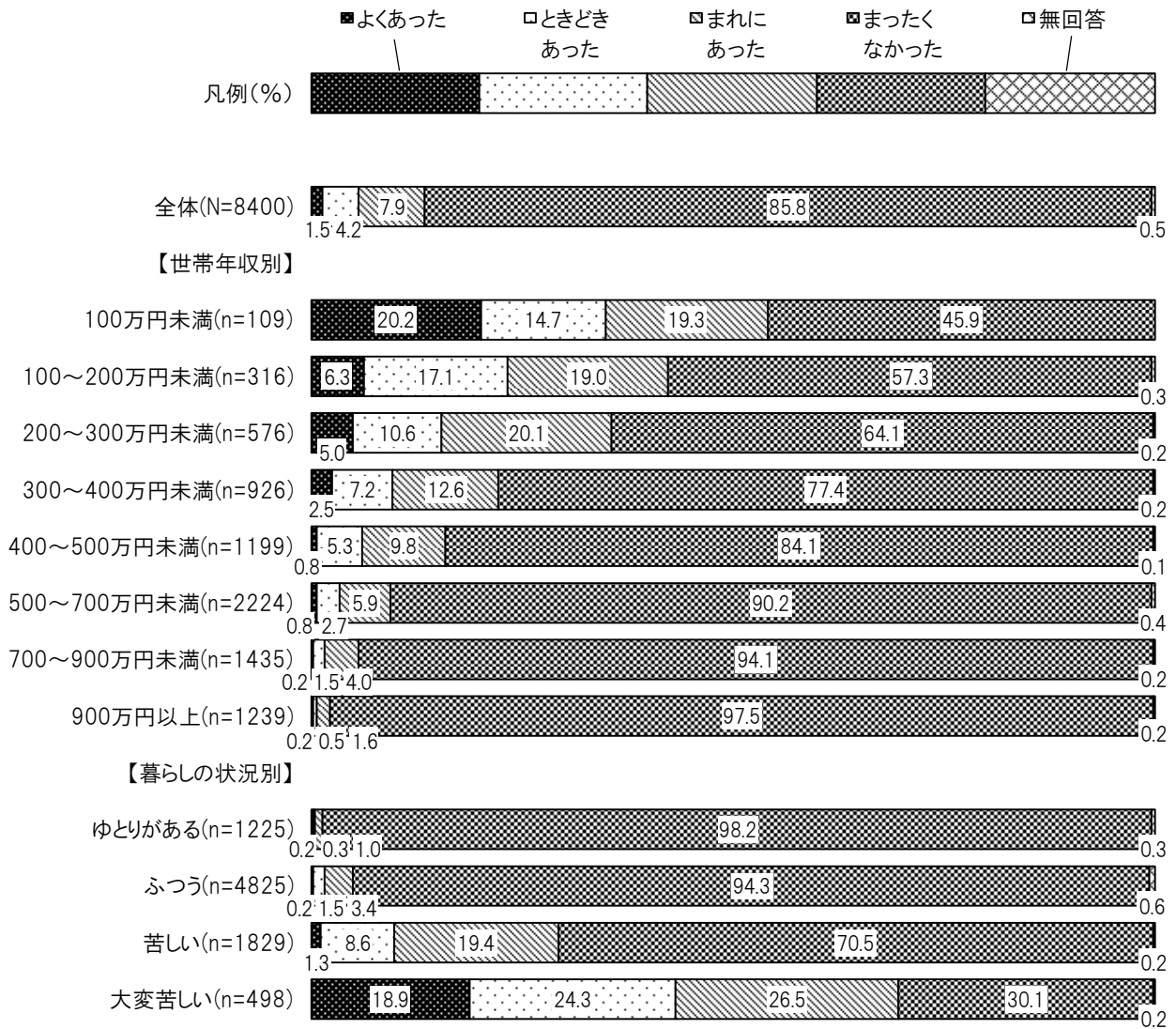
食料が買えなかった経験について、「よくあった」(1.5%)、「ときどきあった」(4.2%)、「まれにあった」(7.9%)の合計は13.6%となっている。

子供の学年別では、大きな差はみられない。

世帯区分別では、ひとり親世帯の3割(30.2%)が『あった(合計)』と回答している。



世帯年収別では、世帯年収が低くなるほど『あった（合計）』の割合が高くなっている。
 暮らしの状況別では、大変苦しいと回答した層の約7割（69.7%）が『あった（合計）』と回答している。



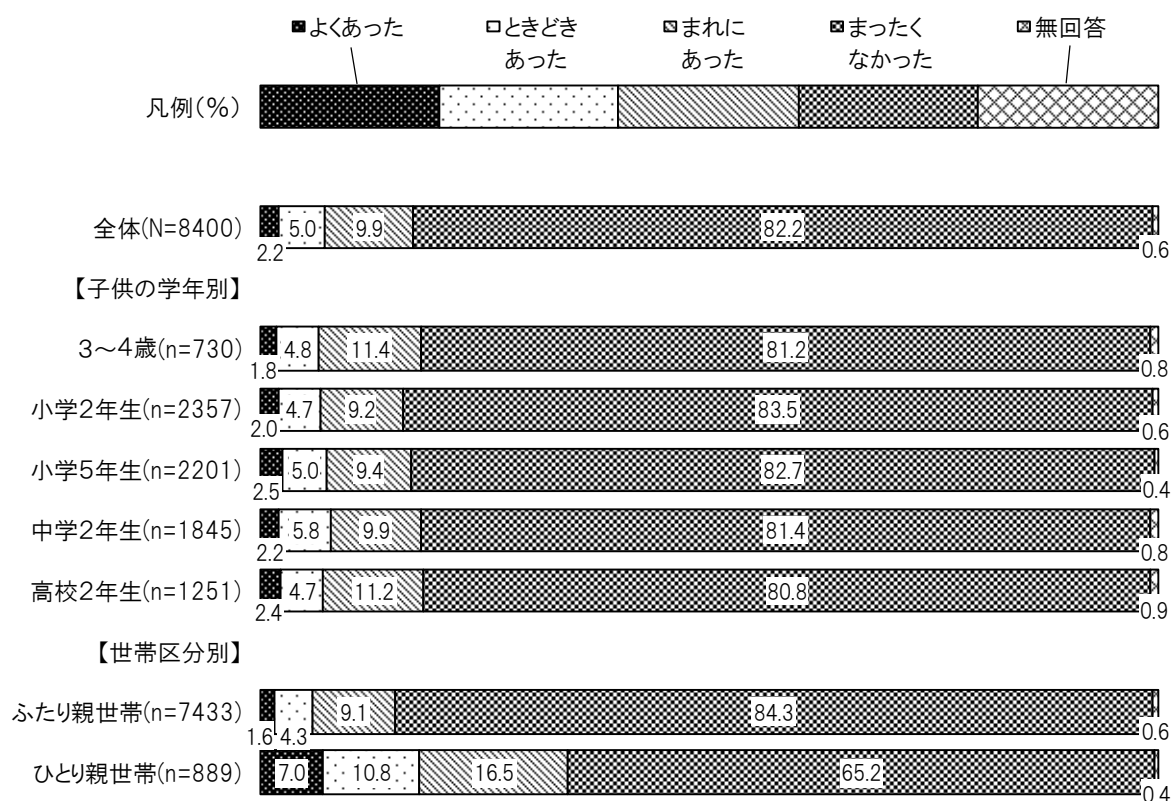
21 衣服が買えなかった経験

問 47 あなたの世帯では、過去1年の間に、お金が足りなくて、家族が必要とする衣服が買えないことがありましたか。ただし、高価な衣服や貴金属・宝飾品は含みません。（回答は1つ）

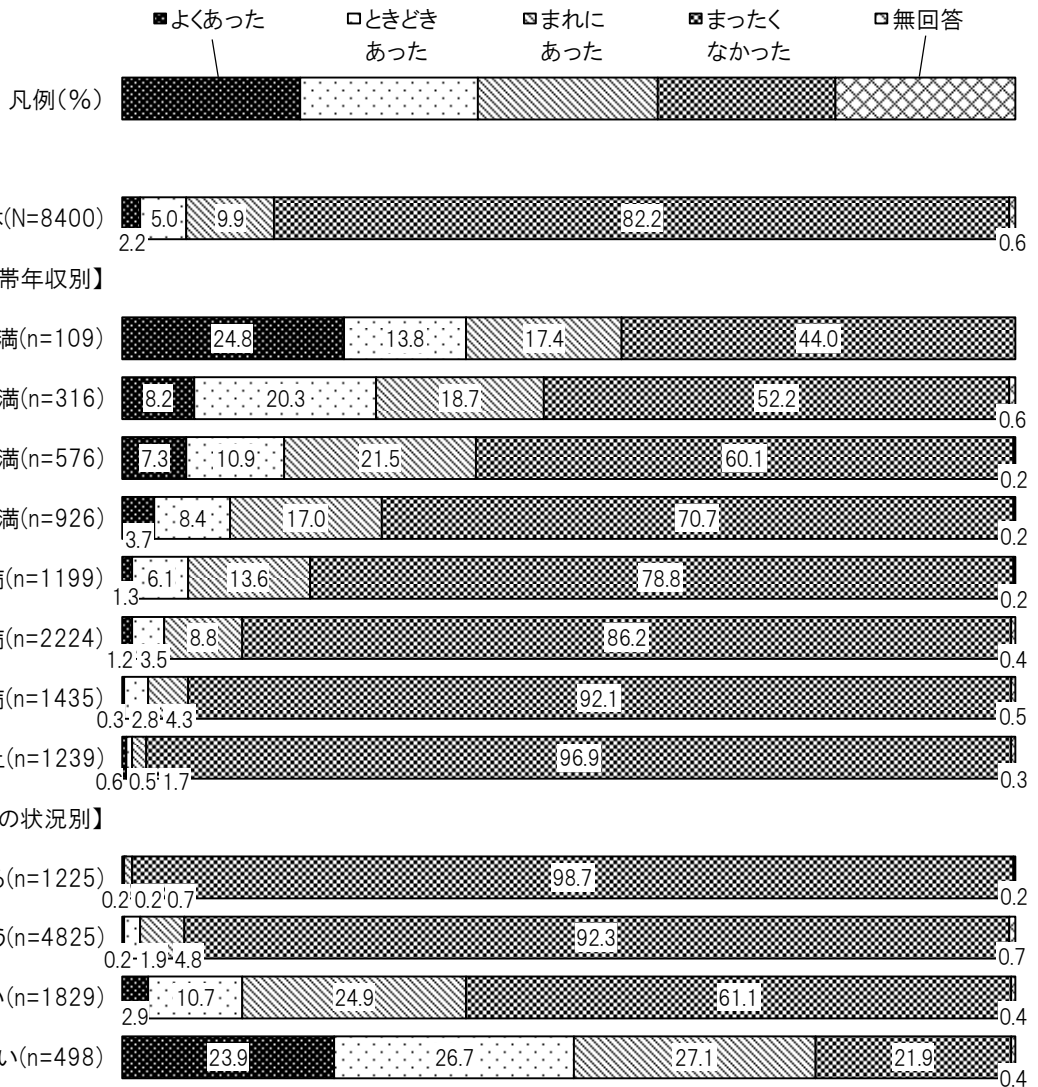
衣服が買えなかった経験について、「よくあった」(2.2%)、「ときどきあった」(5.0%)、「まれにあった」(9.9%)の合計は17.1%となっている。

子供の学年別では、大きな差はみられない。

世帯区分別では、ひとり親世帯の3割以上(34.3%)が『あった(合計)』と回答している。



世帯年収別では、世帯年収が低くなるほど『あった(合計)』の割合が高くなっている。
 暮らしの状況別では、大変苦しいと回答した層の8割近く(77.7%)が『あった(合計)』と回答している。

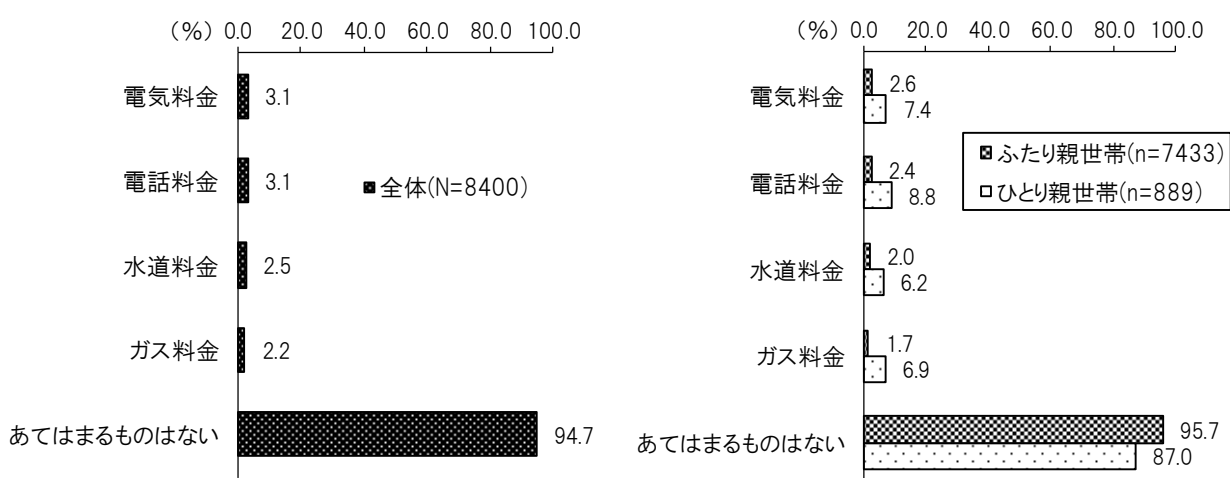


22 経済的な理由で未払いになった経験

問 48 あなたの世帯では、過去1年の間に、以下の料金について、経済的な理由で未払いになったことがありましたか。（回答はあてはまるもの全て）

経済的な理由で未払いになった経験については、「電気料金」「電話料金」の割合が3.1%と最も高く、次いで「水道料金」（2.5%）、「ガス料金」（2.2%）の順となっている。世帯区分別では、全ての項目において、ひとり親世帯はふたり親世帯に比べて割合が高くなっている。

世帯年収別では100万円未満で、暮らしの状況別では大変苦しいと回答した層で、それぞれ他の層に比べて割合が高くなっている。



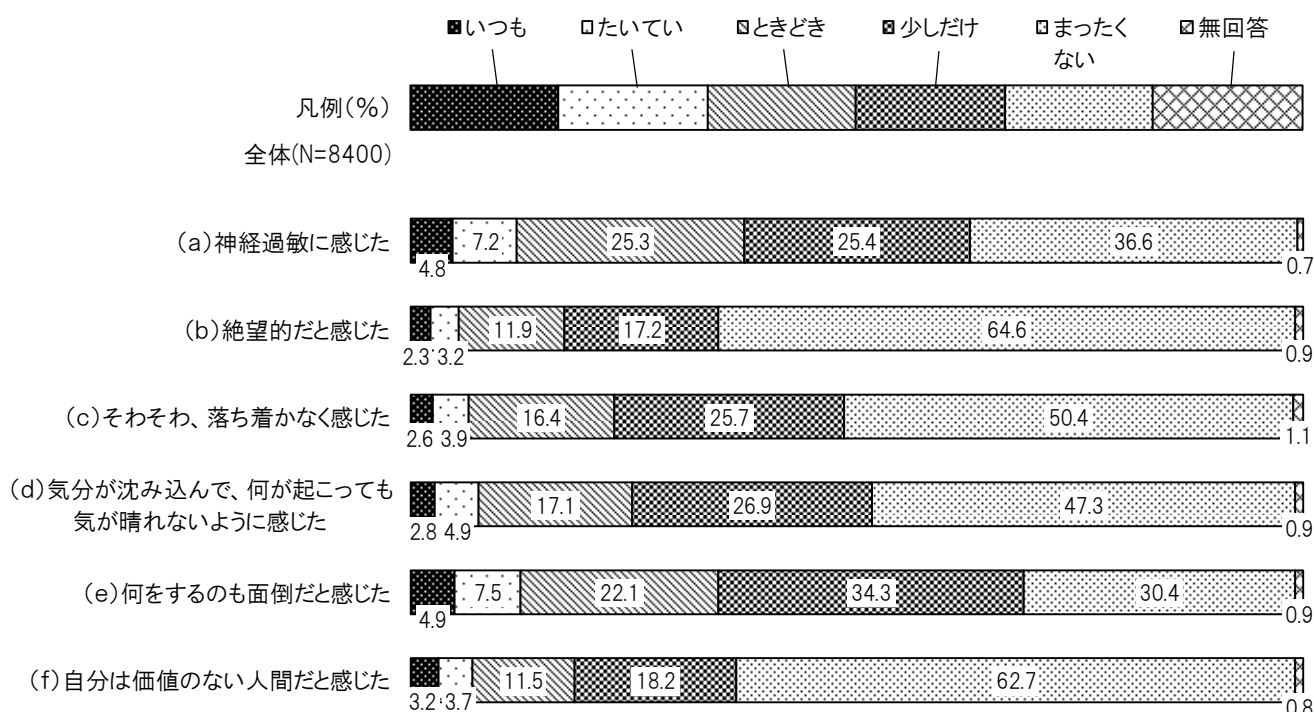
単位 (%)	電気料金	電話料金	水道料金	ガス料金	もあてはまるはない
全体(N=8400)	3.1	3.1	2.5	2.2	94.7
【世帯年収別】					
100万円未満(n=109)	20.2	21.1	16.5	22.0	70.6
100～200万円未満(n=316)	10.4	11.7	11.1	10.8	79.7
200～300万円未満(n=576)	9.2	7.8	7.3	6.8	86.1
300～400万円未満(n=926)	4.8	5.8	4.1	3.8	90.9
400～500万円未満(n=1199)	3.4	3.3	2.6	2.1	94.0
500～700万円未満(n=2224)	2.2	1.7	1.0	0.8	96.8
700～900万円未満(n=1435)	0.8	1.0	1.0	0.3	98.1
900万円以上(n=1239)	0.5	0.4	0.3	0.4	99.2
【暮らしの状況別】					
ゆとりがある(n=1225)	0.2	0.2	0.2	0.1	99.7
ふつう(n=4825)	1.0	0.7	0.8	0.7	98.3
苦しい(n=1829)	6.1	5.7	4.5	3.9	89.5
大変苦しい(n=498)	20.7	23.5	16.9	16.5	66.1

23 気持ちの状態について

問 49～54 次の(a)～(f)の質問について、この1か月間のあなたの気持ちはどのようでしたか。(回答は1つずつ)

気持ちの状態について、「いつも」「たいてい」「ときどき」の合計割合が高い順に、「(a) 神経過敏に感じた」(37.3%)、「(e) 何をするのも面倒だと感じた」(34.5%)、「(d) 気分が沈み込んで、何が起ころうとも気が晴れないように感じた」(24.8%)、「(c) そわそわ、落ち着かなく感じた」(22.9%)となっている。

一方、「まったく」の割合が高い順に、「(b) 絶望的だと感じた」(64.6%)、「(f) 自分は価値のない人間だと感じた」(62.7%)となっている。



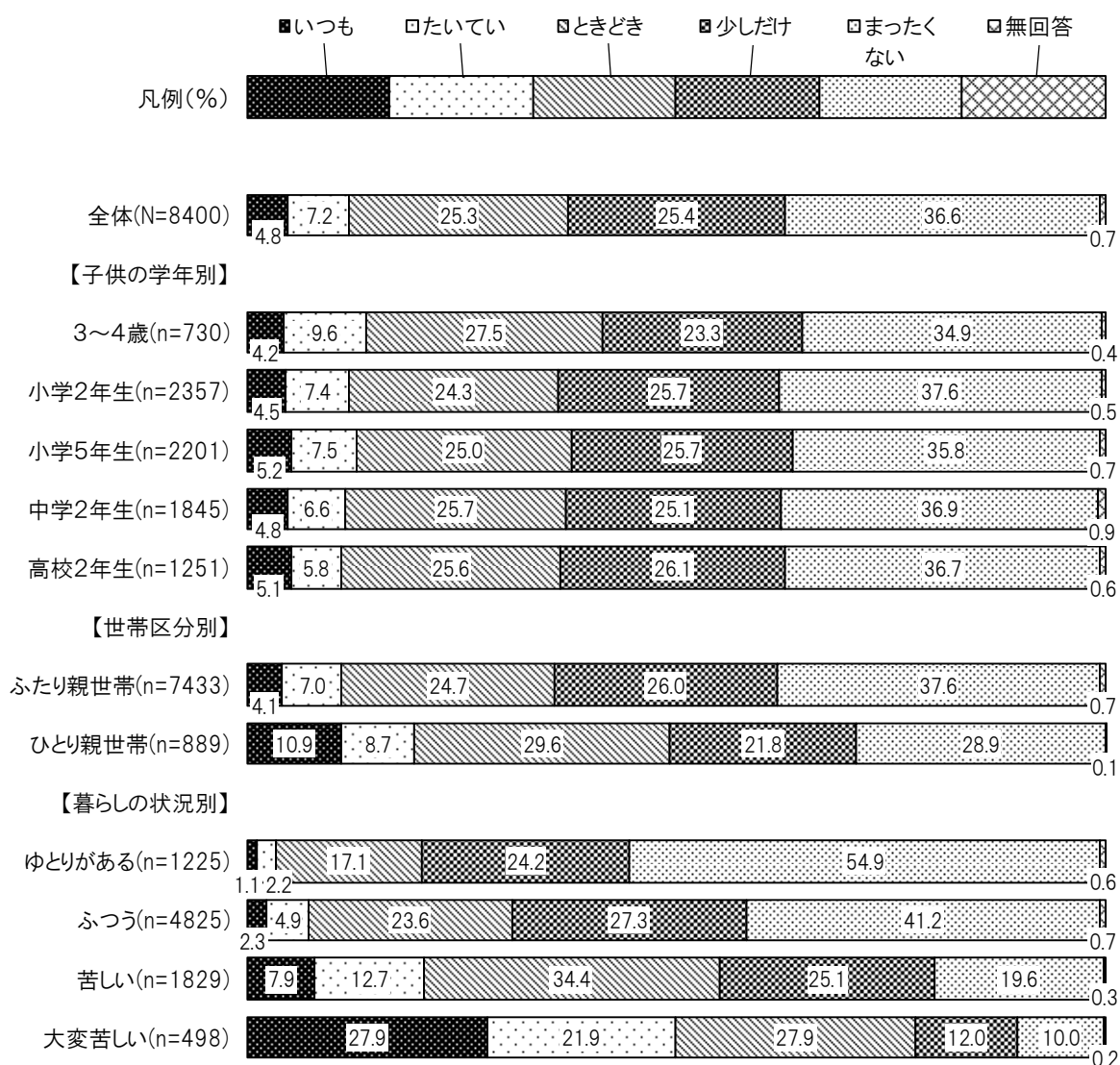
(a) 神経過敏に感じた

「神経過敏に感じた」について、「いつも」(4.8%)、「たいてい」(7.2%)、「ときどき」(25.3%)の合計割合は37.3%となっており、「まったくない」は36.6%となっている。

子供の学年別では、3～4歳で「いつも」「たいてい」「ときどき」の合計割合が他の層に比べてやや高くなっている。

世帯区分別では、ひとり親世帯は「いつも」「たいてい」「ときどき」の合計割合が約半数(49.2%)を占め、ふたり親世帯を大きく上回っている。

暮らしの状況別では、大変苦しいと回答した層で「いつも」「たいてい」の合計割合が約半数(49.8%)を占めている。



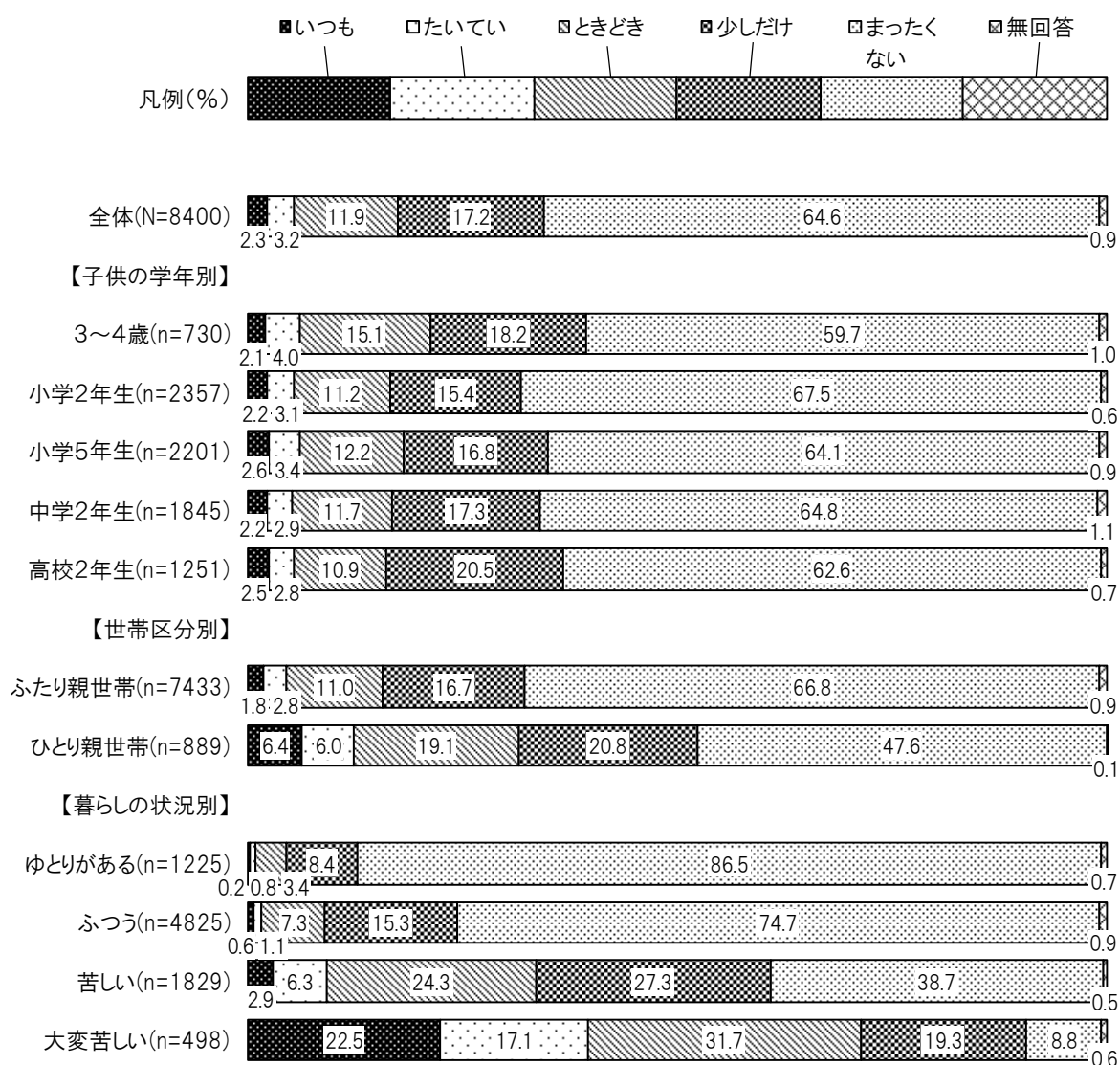
(b) 絶望的だと感じた

「絶望的だと感じた」について、「いつも」(2.3%)、「たいてい」(3.2%)、「ときどき」(11.9%)の合計割合は17.4%となっており、「まったくない」は64.6%となっている。

子供の学年別では、3～4歳で「いつも」「たいてい」「ときどき」の合計割合が他の層に比べてやや高くなっている。

世帯区分別では、ひとり親世帯は「いつも」「たいてい」「ときどき」の合計割合が約3割(31.5%)を占め、ふたり親世帯を大きく上回っている。

暮らしの状況別では、大変苦しいと回答した層で「いつも」「たいてい」の合計割合が約4割(39.6%)を占めている。



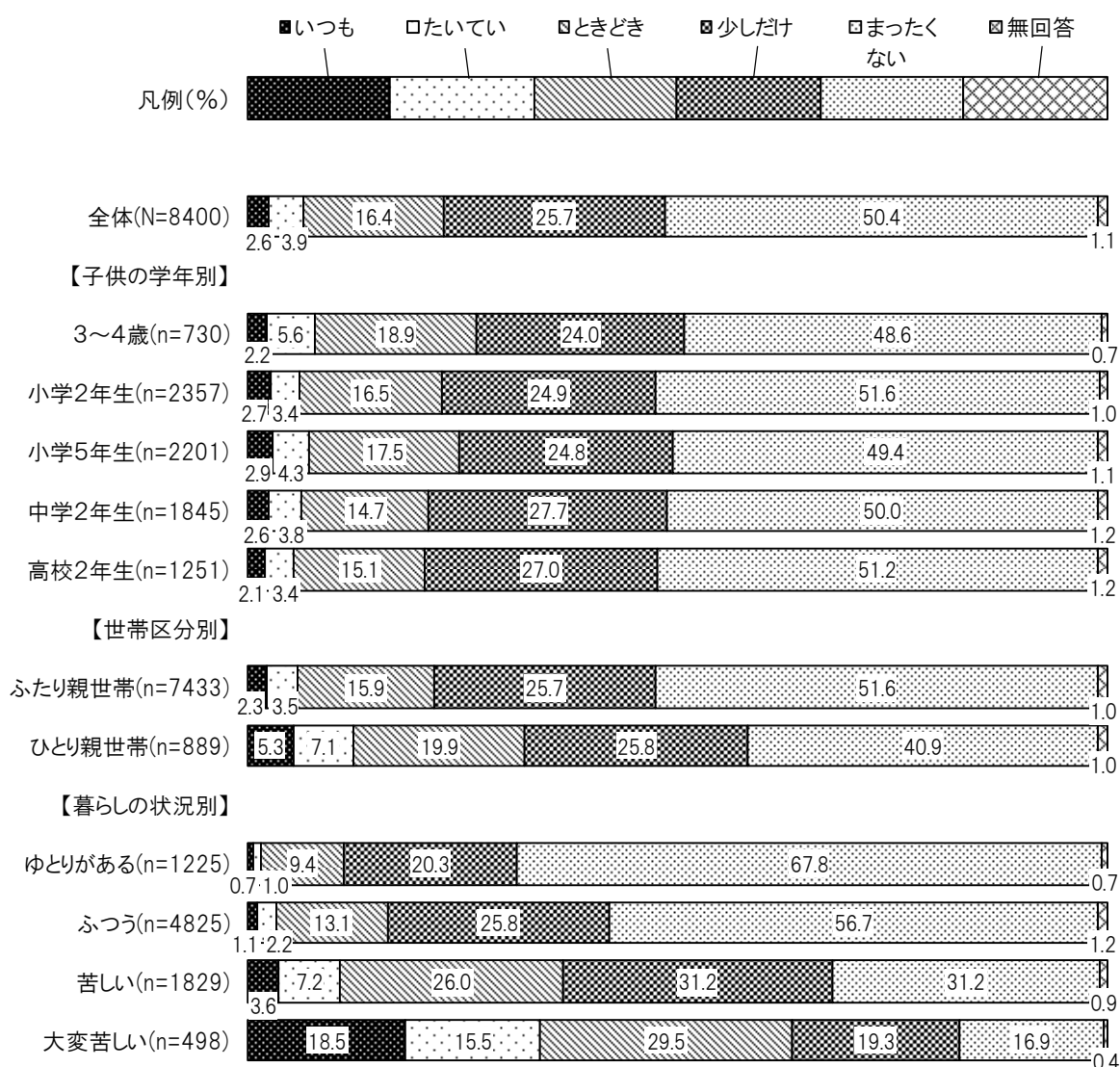
(c) そわそわ、落ち着かなく感じた

「そわそわ、落ち着かなく感じた」について、「いつも」(2.6%)、「たいてい」(3.9%)、「ときどき」(16.4%)の合計割合は22.9%となっており、「まったくない」は50.4%となっている。

子供の学年別では、3～4歳で「いつも」「たいてい」「ときどき」の合計割合が他の層に比べてやや高くなっている。

世帯区分別では、ひとり親世帯は「いつも」「たいてい」「ときどき」の合計割合が約3割(32.3%)を占め、ふたり親世帯を大きく上回っている。

暮らしの状況別では、大変苦しいと回答した層で「いつも」「たいてい」の合計割合が3割以上(34.0%)を占めている。



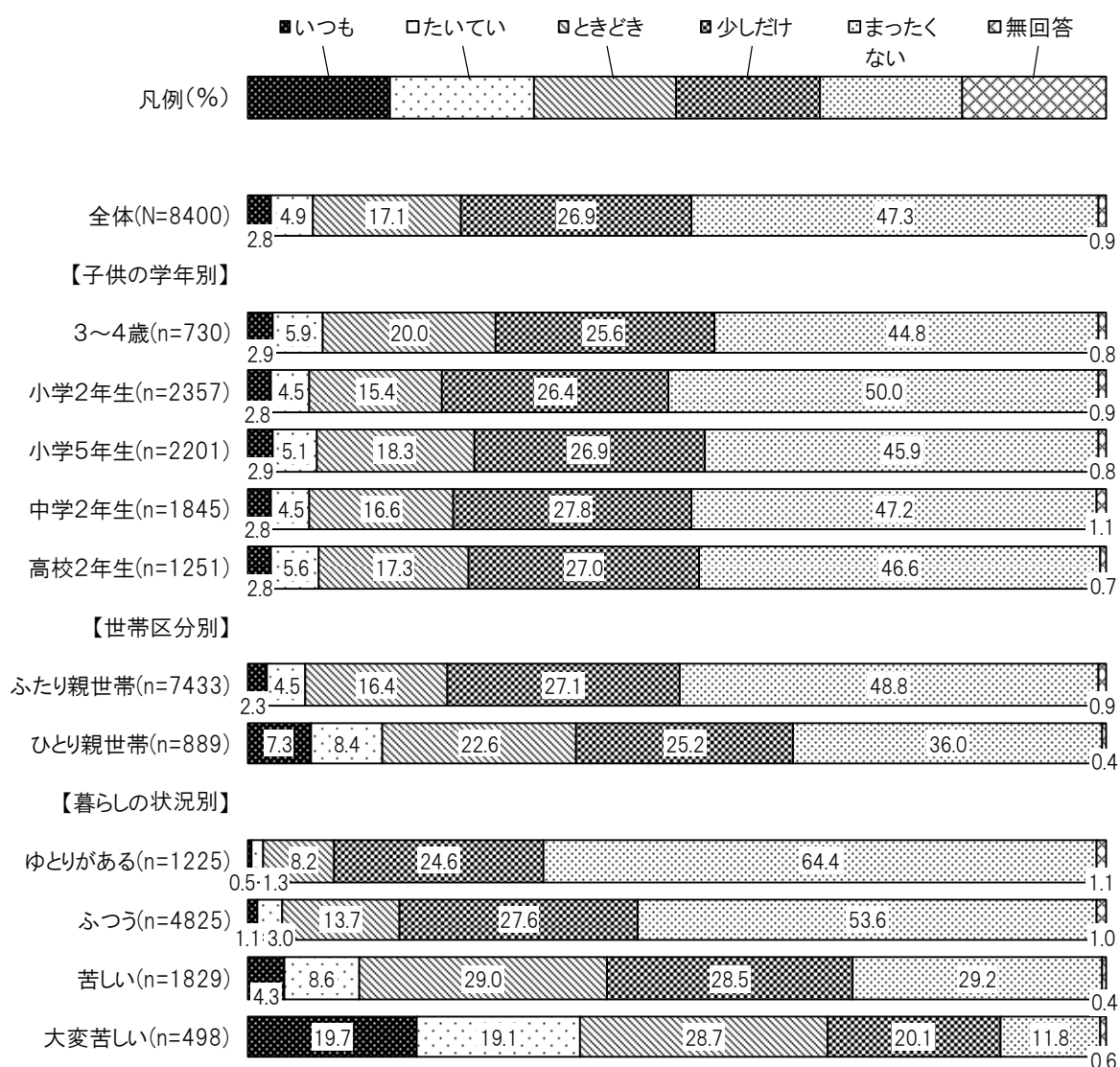
(d) 気分が沈み込んで、何が起こっても気が晴れないように感じた

「気分が沈み込んで、何が起こっても気が晴れないように感じた」について、「いつも」(2.8%)、「たいてい」(4.9%)、「ときどき」(17.1%)の合計割合は24.8%となっており、「まったくない」は47.3%となっている。

子供の学年別では、3～4歳で「いつも」「たいてい」「ときどき」の合計割合が他の層に比べてやや高くなっている。

世帯区分別では、ひとり親世帯は「いつも」「たいてい」「ときどき」の合計割合が約4割(38.3%)を占め、ふたり親世帯を大きく上回っている。

暮らしの状況別では、大変苦しいと回答した層で「いつも」「たいてい」の合計割合が約4割(38.8%)を占めている。



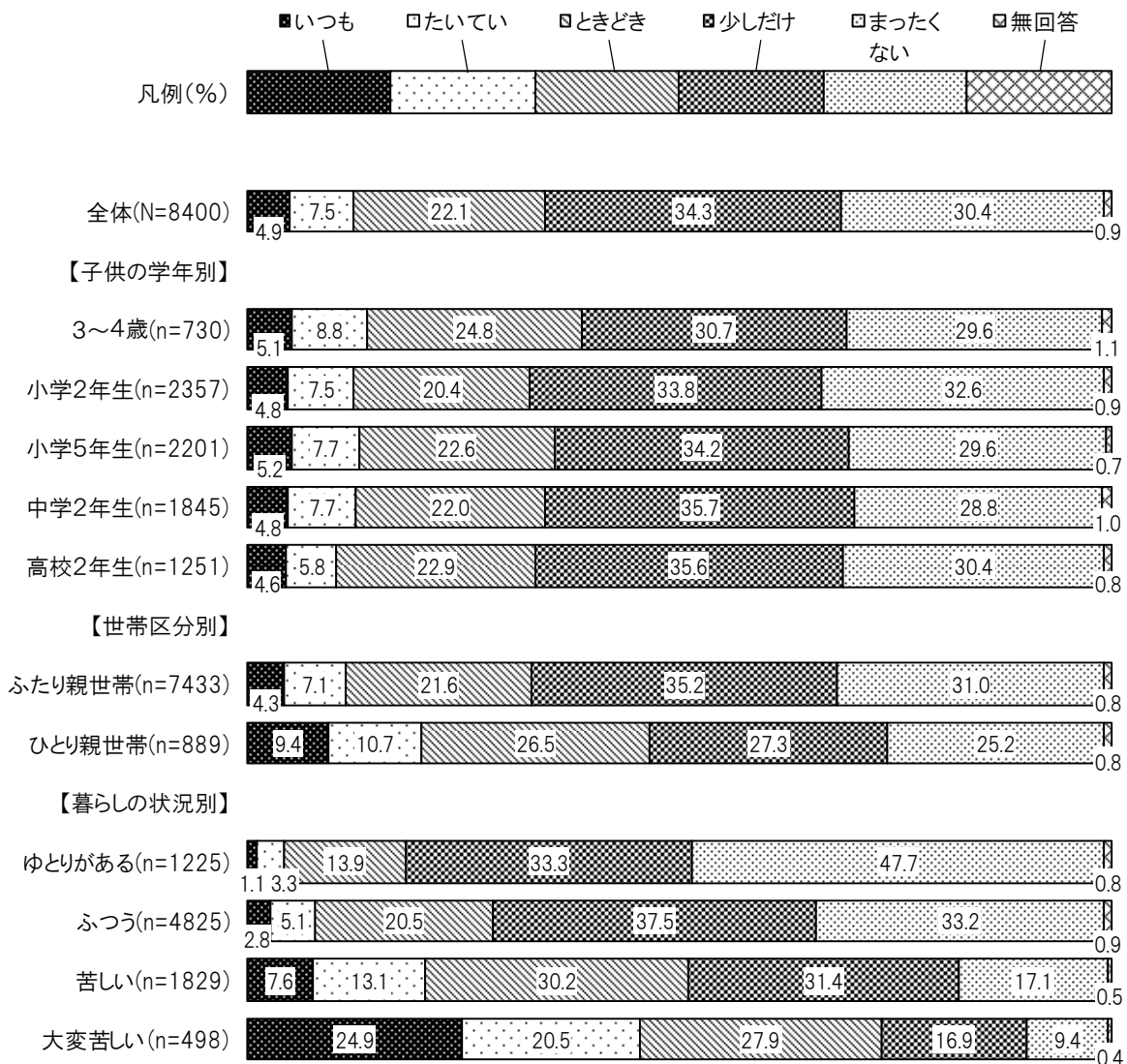
(e) 何をするのも面倒だと感じた

「何をするのも面倒だと感じた」について、「いつも」(4.9%)、「たいてい」(7.5%)、「ときどき」(22.1%)の合計割合は34.5%となっており、「まったくない」は30.4%となっている。

子供の学年別では、3～4歳で「いつも」「たいてい」「ときどき」の合計割合が他の層に比べてやや高くなっている。

世帯区分別では、ひとり親世帯は「いつも」「たいてい」「ときどき」の合計割合が4割以上(46.6%)を占め、ふたり親世帯を大きく上回っている。

暮らしの状況別では、大変苦しいと回答した層で「いつも」「たいてい」の合計割合が4割以上(45.4%)を占めている。



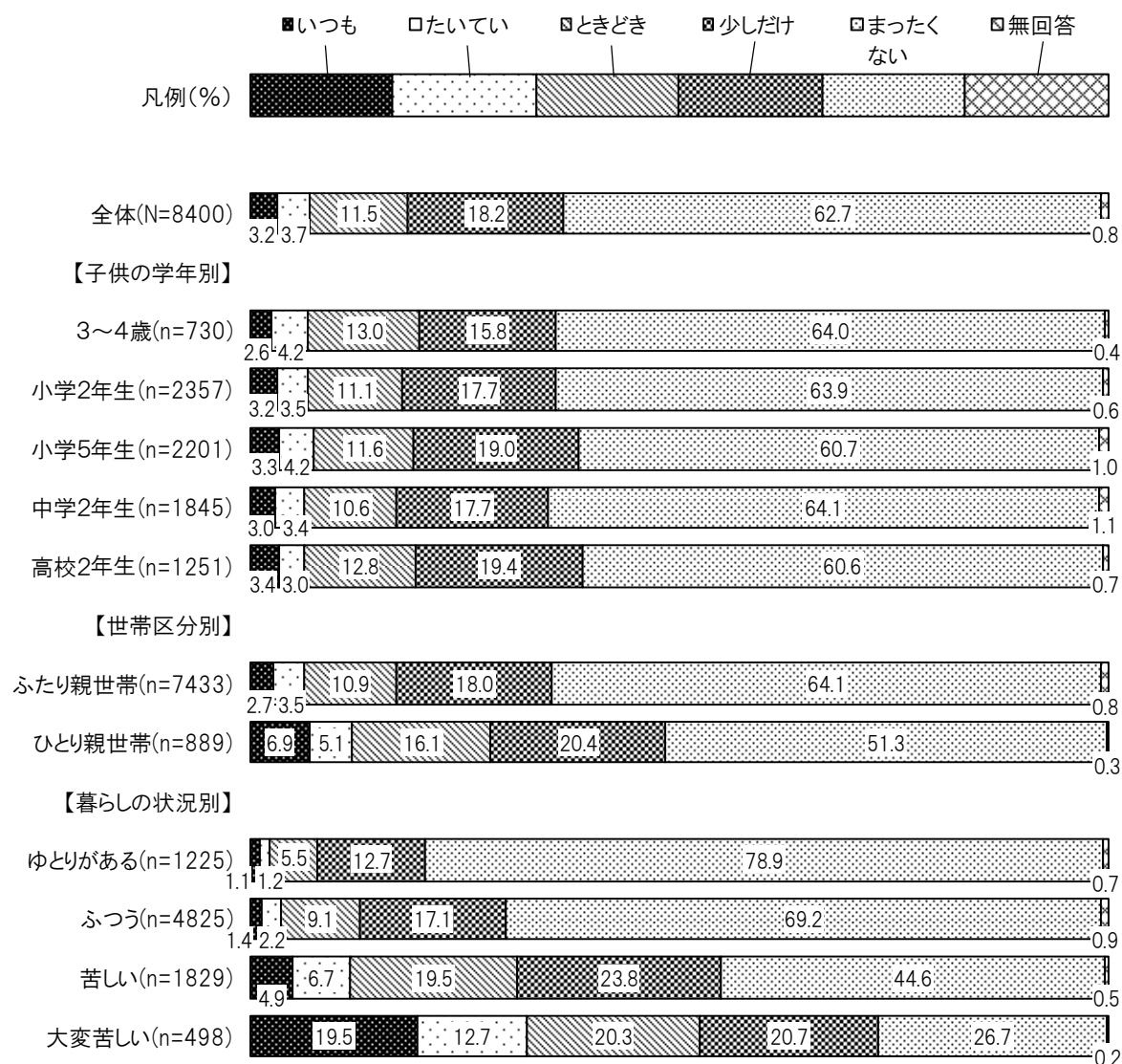
(f) 自分は価値のない人間だと感じた

「自分は価値のない人間だと感じた」について、「いつも」(3.2%)、「たいてい」(3.7%)、「ときどき」(11.5%)の合計割合は18.4%となっており、「まったく」は62.7%となっている。

子供の学年別では、大きな差はみられない。

世帯区分別では、ひとり親世帯は「いつも」「たいてい」「ときどき」の合計割合が約3割(28.1%)を占め、ふたり親世帯を大きく上回っている。

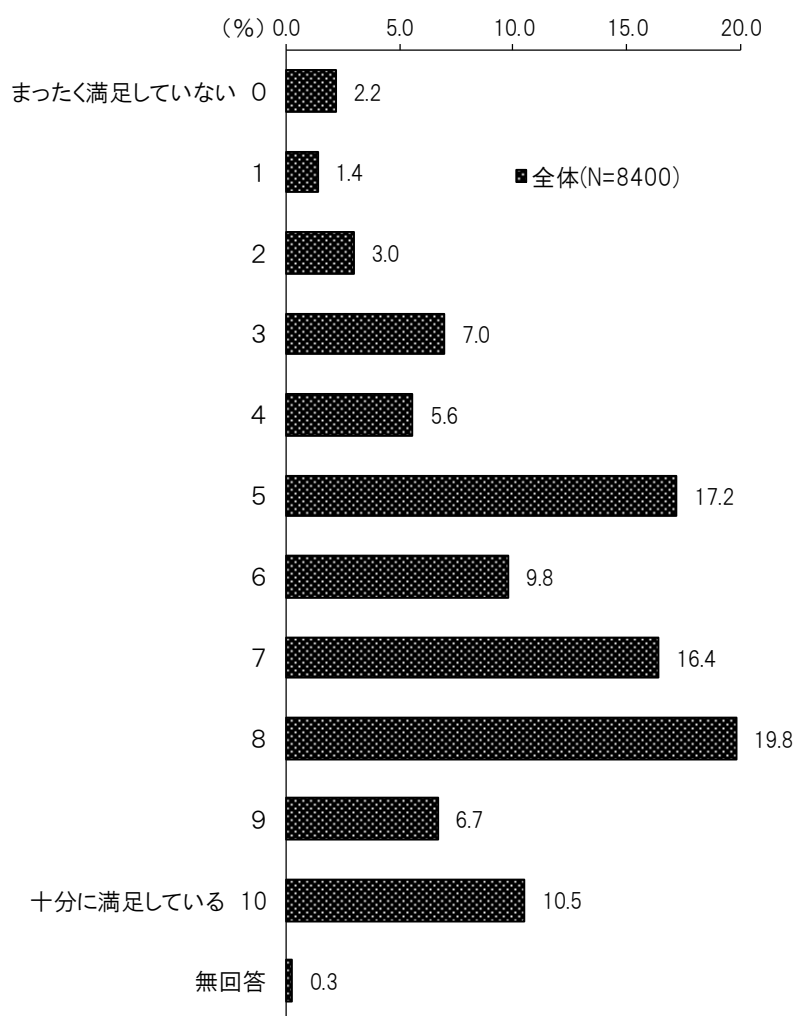
暮らしの状況別では、大変苦しいと回答した層で「いつも」「たいてい」の合計割合が約3割(32.2%)を占めている。



24 生活の満足度

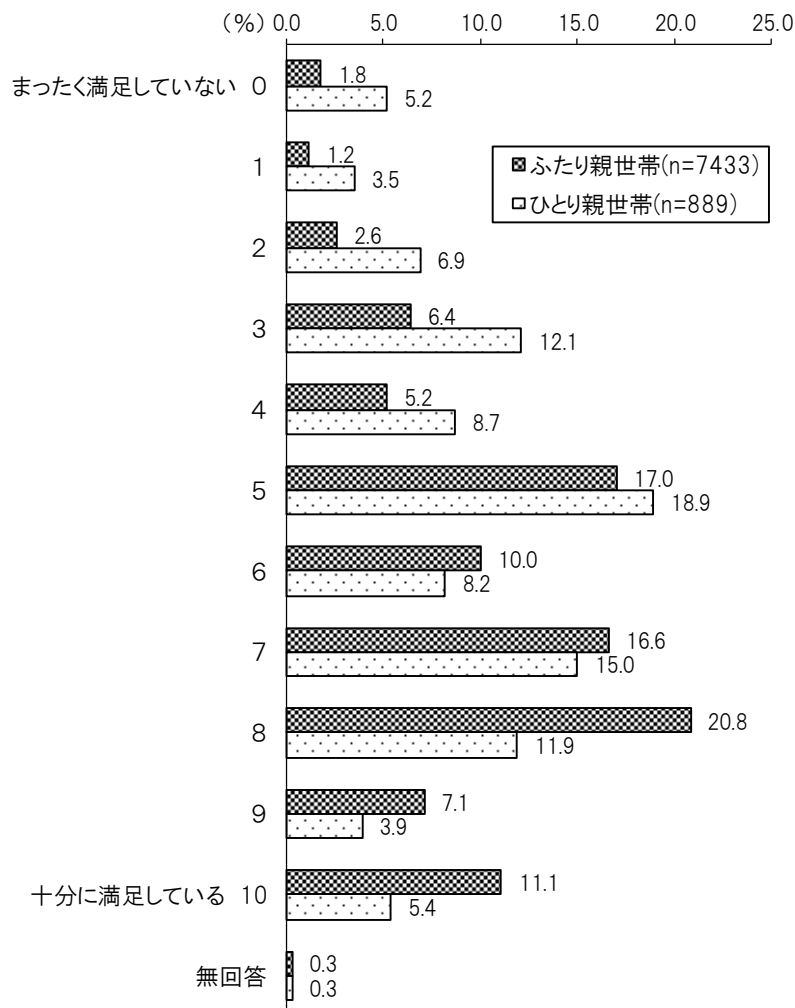
問 55 全体として、あなたは最近の生活に、どのくらい満足していますか。「0」（まったく満足していない）から「10」（十分に満足している）の数字で教えてください。（回答は1つ）

生活の満足度については、「8」の割合が19.8%と最も高く、次いで「5」（17.2%）、「7」（16.4%）、「10」（10.5%）、「6」（9.8%）の順となっており、平均は6.4となっている。



	平均
全体(N=8400)	6.4

世帯区分別では、ひとり親世帯はふたり親世帯に比べて「4以下」の割合が高く、ふたり親世帯はひとり親世帯に比べて「8以上」の割合が高くなっている。また、ふたり親世帯の平均は6.5、ひとり親世帯の平均は5.2となっている。



	平均
ふたり親世帯(n=7433)	6.5
ひとり親世帯(n=889)	5.2

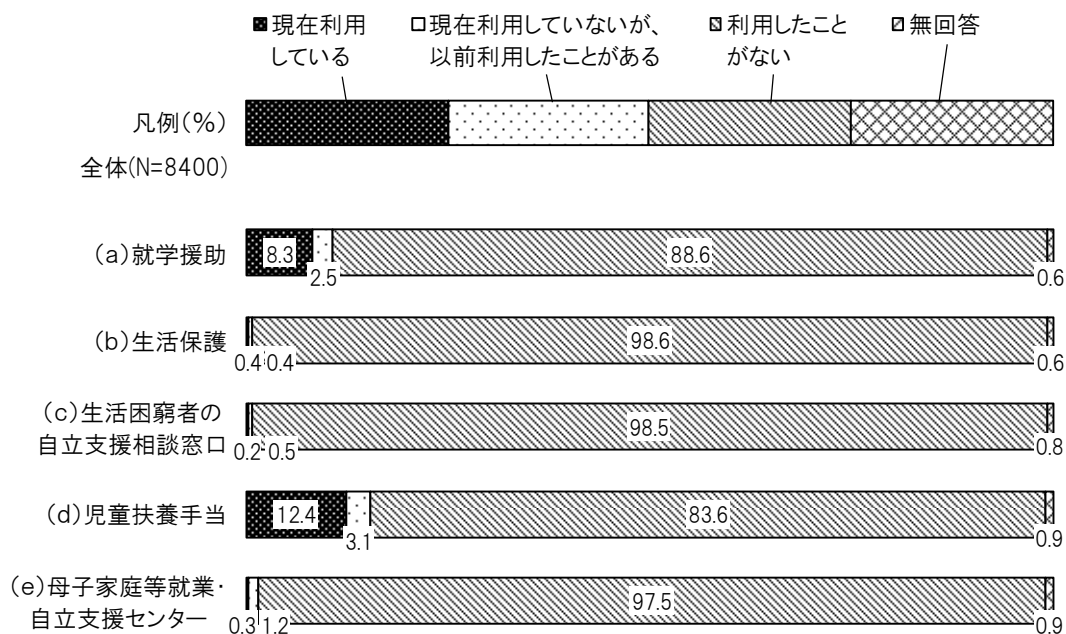
子供の学年別では、子供の年齢が低くなるほど「6」「7」の割合が高くなっている。
暮らしの状況別では、ゆとりがあると回答した層ほど平均が高くなっている。

単位 (%)	0 い ま っ た く 満 足 し て	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10 十 分 に 満 足 し て い る	平均
全体(N=8400)	2.2	1.4	3.0	7.0	5.6	17.2	9.8	16.4	19.8	6.7	10.5	6.4
【子供の学年別】												
3～4歳(n=730)	1.2	1.4	2.1	6.8	8.5	15.3	10.5	18.9	19.3	5.5	10.3	6.4
小学2年生(n=2357)	2.1	1.0	2.8	6.4	4.2	17.5	10.3	17.1	20.1	6.2	12.3	6.5
小学5年生(n=2201)	2.0	1.3	2.8	6.5	6.2	17.1	9.7	15.9	20.7	7.2	10.1	6.4
中学2年生(n=1845)	2.6	1.7	3.5	7.0	6.1	17.6	9.6	15.9	18.8	7.4	9.5	6.3
高校2年生(n=1251)	2.7	1.9	3.8	8.9	4.8	17.3	8.9	15.7	19.5	6.5	9.6	6.2
【暮らしの状況別】												
ゆとりがある(n=1225)	0.2	0.1	0.2	0.7	0.7	4.2	4.4	13.6	29.9	16.4	29.3	8.3
ふつう(n=4825)	0.6	0.4	1.3	3.4	3.9	18.2	11.3	20.1	23.2	6.9	10.2	6.8
苦しい(n=1829)	2.5	3.3	6.3	16.3	12.5	23.9	11.6	11.8	8.7	1.5	1.4	4.9
大変苦しい(n=498)	21.7	7.4	14.5	22.7	8.6	14.1	2.0	4.6	2.6	0.4	1.4	2.9

25 支援制度の利用状況

問 56～65 あなたの家庭では、以下の支援制度をこれまでに利用したことがありますか。また、「利用したことがない」場合、その理由は何ですか。（回答は1つずつ）

支援制度の利用状況について「現在利用している」の割合が高い順に、「(d) 児童扶養手当」(12.4%)、「(a) 就学援助」(8.3%)となっている。



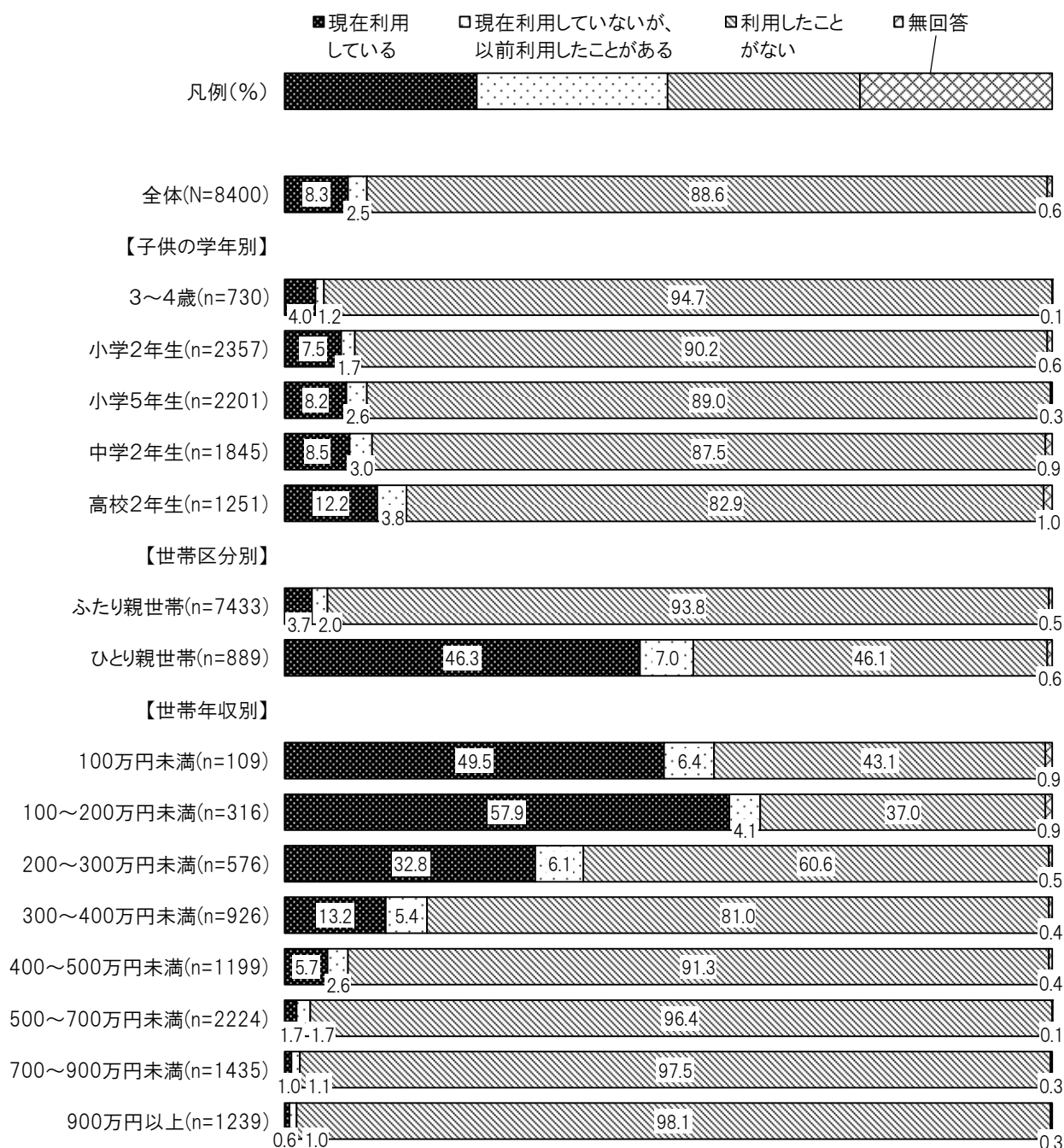
(a) 就学援助

就学援助については、「現在利用している」が8.3%、「現在利用していないが、以前利用したことがある」が2.5%、合計で10.8%となっている。

子供の学年別では、学年が上がるほど「現在利用している」の割合が高くなっている。

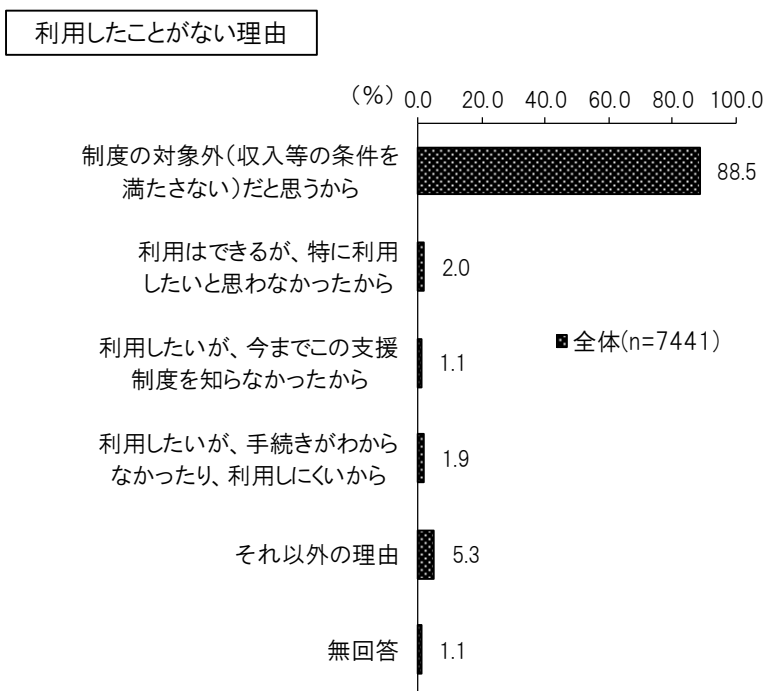
世帯区分別では、ひとり親世帯の4割以上(46.3%)が「現在利用している」と回答している。

世帯年収別では、200万円未満で「現在利用している」の割合が他の層に比べて高くなっている。



利用したことがない理由については、大半（88.5%）が「制度の対象外（収入等の条件を満たさない）だと思うから」と回答している。

世帯区分別では、ひとり親世帯はふたり親世帯に比べて「利用はできるが、特に利用したいと思わなかったから」「利用したいが、手続きがわからなかったり、利用しにくいから」の割合が高くなっている。



単位 (%)	制度の対象外(収入等の条件を満たさない)だと思うから	利用はできるが、特に利用したいと思わなかったから	利用したいが、今までこの支援制度を知らなかったから	利用したいが、手続きがわからなかったり、利用しにくいから	それ以外の理由
全体(n=7441)	88.5	2.0	1.1	1.9	5.3
【世帯区分別】					
ふたり親世帯(n=6972)	89.9	1.6	1.0	1.6	4.8
ひとり親世帯(n=410)	68.8	8.3	2.7	7.1	12.0

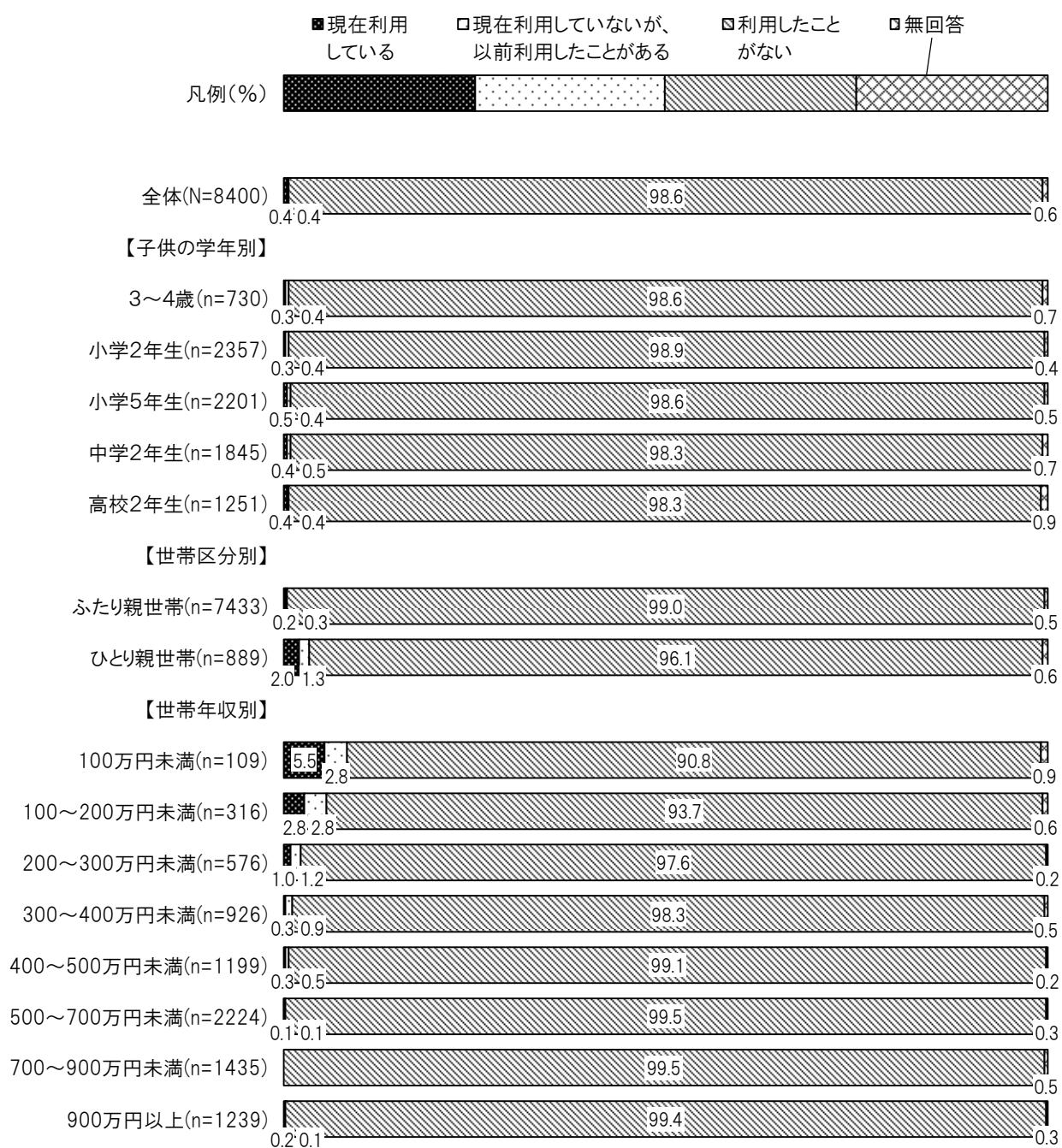
(b) 生活保護

生活保護については、「現在利用している」が0.4%、「現在利用していないが、以前利用したことがある」が0.4%、合計で0.8%となっている。

子供の学年別では、大きな差はみられない。

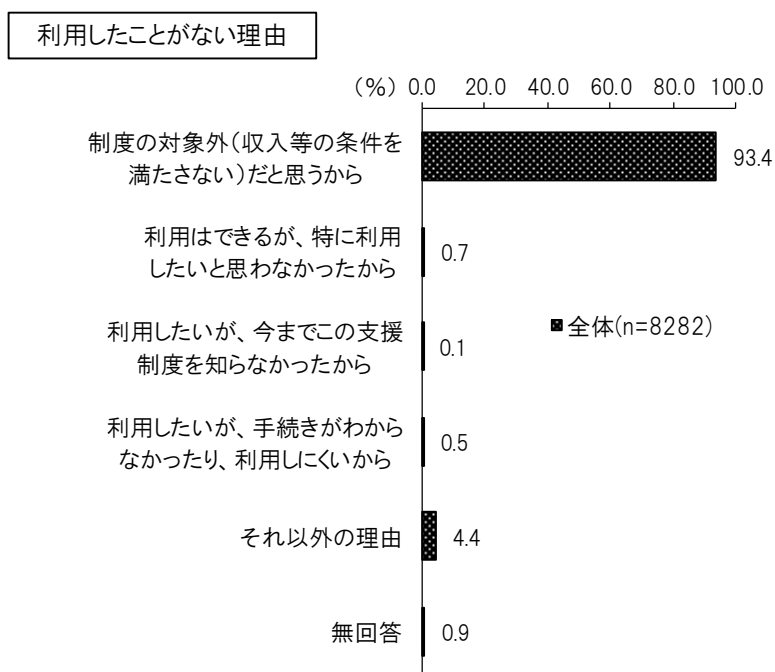
世帯区分別では、ひとり親世帯はふたり親世帯に比べて「現在利用している」の割合がやや高くなっている。

世帯年収別では、100万円未満で「現在利用している」の割合が他の層に比べてやや高くなっている。



利用したことがない理由については、大半（93.4%）が「制度の対象外（収入等の条件を満たさない）だと思うから」と回答している。

世帯区分別では、ふたり親世帯はひとり親世帯に比べて「制度の対象外（収入等の条件を満たさない）だと思うから」の割合が高くなっている。



単位 (%)	制度の対象外(収入等の条件を満たさない)だと思うから	利用はできるが、特に利用したいと思わなかったから	利用したいが、今までこの支援制度を知らなかったから	利用したいが、手続きがわからなかったり、利用しにくいから	それ以外の理由
全体(n=8282)	93.4	0.7	0.1	0.5	4.4
【世帯区分別】					
ふたり親世帯(n=7362)	94.7	0.4	0.1	0.3	3.7
ひとり親世帯(n=854)	83.5	2.5	0.2	2.2	9.7

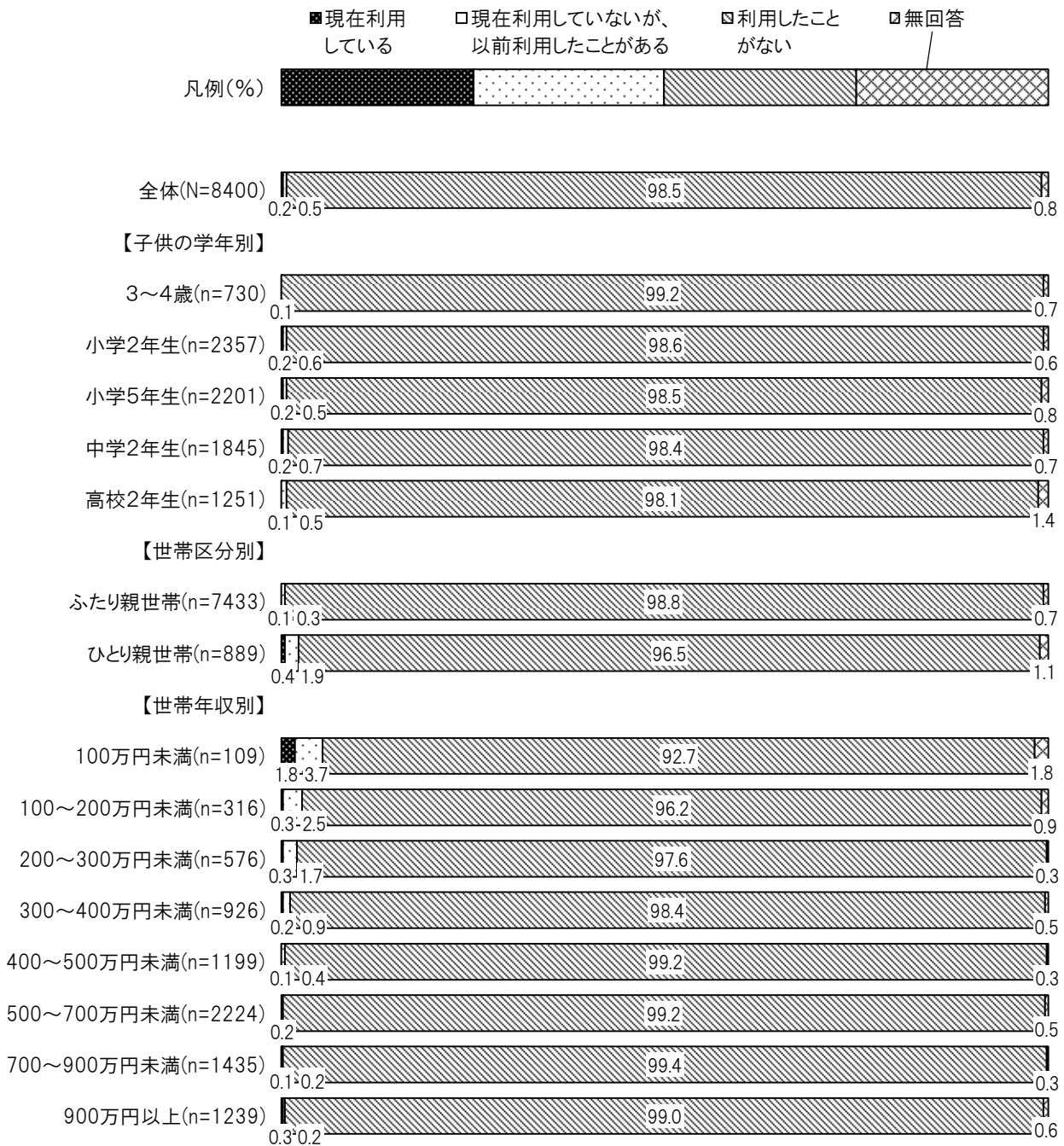
(c) 生活困窮者の自立支援相談窓口

生活困窮者の自立支援相談窓口については、「現在利用している」が0.2%、「現在利用していないが、以前利用したことがある」が0.5%、合計で0.7%となっている。

子供の学年別では、大きな差はみられない。

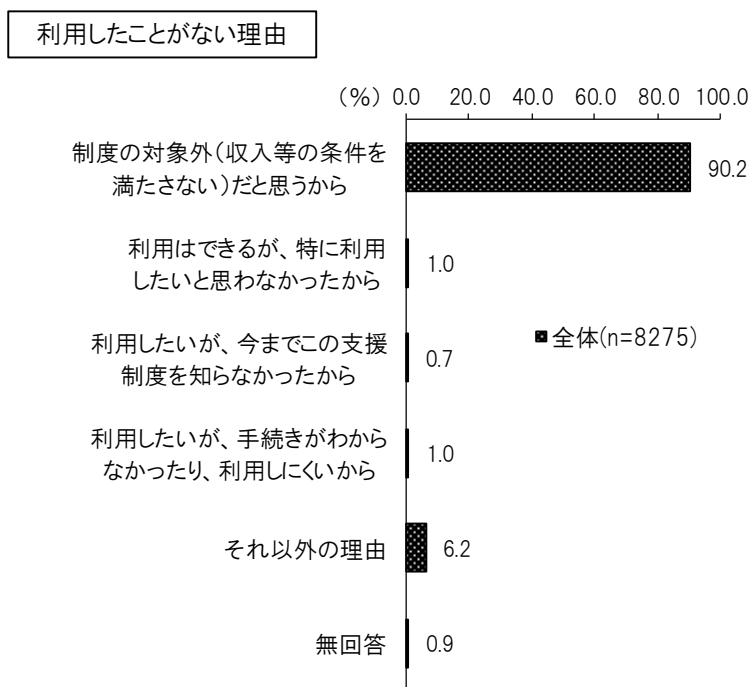
世帯区分別では、ひとり親世帯はふたり親世帯に比べて「現在利用していないが、以前利用したことがある」の割合がやや高くなっている。

世帯年収別では、100万円未満で「現在利用している」の割合が他の層に比べてやや高くなっている。



利用したことがない理由については、大半（90.2%）が「制度の対象外（収入等の条件を満たさない）だと思うから」と回答している。

世帯区分別では、ふたり親世帯はひとり親世帯に比べて「制度の対象外（収入等の条件を満たさない）だと思うから」の割合が高くなっている。



単位 (%)	制度の対象外(収入等の条件を満たさない)だと思うから	利用はできるが、特に利用したいと思わなかったから	利用したいが、今までこの支援制度を知らなかったから	利用したいが、手続きがわからなかったり、利用しにくいから	それ以外の理由
全体(n=8275)	90.2	1.0	0.7	1.0	6.2
【世帯区分別】					
ふたり親世帯(n=7347)	92.4	0.7	0.4	0.7	5.1
ひとり親世帯(n=858)	72.7	3.6	3.4	3.8	14.7

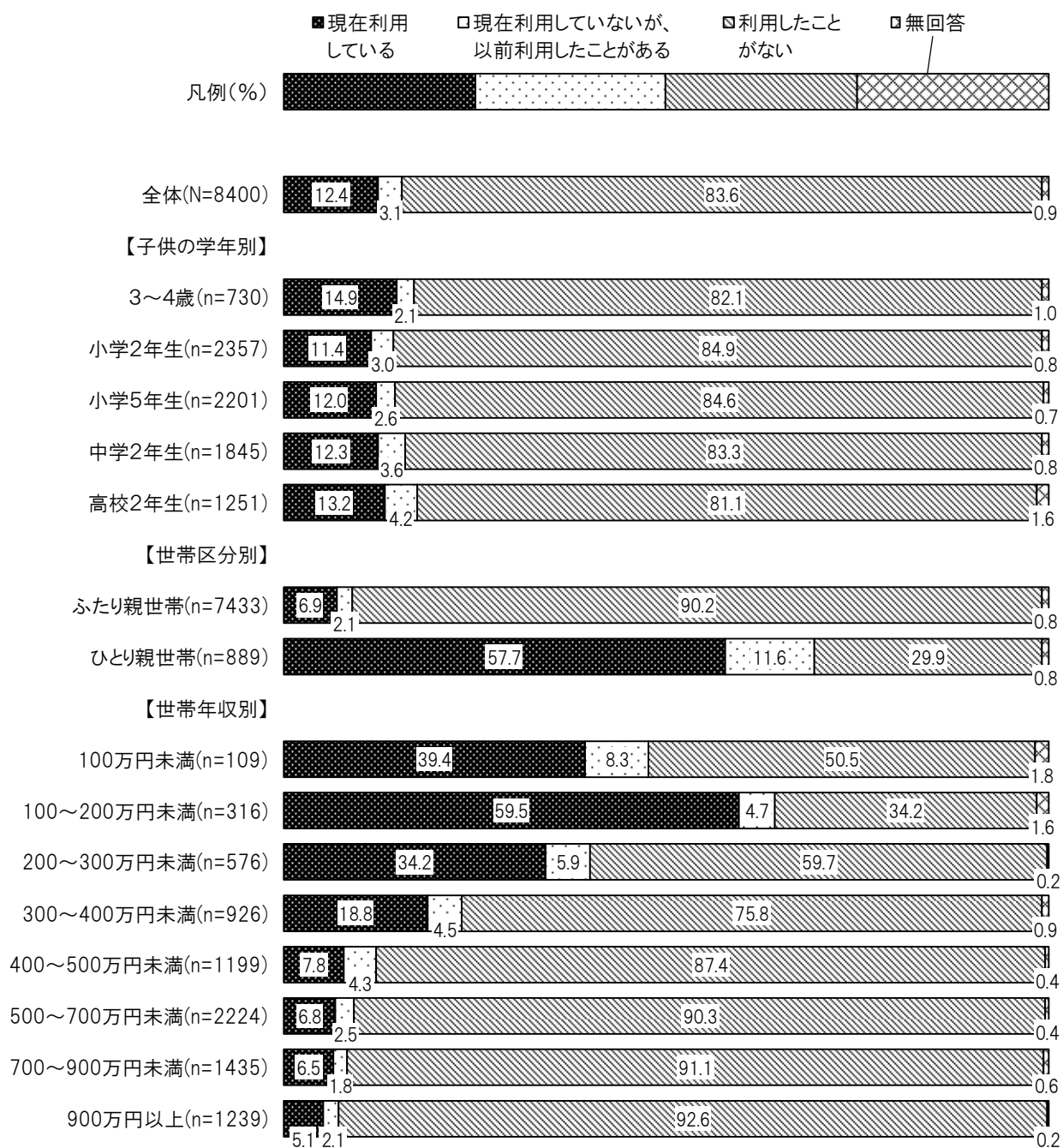
(d) 児童扶養手当

児童扶養手当については、「現在利用している」が12.4%、「現在利用していないが、以前利用したことがある」が3.1%、合計で15.5%となっている。

子供の学年別では、3～4歳で「現在利用している」の割合が他の層に比べてやや高くなっている。

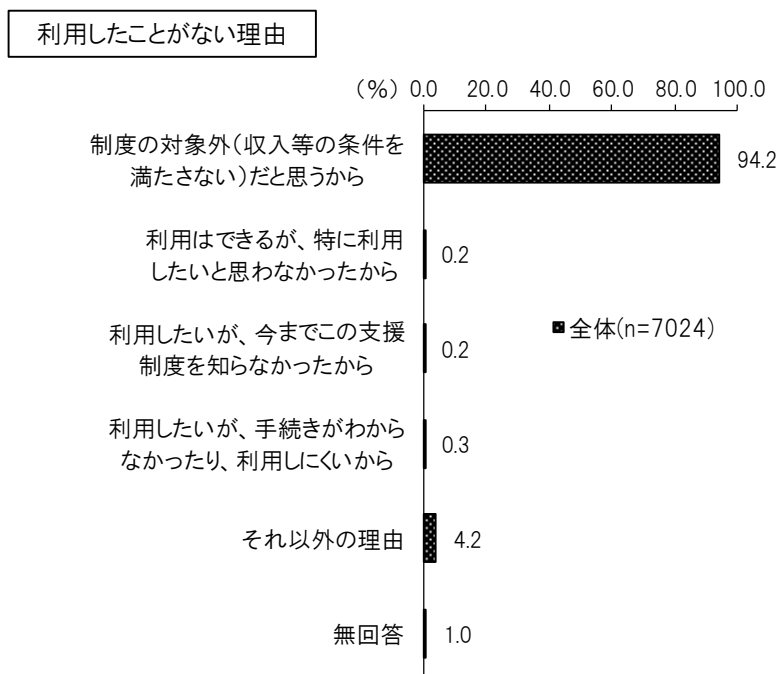
世帯区分別では、ひとり親世帯の6割近く（57.7%）が「現在利用している」と回答している。

世帯年収別では、100～200万円未満で「現在利用している」の割合が他の層を大きく上回っている。



利用したことがない理由については、大半（94.2%）が「制度の対象外（収入等の条件を満たさない）だと思うから」と回答している。

世帯区分別では、ふたり親世帯はひとり親世帯に比べて「制度の対象外（収入等の条件を満たさない）だと思うから」の割合が高くなっている。



単位 (%)	制度の対象外(収入等の条件を満たさない)だと思うから	利用はできるが、特に利用したいと思わなかったから	利用したいが、今までこの支援制度を知らなかったから	利用したいが、手続きがわからなかったり、利用しにくいから	それ以外の理由
全体(n=7024)	94.2	0.2	0.2	0.3	4.2
【世帯区分別】					
ふたり親世帯(n=6704)	94.6	0.2	0.1	0.3	3.8
ひとり親世帯(n=266)	86.1	0.4	1.5	1.5	9.4

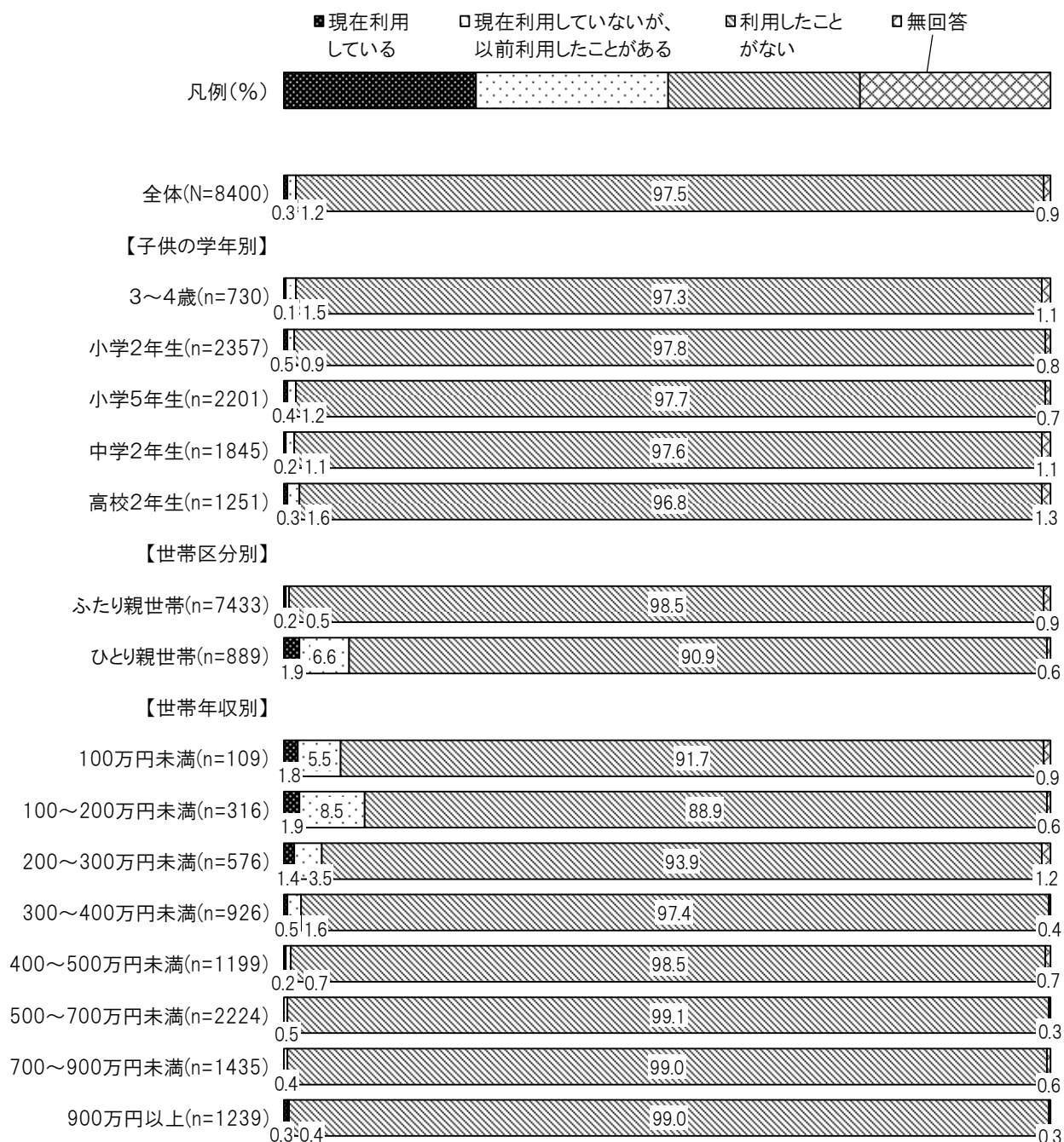
(e) 母子家庭等就業・自立支援センター

母子家庭等就業・自立支援センターについては、「現在利用している」が0.3%、「現在利用していないが、以前利用したことがある」が1.2%、合計で1.5%となっている。

子供の学年別では、大きな差はみられない。

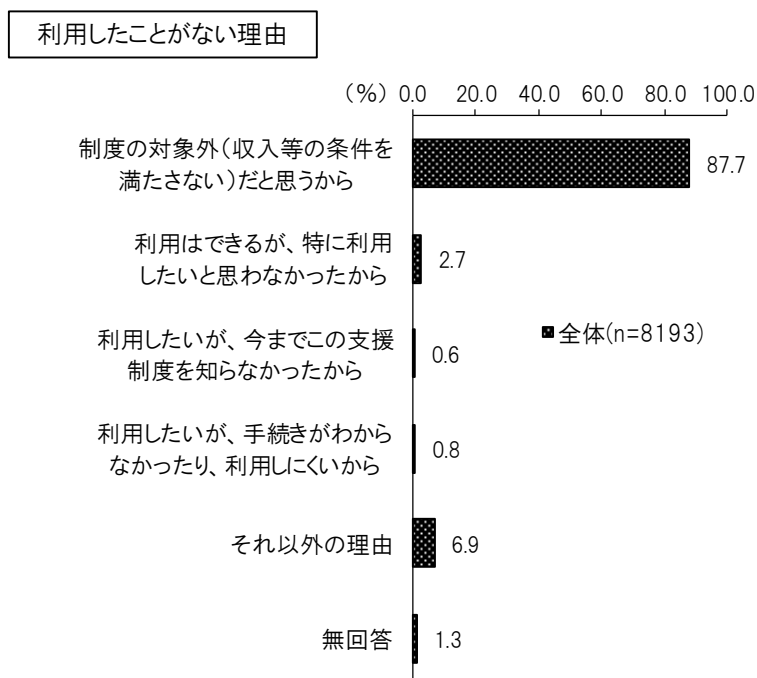
世帯区分別では、ひとり親世帯はふたり親世帯に比べて「現在利用している」「現在利用していないが、以前利用したことがある」の割合がやや高くなっている。

世帯年収別では、200万円未満で「現在利用していないが、以前利用したことがある」の割合が他の層に比べてやや高くなっている。



利用したことがない理由については、大半（87.7%）が「制度の対象外（収入等の条件を満たさない）だと思うから」と回答している。

世帯区分別では、ひとり親世帯の約2割（19.6%）が「利用はできるが、特に利用したいと思わなかったから」と回答している。



単位 (%)	制度の対象外(収入等の条件を満たさない)だと思うから	利用はできるが、特に利用したいと思わなかったから	利用したいが、今までこの支援制度を知らなかったから	利用したいが、手続きがわからなかったり、利用しにくいから	それ以外の理由
全体(n=8193)	87.7	2.7	0.6	0.8	6.9
【世帯区分別】					
ふたり親世帯(n=7318)	92.1	0.8	0.2	0.4	5.3
ひとり親世帯(n=808)	49.6	19.6	4.2	4.7	20.2

資料 調査票

保護者用

愛媛県 こどもの生活に関する調査

※ この調査で「お子さん」とは、調査対象となる3歳児、小学2年生、小学5年生、中学2年生、又は高校2年生のお子さんのことをいいます。「親」「母親」「父親」とは、母親や父親に代わる保護者の方を含みます。

問1 お子さんの年齢又は学年を教えてください。（回答は1つ）

※ 調査対象のお子さんが複数いる場合は、一番年下のお子さんについてお答えください。

- | | | |
|----------|---------|---------|
| 1 3歳又は4歳 | 2 小学2年生 | 3 小学5年生 |
| 4 中学2年生 | 5 高校2年生 | |

問2 お子さんとあなたとの関係は、次のどれにあたりますか。お子さんからみた続柄でお答えください。（回答は1つ）

- | | | | |
|--------|----------|-----------|-------|
| 1 母親 | 2 父親 | 3 祖父 | 4 祖母 |
| 5 兄弟姉妹 | 6 その他の親戚 | 7 施設職員・里親 | 8 その他 |

問3 お子さんが住んでいる市町名を教えてください。（回答は1つ）

- | | | | |
|----------|--------|--------|--------|
| 1 松山市 | 2 今治市 | 3 宇和島市 | 4 八幡浜市 |
| 5 新居浜市 | 6 西条市 | 7 大洲市 | 8 伊予市 |
| 9 四国中央市 | 10 西予市 | 11 東温市 | 12 上島町 |
| 13 久万高原町 | 14 松前町 | 15 砥部町 | 16 内子町 |
| 17 伊方町 | 18 松野町 | 19 鬼北町 | 20 愛南町 |

問4～11 お子さんと同居し、生計を同一にしているご家族の構成と人数をお答えください。単身赴任中の方や学業のために世帯を離れているお子さんがいる場合には、ご家族の人数に含めて教えてください。（回答は1つずつ）

問4(a) 祖母	1 いない	2 1人	3 2人
問5(b) 祖父	1 いない	2 1人	3 2人
問6(c) 母親	1 いない	2 1人	
問7(d) 父親	1 いない	2 1人	
問8(e) 姉・兄	1 いない 5 4人以上	2 1人	3 2人 4 3人
問9(f) 妹・弟	1 いない 5 4人以上	2 1人	3 2人 4 3人

問 10(g) 合計 (あなたや対象のお子さん を含む)	1 2人	2 3人	3 4人	4 5人
	5 6人	6 7人	7 8人	8 9人
	9 10人以上			
問 11(h) その他	1 いない	2 1人	3 2人	4 3人
	5 4人以上			

問 12～13 お子さんの親の現在の年齢についてお答えください。(母親・父親それぞれについて数字で回答、いない場合やわからない場合は「-」(半角)と記入)

問 12 母親	<input type="text"/>	歳
問 13 父親	<input type="text"/>	歳

問 14 【問2で「7(施設職員・里親)以外」と答えた方にお尋ねします。】 お子さんのご家族のうち、現在単身赴任中の方はいらっしゃいますか。(回答はあてはまるもの全て)

1 お子さんの母親が単身赴任中	2 お子さんの父親が単身赴任中
3 その他	4 単身赴任中の者はいない

問 15 【問2で「7(施設職員・里親)以外」と答えた方にお尋ねします。】 お子さんと同居し、生計を同一にしている親の婚姻状況を教えてください。(回答は1つ)

1 結婚している(再婚や事実婚を含む。)	2 離婚
3 死別	4 未婚
5 わからない	6 いない

問 16 【問2で「7(施設職員・里親)以外」及び問15で「2(離婚)」と答えた方にお尋ねします。】 前問で「離婚」を選んだ場合、離婚相手と子供の養育費の取り決めをしていますか。また養育費を現在受け取っていますか。(回答は1つ)

1 取り決めをしており、受け取っている
2 特に取り決めはしていないが、受け取っている
3 取り決めをしているが、受け取っていない
4 取り決めをしておらず、受け取っていない

問 17 【問2で「7(施設職員・里親)以外」と答えた方にお尋ねします。】 家庭環境における言語について、ご家庭ではどれくらい、日本語以外の言語を使用していますか。(回答は1つ)

1 日本語のみを使用している
2 日本語以外の言語も使用しているが、日本語の方が多い
3 日本語以外の言語を使うことが多い

問 18～19 お子さんの親が卒業・修了した学校をお答えください。問 2 で「施設職員・里親」と回答した人は、御自身ではなく、お子さんの母親・父親について回答してください。
(回答は 1 つずつ)

問 18(a) 母親	<ul style="list-style-type: none"> 1 中学校 2 中学校、高校 3 中学校、高校、専門学校 4 中学校、5年制の高等専門学校 5 中学校、高校、短大 6 中学校、高校（又は5年制の高等専門学校）、大学 7 中学校、高校（又は5年制の高等専門学校）、大学、大学院 8 その他 9 わからない 10 いない
問 19(b) 父親	<ul style="list-style-type: none"> 1 中学校 2 中学校、高校 3 中学校、高校、専門学校 4 中学校、5年制の高等専門学校 5 中学校、高校、短大 6 中学校、高校（又は5年制の高等専門学校）、大学 7 中学校、高校（又は5年制の高等専門学校）、大学、大学院 8 その他 9 わからない 10 いない

問 20～21 お子さんの親の就労状況について、あてはまるものを回答してください。問 2 で「施設職員・里親」と回答した人は、御自身ではなく、お子さんの母親・父親について回答してください。
(回答は 1 つずつ)

問 20(a) 母親	<ul style="list-style-type: none"> 1 正社員・正規職員・会社役員 2 嘱託・契約社員・派遣職員 3 パート・アルバイト・日雇い・非常勤職員 4 自営業(家族従業者、内職、自由業、フリーランスを含む。) 5 働いていない(専業主婦を含む。) 6 わからない 7 いない
------------	--

問 21(b) 父親	1 正社員・正規職員・会社役員 2 嘱託・契約社員・派遣職員 3 パート・アルバイト・日雇い・非常勤職員 4 自営業(家族従業者、内職、自由業、フリーランスを含む。) 5 働いていない(専業主夫を含む。) 6 わからない 7 いない
------------	--

問 22～23 【問 20 又は問 21 で「5 (働いていない)」と答えた方にお尋ねします。】 前の質問で「働いていない」と答えた場合、働いていない最も主な理由を教えてください。(回答は1つずつ)

問 22(a) 母親	1 働きたいが、希望する条件の仕事がないため 2 子育てを優先したいため 3 家族の介護・介助のため 4 自分の病気や障がいのため 5 通学しているため 6 その他の理由
問 23(b) 父親	1 働きたいが、希望する条件の仕事がないため 2 子育てを優先したいため 3 家族の介護・介助のため 4 自分の病気や障がいのため 5 通学しているため 6 その他の理由

問 24 お子さんが0～2歳の間に通っていた教育・保育施設等で最も主なもの(期間が長いもの)をお答えください。(回答は1つ)

1 認可保育所・認定こども園	2 その他の教育・保育等の施設
3 親・親族以外の個人	4 もっぱら親・親族が面倒を見ていた
5 その他	

問 25 お子さんが3～5歳の間に通っていた教育・保育施設等で最も主なもの(期間が長いもの)をお答えください。(3歳児の保護者の場合は、お子さんが現在通っている教育・保育施設等をお答えください。)(回答は1つ)

1 幼稚園・認可保育所・認定こども園	2 その他の教育・保育等の施設
3 親・親族以外の個人	4 もっぱら親・親族が面倒を見ていた
5 その他	

問 26～29 あなたとお子さんの関わり方について、次のようなことにどれくらい当てはまりますか。
 (回答は1つずつ)

問 26(a) テレビ・ゲーム・インターネット等の 視聴時間等のルールを決めている	1 あてはまる 2 どちらかといえば、あてはまる 3 どちらかといえば、あてはまらない 4 あてはまらない
問 27(b) お子さんに本や新聞を読むように勧め ている	1 あてはまる 2 どちらかといえば、あてはまる 3 どちらかといえば、あてはまらない 4 あてはまらない
問 28(c) お子さんが小さいころ、絵本の読み聞 かせをしていた	1 あてはまる 2 どちらかといえば、あてはまる 3 どちらかといえば、あてはまらない 4 あてはまらない
問 29(d) お子さんから、勉強や成績のことにつ いて話をしてくれる	1 あてはまる 2 どちらかといえば、あてはまる 3 どちらかといえば、あてはまらない 4 あてはまらない

問 30～31 あなたは、次のようなことをどの程度していますか。(回答は1つずつ)

問 30(a) 授業参観や運動会などの学校行事への 参加	1 よく参加している 2 ときどき参加している 3 あまり参加していない 4 まったく参加していない
問 31(b) PTA活動や保護者会、放課後学習支 援等のボランティアなどへの参加	1 よく参加している 2 ときどき参加している 3 あまり参加していない 4 まったく参加していない

問 32 お子さんは将来、現実的に見てどの進路を選びますか。（回答は1つ）

- 1 中学校
- 2 中学校、高校
- 3 中学校、高校、専門学校
- 4 中学校、5年制の高等専門学校
- 5 中学校、高校、短大
- 6 中学校、高校（又は5年制の高等専門学校）、大学
- 7 中学校、高校（又は5年制の高等専門学校）、大学、大学院
- 8 その他
- 9 まだわからない

問 33 【問 32 で「9（まだわからない）以外」と答えた方にお尋ねします。】問 32 で選択肢を選んだ理由を教えてください。（回答はあてはまるもの全て）

- | | |
|-------------------|------------------|
| 1 お子さんがそう希望しているから | 2 一般的な進路だと思うから |
| 3 お子さんの学力から考えて | 4 家庭の経済的な状況から考えて |
| 5 その他 | 6 特に理由はない |

問 34～43 あなたは次に挙げる事柄で頼れる人はいますか。また、「頼れる人がいる」場合、それはだれですか。

問 34(a) 子育てに関する相談 (回答は1つ)	1 頼れる人がいる 3 そのことでは人に頼らない	2 いない
【問 34(a)で「1」と答えた方】 問 35 頼れる人は誰ですか。 (回答はあてはまるもの全て)	1 家族・親族 3 近所の人 5 民生委員・児童委員 7 その他	2 友人・知人 4 職場の人 6 相談・支援機関や福祉の人

問 36(b) 家族関係に関する相談 (回答は1つ)	1 頼れる人がいる 3 そのことでは人に頼らない	2 いない
【問 36(b)で「1」と答えた方】 問 37 頼れる人は誰ですか。 (回答はあてはまるもの全て)	1 家族・親族 3 近所の人 5 民生委員・児童委員 7 その他	2 友人・知人 4 職場の人 6 相談・支援機関や福祉の人

問 38(c) 自分や家族の病気や障がいに関する相談 (回答は1つ)	1 頼れる人がいる 3 そのことでは人に頼らない	2 いない
【問 38(c)で「1」と答えた方】 問 39 頼れる人は誰ですか。 (回答はあてはまるもの全て)	1 家族・親族 3 近所の人 5 民生委員・児童委員 7 その他	2 友人・知人 4 職場の人 6 相談・支援機関や福祉の人

問 40(d) 仕事に関する相談 (回答は1つ)	1 頼れる人がいる 3 そのことでは人に頼らない	2 いない
【問 40(d)で「1」と答えた方】 問 41 頼れる人は誰ですか。 (回答はあてはまるもの全て)	1 家族・親族 3 近所の人 5 民生委員・児童委員 7 その他	2 友人・知人 4 職場の人 6 相談・支援機関や福祉の人

問 42(e) いざという時のお金の援助 (回答は1つ)	1 頼れる人がいる 3 そのことでは人に頼らない	2 いない
【問 42(e)で「1」と答えた方】 問 43 頼れる人は誰ですか。 (回答はあてはまるもの全て)	1 家族・親族 3 近所の人 5 民生委員・児童委員 7 その他	2 友人・知人 4 職場の人 6 相談・支援機関や福祉の人

問 44 あなたは、現在の暮らしの状況をどのように感じていますか。(回答は1つ)

1 大変ゆとりがある	2 ゆとりがある
3 ふつう	4 苦しい
5 大変苦しい	

問 45 世帯全体のおおよその年間収入(税込み)はいくらですか。(回答は1つ)

※ 収入には、同居し生計を同一にしている家族全員の以下の収入が含まれます。

- ・勤め先収入(定期収入、賞与等)
- ・事業収入(原材料費、人件費、営業上の諸経費等を除く)、内職収入(材料費等を除く)
- ・公的年金・恩給、その他の社会保障給付金(生活保護、児童手当、児童扶養手当等)
- ・農林漁業収入(農機具等の材料費、営業上の諸経費等を除く)
- ・資産収入(預貯金利子、家賃収入等。家・土地などの資産売却代金や生命保険・損害保険からの受取金等は除く。)
- ・その他の収入

1 50万円未満	2 50~100万円未満	3 100~150万円未満
4 150~200万円未満	5 200~250万円未満	6 250~300万円未満
7 300~350万円未満	8 350~400万円未満	9 400~450万円未満
10 450~500万円未満	11 500~600万円未満	12 600~700万円未満
13 700~800万円未満	14 800~900万円未満	15 900~1,000万円未満
16 1,000万円以上		

問 46 あなたの世帯では、過去1年の間に、お金が足りなくて、家族が必要とする食料が買えないことがありましたか。ただし、嗜好品は含みません。(回答は1つ)

1 よくあった	2 ときどきあった
3 まれにあった	4 まったくなかった

問 47 あなたの世帯では、過去1年の間に、お金が足りなくて、家族が必要とする衣服が買えないことがありましたか。ただし、高価な衣服や貴金属・宝飾品は含みません。(回答は1つ)

1 よくあった	2 ときどきあった
3 まれにあった	4 まったくなかった

問 48 あなたの世帯では、過去1年の間に、以下の料金について、経済的な理由で未払いになったことがありましたか。(回答はあてはまるもの全て)

1 電気料金	2 ガス料金	3 水道料金	4 電話料金
5 あてはまるものはない			

問 49～54 次の(a)～(f)の質問について、この1か月間のあなたの気持ちはどのようでしたか。
(回答は1つずつ)

問 49(a) 神経過敏に感じた	1 いつも 4 少しだけ	2 たいてい 5 まったくない	3 ときどき
問 50(b) 絶望的だと感じた	1 いつも 4 少しだけ	2 たいてい 5 まったくない	3 ときどき
問 51(c) そわそわ、落ち着かなく 感じた	1 いつも 4 少しだけ	2 たいてい 5 まったくない	3 ときどき
問 52(d) 気分が沈み込んで、何が 起こっても気が晴れないよ うに感じた	1 いつも 4 少しだけ	2 たいてい 5 まったくない	3 ときどき
問 53(e) 何をするのも面倒だと感 じた	1 いつも 4 少しだけ	2 たいてい 5 まったくない	3 ときどき
問 54(f) 自分は価値のない人間だ と感じた	1 いつも 4 少しだけ	2 たいてい 5 まったくない	3 ときどき

問 55 全体として、あなたは最近の生活に、どのくらい満足していますか。「0」(まったく満足していない)から「10」(十分に満足している)の数字で教えてください。(回答は1つ)

まったく満足 していない ←————→ 十分に満足 している										
0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10

問 56～65 あなたのご家庭では、以下の支援制度をこれまでに利用したことがありますか。また、「利用したことがない」場合、その理由は何ですか。(回答は1つずつ)

問 56(a) 就学援助 (経済的理由により子供の就学が困難な場合に、学用品費等を補助する制度)	1 現在利用している 2 現在利用していないが、以前利用したことがある 3 利用したことがない
【問 56(a)で「3」と答えた方】 問 57 利用したことがない理由は 何ですか。	1 制度の対象外(収入等の条件を満たさない)だと思うから 2 利用はできるが、特に利用したいと思わなかったから 3 利用したいが、今までこの支援制度を知らなかったから 4 利用したいが、手続きがわからなかったり、利用しにくいから 5 それ以外の理由

<p>問 58(b) 生活保護 (病気や失業などにより生活費等に困り、他に方法がないときに一定の援助が受けられる制度)</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1 現在利用している 2 現在利用していないが、以前利用したことがある 3 利用したことがない
<p>【 問 58(b)で「3」と答えた方 】 問 59 利用したことがない理由は何ですか。</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1 制度の対象外（収入等の条件を満たさない）だと思うから 2 利用はできるが、特に利用したいと思わなかったから 3 利用したいが、今までこの支援制度を知らなかったから 4 利用したいが、手続きがわからなかったり、利用しにくいから 5 それ以外の理由

<p>問 60(c) 生活困窮者の自立支援相談窓口 (お金、仕事、住宅など、様々な課題を抱えた生活に困窮する方のための相談窓口。専門の支援員が具体的な支援プランを作成し、課題の解決に向けた支援を行う。)</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1 現在利用している 2 現在利用していないが、以前利用したことがある 3 利用したことがない
<p>【 問 60(c)で「3」と答えた方 】 問 61 利用したことがない理由は何ですか。</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1 制度の対象外（収入等の条件を満たさない）だと思うから 2 利用はできるが、特に利用したいと思わなかったから 3 利用したいが、今までこの支援制度を知らなかったから 4 利用したいが、手続きがわからなかったり、利用しにくいから 5 それ以外の理由

<p>問 62(d) 児童扶養手当 (所得が一定水準以下のひとり親世帯の生活支援のための手当（児童手当とは異なります。）)</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1 現在利用している 2 現在利用していないが、以前利用したことがある 3 利用したことがない
<p>【 問 62(d)で「3」と答えた方 】 問 63 利用したことがない理由は何ですか。</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1 制度の対象外（収入等の条件を満たさない）だと思うから 2 利用はできるが、特に利用したいと思わなかったから 3 利用したいが、今までこの支援制度を知らなかったから 4 利用したいが、手続きがわからなかったり、利用しにくいから 5 それ以外の理由

<p>問 64(e) 母子家庭等就業・自立支援センター (ひとり親の方が、仕事探しに関する相談や講習を受けられる支援センター。養育費の取り決めなどに関する相談も受けられる。)</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1 現在利用している 2 現在利用していないが、以前利用したことがある 3 利用したことがない
<p>【 問 64(e)で「3」と答えた方 】 問 65 利用したことがない理由は何ですか。</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1 制度の対象外（収入等の条件を満たさない）だと思うから 2 利用はできるが、特に利用したいと思わなかったから 3 利用したいが、今までこの支援制度を知らなかったから 4 利用したいが、手続きがわからなかったり、利用しにくいから 5 それ以外の理由

愛媛県 こどもの生活に関する調査（保護者）
報告書

発行／令和7（2025）年2月
発行者／愛媛県 保健福祉部 生きがい推進局 子育て支援課
〒790-8570 愛媛県松山市一番町4丁目4-2
電話（089）912-2413
FAX（089）912-2409
メール shoushikadanjo@pref.ehime.lg.jp
